

会長挨拶

このたび、第52回日本小児神経学会総会を、福岡市の福岡国際会議場にて、平成22年5月20日（木）から22日（土）までの3日間開催致します。皆様方には是非とも多数のご参加を頂き、学問・研究を通して旧交を温め、この学会総会を契機とし、「社会に日本小児神経学会の活動を発信できた」、「共同研究の輪ができた」、「論文ができた」、等の果実が生まれる事を期待しております。今回のテーマは、「小児神経学 躍動という未来へのかけはし」と致しました。

新しい企画を学会前日と最終日に考えました。開会前日の5月19日（水）午後「新生児脳波判読集中セミナー：発達変化の理解から異常脳波の判読まで」を開催し、日本周産期・新生児医学会の新生児専門医、小児神経専門医の交流を企画しました。学会最終日の5月22日（土）の午後からは、小児神経の原点であり、重要な分野でもある将来の乳幼児健診・学童健診のあり方を企画しました。タイトルは「やってみよう5歳児健診：先駆者から学ぶ実践のイロハ」です。開業され乳幼児健診を实践されておられる地域の先生方、大学病院・市中の病院等に、勤務されている若手の先生方にも、乳幼児健診の重要性を再認識して頂ける機会になればと考えております。

学会総会の内容に関しましては、基調講演、特別講演、招待講演、教育講演、シンポジウム、ワークショップ、イブニングセミナー、English Session、一般演題等で構成し、これまでの学会同様にオーソドックスな小児神経学の構成を踏まえました。シンポジウム、ワークショップは以下を目玉として企画しております。ここ数年で飛躍的に進歩した、「周産期脳傷害と向き合うために一分野を超えた専門知識の相互リンクがもたらすもの」、「小児神経筋疾患—分子生物学の進歩と治療最前線—」を取り上げ、Duchenne型筋ジストロフィー症、ミトコンドリア脳筋症のMELAS、遺伝性ニューロパチー、てんかんにおける研究・治療の進歩等を紹介します。「眠りの科学—大切な子どもの睡眠—」、および「医療における心理士の在り方」を初めて本学会でシンポジウムとして取り上げました。また、近年、社会的に問題になっている、「子どもの脳死」の診断に焦点を当て討論し、社会にメッセージを発信するように企画しました。

更に、日本における初めての子どものコホート研究、「子どもの発達コホート研究の意義と課題」をシンポジウムで取り上げました。イブニングセミナーでも、乳幼児健診の将来像を描くため、心理の先生方との協働による、動画を用いた「新しい乳幼児健診：知覚認知課題を用いて」を考えております。

アジア・オセアニア小児神経学との交流の場も企画しております。

市民公開講座では、「発達障害は、今、増えているのか—現状の把握と未来への提言—」というタイトルで、一般市民、教育・福祉関係者も対象にシンポジウムを開催します。大変、盛りだくさんになりましたが、新しい企画を沢山取り入れてみました。

お陰さまで、一般演題数は544題（口演250題、PC動画15題、ポスター279題）と過去最高の応募数を頂きました。

平成22年5月に皆様方と福岡でお会いできる事を心よりお待ちしております。

平成22年5月

第52回日本小児神経学会総会
会長 松石豊次郎
久留米大学小児科

■福岡県内／市内図	S4
■会場周辺図	S5
■会場案内図	S6
■お知らせとお願い	S8
■プログラム委員・総会事務局	S11
■総会日程	
役員会・各種委員会	S12
■日程	
総会前日 (5月19日)	S13
第1日目 (5月20日)	S14
第2日目 (5月21日)	S16
第3日目 (5月22日)	S18
ポスターセッション (5月20日・5月21日)	S20
■プログラム	
特別演題日程	S21
総会前日 (5月19日)	S30
第1日目 (5月20日)	S31
第2日目 (5月21日)	S50
第3日目 (5月22日)	S74
■特別演題抄録	
会長講演	S83
基調講演	S84
特別講演 1	S85
特別講演 2	S86
特別講演 3	S87
招待講演 1 (瀬川プログラム)	S88
招待講演 2	S89
招待講演 3	S90
教育講演 1	S91
教育講演 2	S92
教育講演 3	S93
教育講演 4	S94
シンポジウム 1	S95
シンポジウム 2	S101
シンポジウム 3	S106
シンポジウム 4	S111
シンポジウム 5	S118
ワークショップ 1	S123

ワークショップ 2	S127
モーニング教育セミナー 1	S132
モーニング教育セミナー 2	S133
モーニング教育セミナー 3	S134
モーニング教育セミナー 4	S138
モーニング教育セミナー 5	S139
モーニングセミナー	S140
ランチョンセミナー 1	S141
ランチョンセミナー 2	S142
ランチョンセミナー 3	S143
ランチョンセミナー 4	S144
ランチョンセミナー 5	S145
ランチョンセミナー 6	S146
ランチョンセミナー 7	S147
ランチョンセミナー 8	S148
ランチョンセミナー 9	S149
ランチョンセミナー 10	S150
イブニングセミナー 1	S151
イブニングセミナー 2	S156
イブニングセミナー 3	S161
イブニングセミナー 4	S166
イブニングセミナー 5	S169
アジア・オセアニア小児神経学国際教育プログラム	S174
2010 JSCN Award for Asia Young Investigator	S175
実践教育セミナー 1	S176
実践教育セミナー 2	S180
市民公開講座	S184

■一般演題抄録（口演）

第 1 日目（5 月 20 日）	S191
第 2 日目（5 月 21 日）	S228
第 3 日目（5 月 22 日）	S288

■一般演題抄録（ポスター）

第 1 日目（5 月 20 日）	S325
第 2 日目（5 月 21 日）	S397

■索引（筆頭講演者名） S465

■歴代総会会長・開催地・会期一覧 S471

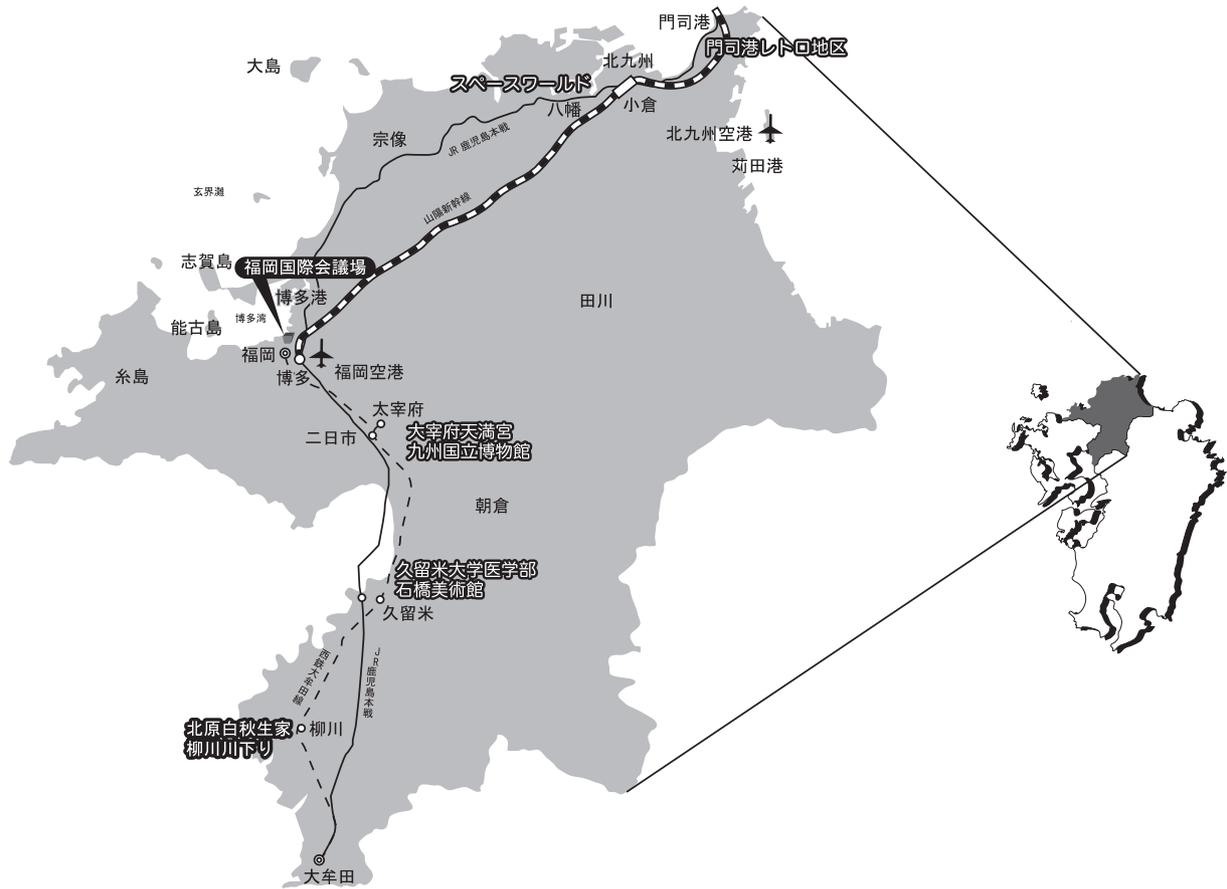
■瀬川プログラム招待講演者一覧 S472

■日本小児神経学会優秀論文賞受賞者一覧 S473

■日本製薬団体連合会 S474

■協賛会社一覧 S475

【福岡県内図】



【福岡市内図】



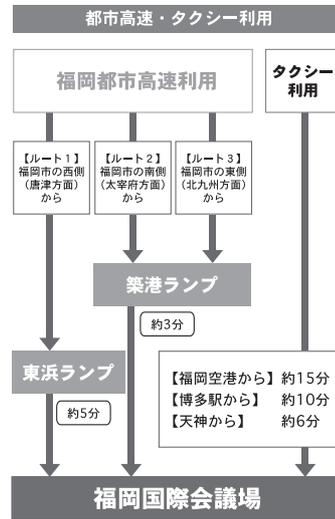
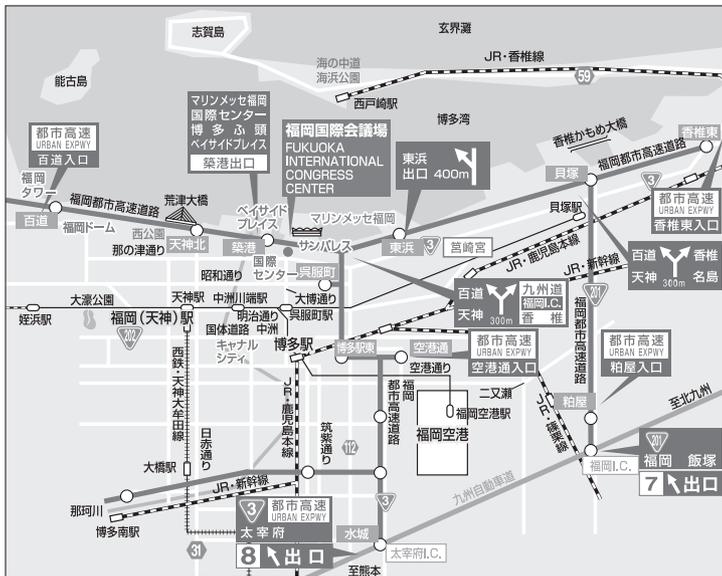
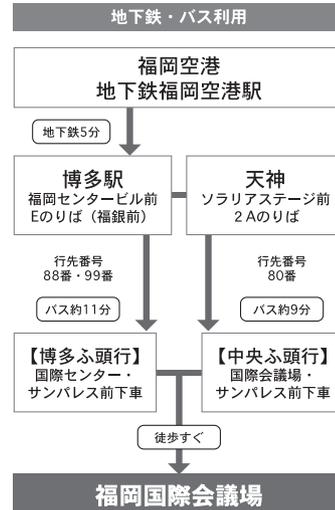
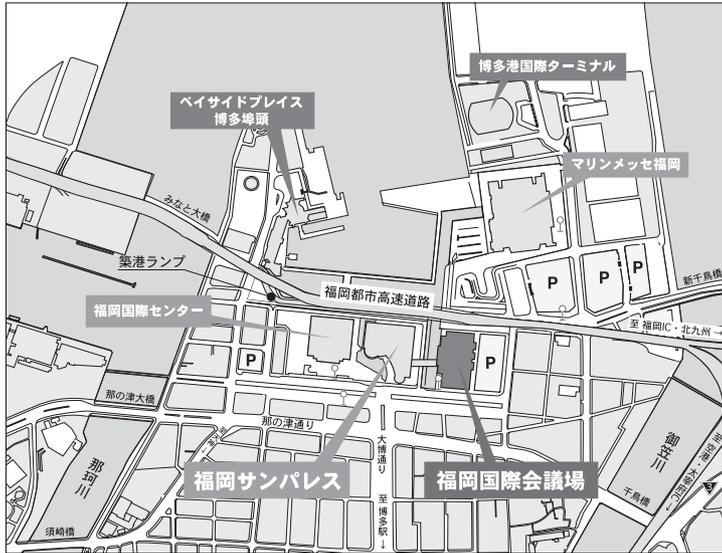
【福岡市内主要ホテルのご案内】

- ① ホテル日航福岡
- ② ホテルオークラ福岡
- ③ ソラリア西鉄ホテル
- ④ 博多エクセルホテル東急
- ⑤ キャナルシティ福岡ワシントンホテル
- ⑥ 西鉄イン博多
- ⑦ 西鉄イン福岡
- ⑧ コンフォートホテル博多
- ⑨ 東横イン博多口駅前
- ⑩ 東横イン博多祇園

会場へのご案内

福岡国際会議場ご案内図

〒812-0032 福岡市博多区石城町2-1
 TEL : 092-262-4111 FAX : 092-262-4701



国内主要都市からの福岡への所要時間

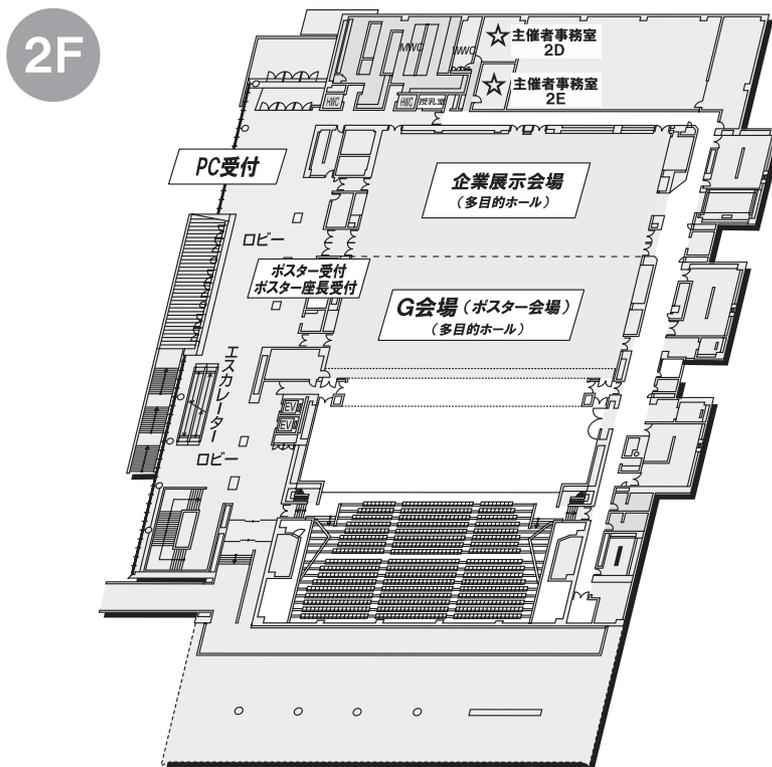
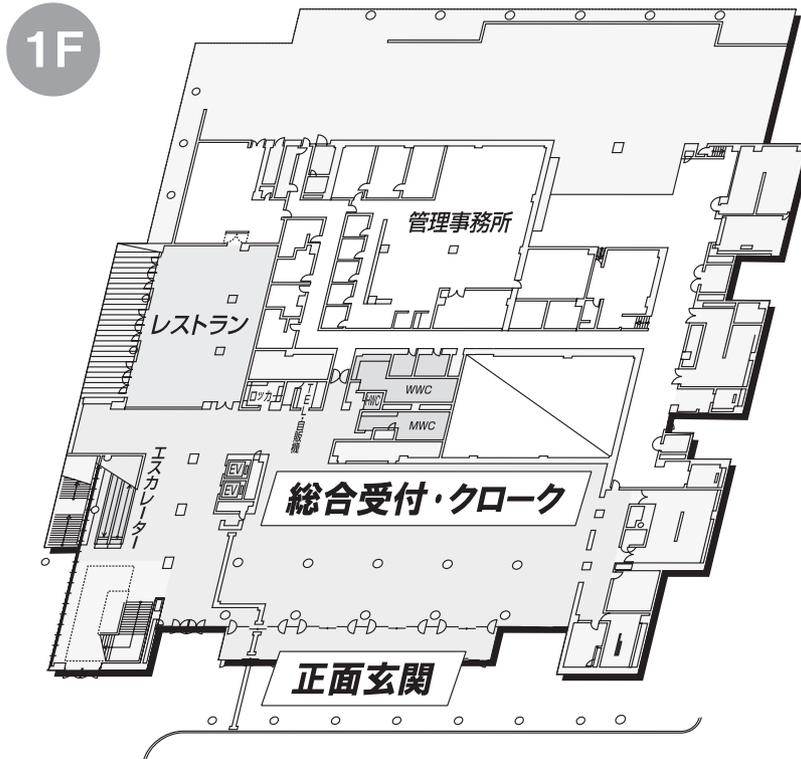
【航空機】

札幌	2時間30分	小牧	1時間25分
仙台	2時間10分	関西	1時間
新潟	1時間30分	伊丹	1時間05分
成田	1時間45分	松山	40分
羽田	1時間30分	沖縄	1時間35分
中部	1時間10分		

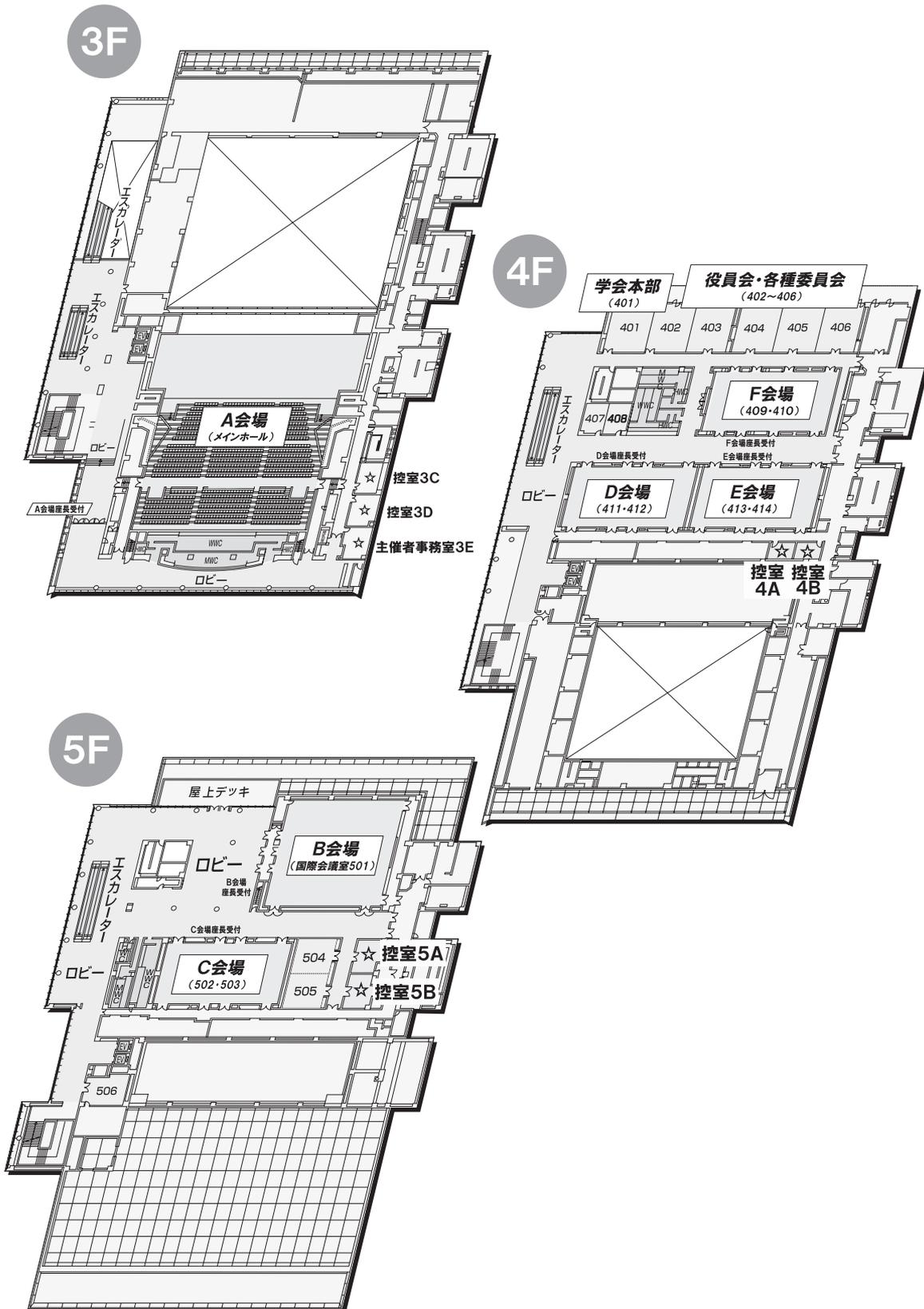
【新幹線】

広島	約1時間
岡山	約1時間30分
新大阪	約2時間23分
名古屋	約3時間21分
東京	約5時間

会場案内



会場案内



I. 参加者各位へ

- (1) 会場：福岡国際会議場（〒 812-0032 福岡県福岡市博多区石城町 2-1 電話 092-262-4111）
- (2) 受付：5 月 20 日（木）8 時より、福岡国際会議場 1 階ロビーにて開始します。
- (3) 登録：参加費 15,000 円を総合受付にお支払い下さい。引換えにネームカード（領収書兼）をお渡します。所属と氏名を記入して下さい。ネームカードのない方は、入場できません。なお、初期臨床研修医は 5,000 円、大学学生（大学院生は除く）は 2,000 円です。いずれも身分を証明するものが必要です。大学学生は学生証呈示、初期研修医はあらかじめ所属施設長より現在初期研修中である証明書を取得し、持参して下さい。総合受付にて所属と氏名を用紙に記入してネームカードを受け取って下さい。
- (4) 個人情報に関する注意：個人情報保護の観点から、日本小児神経学会の『患者プライバシー保護に関する指針』を遵守し、本学会に発表する内容には患者さんやその他の関係者を特定できるような情報を表示しないようお願いいたします。特に、発作時ビデオ等、患者さんの表情などを提示せざるを得ない動画データについては、患者さんの同意が得られているものとします。さらに、今学会では会場内において、発表内容を写真およびビデオ等で撮影することは一切禁止させていただきます。参加者の皆様のご協力をお願い申し上げます。
- (5) 抄録集：総会当日はプログラム・抄録集をご持参下さい。お持ちでない方は総合受付内の抄録集販売受付にてお求め下さい。1 冊 2,000 円で販売します。
- (6) 会員総会：第 52 回総会を学会 2 日目（5 月 21 日）15 時 10 分より A 会場（メインホール）で行います。会員参加者全員の出席をお願いいたします。
- (7) 日本小児神経学会年会費：平成 22 年度年会費（15,000 円）を未納の方は当該受付にて納入して下さい。
- (8) B & D 購読料：英文誌（Brain & Development）の購読者で平成 22 年購読料（18,000 円）を未納の方、または新たに購読を希望される方は当該受付にて納入して下さい。
- (9) 専門医研修単位：学会参加により以下の研修単位が認められます。
小児神経専門医 8 単位、小児科専門医 8 単位、日本リハビリテーション医学会認定臨床医 10 単位。
- (10) 会員懇親会：会員懇親会を学会 1 日目（5 月 20 日）19 時よりホテル日航福岡 3 階都久志の間にて行います。参加を希望される方は、当日 15 時までに参加費 5,000 円を添えて総合受付内の懇親会受付までお申し込み下さい。
- (11) 学会 1 日目から 3 日目に共催セミナーを企画しております。
- (12) 会場での呼び出しは原則としていたしません。2 階ロビーの掲示板にご注意下さい。
- (13) 駐車場：ご準備しておりません。公共の交通機関を使ってお越し下さい。

II. 座長各位へ

開始予定時刻の 10 分前までに、各会場前の座長受付にお立ち寄りの上、次座長席にお着き下さい。口演の発表時間は 7 分、討論時間は 3 分、ポスター発表の発表時間は 3 分、質疑応答は 2 分です。スムーズな学会進行のために時間の厳守をよろしくお願い申し上げます。

III. 演題の採択

- (1) 545 演題の申し込みがありました。プログラム委員会の審議の結果、演題取り下げ 1 題を除いた 544 題を採用、このうち一般演題 265 題、ポスターセッション 279 題と決定しました。
- (2) アジア・オセアニア小児神経学国際教育プログラムは 1 名（Rizaldy Pinzon 先生）が、2010 JSCN Award for Asia Young Investigator は 1 名（Navin Mishra 先生）が選出されています。

IV. 口演発表者へ

- (1) 発表時間は 7 分、討論時間は 3 分です。時間を厳守して下さい。
- (2) 一般演題は PC による発表のみとします。
- (3) PC 受付：福岡国際会議場 2 階ロビーに設置しています。
 ※データの修正はできませんので、予め最終版を作成してお持ち下さい。
 受付時間：発表時間の 45 分前までにお越し下さい。
 (モーニングセミナーでご発表の方は発表時間の 30 分前までにお越し下さい)
 返却：発表終了後、発表データは事務局にて破棄いたします。
 発表者は前演者が口演を開始したら、直ちに次演者席に着席して下さい。
- (4) PC および発表データに関して
 - ①各会場機材は Windows XP を用意しております。
 - ②プレゼンテーションソフトは Microsoft Power Point 2000 以降で作成して下さい。
Office 2007 にも対応しております。
 - ③発表データを CD-R もしくは USB タイプのメモリースティックのいずれかに保存したものを
お持ち下さい。予備を含めたメディアを 2 つ以上お持ちいただくことをお勧めいたします。MO、
FD、ZIP 等は受けません。
 - ④使用するフォントは特殊なものではなく、Power Point に設定されている標準的なフォントをご
使用下さい。
 【日本語】MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝
 【英語】Century, Century Gothic, Times New Roman, Arial, Arial Black, Arial Narrow, Courier,
 Courier New, Georgia
 - ⑤PC 動画セッション以外の一般口演では、動画・音声は使用できません。
 - ⑥舞台上にはモニターとマウス・キーボードが設置されていますので、各自の操作で進めて下さい。
 - ⑦発表データを Macintosh で作成された方は、ご自身の PC を持参して下さい。接続は Mini D-sub15
 ピンのコネクターになりますので、PC の外部モニター出力端子の形状を必ず確認し、必要な場合
 は付属の接続端子をご持参下さい。
- (5) English Session 1・2 のご発表者は、スライドをできるだけ英語で作成して下さい。また、できるだ
 け英語でご発表下さい。

V. PC 動画セッション発表者へ

- (1) セッション名に (PC 動画) と記載されているセッションについては、動画・音声を使用することが
可能です。
- (2) 発表の中で動画をご使用する場合、遠方からでも判読可能な鮮明な動画をご用意下さい。ビデオ
 (VHS・Mini-DV などの録画テープ) は使用できません。
- (3) PC 動画セッション受付
 福岡国際会議場 2 階ロビーで受付を行います。
 ※データの修正はできませんので、予め最終版を作成してお持ち下さい。
 受付時間：発表時間の 45 分前までにお越し下さい。
 発表者は前演者が口演を開始したら、直ちに次演者席に着席して下さい。
- (4) PC に関して
 - ①ご自身の PC をご準備下さい。省電力、スクリーンセーバー、パスワード、ネットワーク設定等は
 解除しておいて下さい。また、付属の AC アダプターもご持参下さい。

- ②接続は Mini D-Sub15 ピンのコネクターになりますので、パソコン外部モニター出力端子の形状を必ず確認し、必要な場合は付属の接続端子をご持参下さい。
- ③PC 受付にて動作確認を行い、PC のカバーに演題番号、氏名、所属を記入した用紙を貼って下さい。用紙は PC 受付にて準備します。
- ④PC はご自身で発表会場に持ち込み、会場左前方の PC オペレーター席にご提出下さい。発表終了後、PC オペレーター席にてご返却いたします。

VI. ポスターセッション

- (1) ポスターは学会 1, 2 日目に掲示・発表を行います。学会 1 日目, 2 日目の指定時間に発表を含めて各演題発表 3 分、質疑応答 2 分をしていただきます。質問者の方は、質問内容を簡潔にまとめておいて下さい。発表者の方は、各セッション開始時間の 10 分前には各自のポスター前で待機して下さい。

- (2) ポスター受付

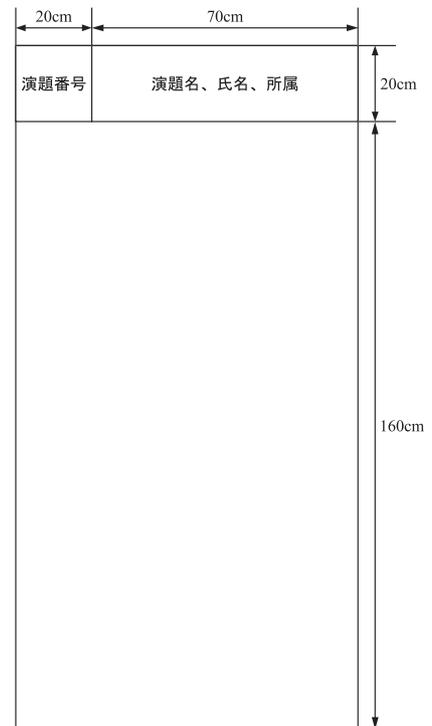
受付場所：ポスター会場前にて行います。

掲 示：学会 1 日目（5 月 20 日）にご発表の方は、20 日の 8 時から 10 時の間に各自で掲示して下さい。学会 2 日目（5 月 21 日）にご発表の方は、21 日の 8 時から 10 時の間に各自で掲示して下さい。

撤 去：学会 1 日目（5 月 20 日）にご発表を行った方は、20 日のセッション終了後から 19 時までの間に各自で取り外して下さい。学会 2 日目（5 月 21 日）にご発表を行った方は、21 日のセッション終了後から 19 時 30 分までの間に各自で取り外して下さい。当方での取り外し、返却はいたしません。撤去時間を過ぎても掲示してあるポスターは総会事務局にて処分いたします。

- (3) パネル

有効スペースは横 90 cm×縦 160 cm です。演題番号を掲示しておきますので、所定の場所に演題名、氏名、所属を含めて掲示して下さい（図参照）。押しピン等は会場にて用意いたします。



VII. 口演討論者へ

討論者は、座長の許可を得た上で、所属と氏名をはっきり述べ、討論を簡潔明瞭に進めて下さい。次の討論者は、マイクの位置に並んで時間の節約をして下さい。

VIII. ランチョンセミナー，モーニングセミナー，モーニング教育セミナー，イブニングセミナーについて

学会 1 日目（5 月 20 日）は、12 時よりランチョンセミナー 1, 2, 3, 4, 5 を開催します。

学会 2 日目（5 月 21 日）は、8 時よりモーニング教育セミナー 1, 2, 3 を、12 時 10 分よりランチョンセミナー 6, 7, 8, 9, 10 を、19 時よりイブニングセミナー 1, 2, 3, 4, 5 を開催します。

学会最終日（5 月 22 日）は、8 時よりモーニングセミナーとモーニング教育セミナー 4, 5 を開催します。いずれもお弁当または軽食を用意いたします。なお、ランチョンセミナーの整理券配布は行いません。

Ⅸ. 託児室

会場内に設けます託児室をご利用いただきます。詳細はホームページをご参照の上、ご登録下さい。
なお、定員になり次第締め切らせていただきます。

プログラム委員（敬称略，50音順）

石崎 朝世，石原 傳幸，泉 達郎，市山 高志，稲垣 真澄，大塚 頌子，大野 耕策，加我 牧子，
木村 重美，久保田健夫，小枝 達也，小西 徹，榊原 洋一，沢石由記夫，須貝 研司，杉江 秀夫，
杉本 健郎，高梨 潤一，高橋 孝雄，竹内 義博，富田 豊，友田 明美，新島 新一，林 雅晴，
原 寿郎，伏木 信次，松尾 雅文，水口 雅

事務局

事務局長：山下裕史朗

組織委員：永光信一郎，大矢崇志

事務局連絡先

〒 830-0011 久留米市旭町 67
久留米大学医学部小児科
TEL：0942-31-7565
FAX：0942-38-1792
E-mail：52jscn@med.kurume-u.ac.jp

日程	時間	階	部屋
5月19日(水)〈総会前日〉			
理事会	12:00～16:00	4F	402+403 会議室
評議員会(第4回社員総会)	16:00～18:00	5F	B 会場
実践教育セミナー 1	15:00～18:30	4F	F 会場
5月20日(木)〈総会第1日目〉			
倫理委員会	8:00～ 9:00	4F	402 会議室
国際渉外委員会	8:00～ 9:00	4F	403 会議室
社会活動委員会	8:00～ 9:00	4F	405+406 会議室
ホームページ委員会	8:00～ 9:00	4F	404 会議室
脳と発達編集委員会	12:00～13:00	4F	405+406 会議室
歴史・史料委員会	12:00～13:00	4F	402 会議室
社会保険委員会	12:00～13:00	4F	403 会議室
共同研究支援委員会	12:00～13:00	4F	404 会議室
5月21日(金)〈総会第2日目〉			
薬事委員会	8:00～ 9:00	4F	403 会議室
モーニング教育セミナー(共同研究支援委員会)	8:00～ 9:00	4F	F 会場
Brain & Development 編集委員会	12:00～13:00	4F	405+406 会議室
長期計画委員会	12:00～13:00	4F	403 会議室
用語委員会	12:00～13:00	4F	404 会議室
アドバイサリーカウンシル	17:00～18:00	4F	403 会議室
イブニングセミナー(社会活動委員会)	19:00～21:00	5F	B 会場
イブニングセミナー(薬事委員会)	19:00～21:00	4F	D 会場
イブニングセミナー(薬事委員会)	19:00～21:00	4F	F 会場
5月22日(土)〈総会第3日目〉			
教育委員会	8:00～ 9:00	4F	403 会議室
専門医委員会	8:00～ 9:00	4F	404 会議室
産科医療補償制度検討委員会	8:00～ 9:00	4F	402 会議室
第53回総会プログラム委員会	12:00～13:00	4F	405+406 会議室
実践教育セミナー 2	13:00～15:00	5F	B 会場

	F 会場 4F 409・410 会議室	4F 402・403 会議室	B 会場 5F 501 国際会議室
12:00			
13:00			
14:00		理事会 12:00 ~ 16:00	
15:00			
16:00			
17:00	実践教育セミナー 1 15:00 ~ 18:30 新生児脳波判読集中セミナー： 発達変化の理解から異常脳波の判読まで 座長：新島新一		評議員会 (第 4 回社員総会) 16:00 ~ 18:00
18:00			
19:00			

	A 会場 3F メインホール	B 会場 5F 501 国際会議室	C 会場 5F 502・503 会議室
8:00			
9:00	<p>開会式 8:50～9:00</p> <p>会長講演 9:00～9:30 Rett 症候群に学ぶー臨床・基礎研究からの 22 年と今後の展望ー 松石豊次郎 座長：山下文雄</p> <p>招待講演 1 (瀬川プログラム) 9:30～10:20 Rett Syndrome and MECP2-Status of Knowledge 10 Years after the Gene Uta Francke 座長：松尾雅文</p>		
10:00	<p>特別講演 1 10:20～11:10 成長ホルモン分泌と食欲を刺激するホルモン “グレリン”の多彩な生理作用 児島将康 座長：児玉浩子</p>		
11:00	<p>基調講演 11:10～11:40 筋ジストロフィー研究から学んだこと 埜中征哉 座長：大澤真木子</p>		
12:00		<p>ランチョンセミナー 1 12:00～12:50 Korean ADHD Treatment Experiences Using OROS-MPH and Atomoxetine Bung-nyun Kim 座長：加我牧子</p>	<p>ランチョンセミナー 2 12:00～12:50 長期的視野に基づいたてんかんの薬物治療戦略 ーラモトリギンの位置づけを含めてー 久保田英幹 座長：大塚頌子</p>
13:00	<p>特別講演 2 13:00～13:50 New Horizons in Neuroprotection of the Newborn : Cooling is just the Beginning Nicola J Robertson 座長：高嶋幸男</p>	<p>教育講演 1 13:00～13:45 ジストニアの治療の最前線 平 孝臣 座長：野村芳子</p>	<p>教育講演 2 13:00～13:45 児童虐待が脳に及ぼす影響 ー脳科学と子どもの発達行動 友田明美 座長：竹内義博</p>
14:00		<p>招待講演 2 13:45～14:30 Parenting and Sleep in Early Childhood Avi Sadeh 座長：三池輝久</p>	<p>発達障害 1 13:50～14:40 (O-001～O-005) 座長：北原 信 新井田要</p>
15:00	<p>シンポジウム 1 13:50～15:50 周産期脳傷害と向き合うためにー 分野を超えた専門知識の相互リンクがもたらすもの 座長：奥村彰久 早川昌弘</p>	<p>シンポジウム 2 14:30～16:20 眠りの科学 ー大切な子どもの睡眠ー 座長：神山 潤 糸 和彦</p>	<p>発達障害 2 14:40～15:20 (O-006～O-009) 座長：星加明德 石崎朝世</p>
16:00			<p>発達障害 3 15:20～16:10 (O-010～O-014) 座長：森 健治 中村みほ</p>
17:00			
18:00			
19:00	18:20 より、1 階玄関前より送迎バスにて、会員懇親会会場 (ホテル日航福岡) へ移動		
20:00	<p>会員懇親会 ホテル日航福岡 (3F・都久志の間) 19:00～21:00</p>		
21:00			

	D 会場 4F 411・412 会議室	E 会場 4F 413・414 会議室	F 会場 4F 409・410 会議室	G 会場 2F 多目的ホール
8:00				
9:00				
10:00				
11:00				
12:00				
12:00	ランチョンセミナー 3 12:00 ~ 12:50 栄養管理の問題点とその対策 田中芳明 座長：福島亮治	ランチョンセミナー 4 12:00 ~ 12:50 小児のけいれん重積の最近の治療 Recent Management of Status Epilepticus in Children 須貝研司 座長：東條 恵	ランチョンセミナー 5 12:00 ~ 12:50 筋症状を示す小児糖原病：診断と治療 埜中征哉 座長：大澤真木子	
13:00	てんかん・けいれん 1 13:00 ~ 13:50 (O-015 ~ O-019) 座長：大塚領子 前垣義弘	急性脳炎・脳症 1 13:00 ~ 14:10 (O-035 ~ O-041) 座長：水口 雅 高梨潤一	遺伝 1 13:00 ~ 13:50 (O-055 ~ O-059) 座長：久保田健夫 斉藤伸治	ポスター展示
14:00	てんかん・けいれん 2 13:50 ~ 14:50 (O-020 ~ O-025) 座長：永井利三郎 安元佐和	急性脳炎・脳症 2 14:10 ~ 15:10 (O-042 ~ O-047) 座長：塩見正司 浜野晋一郎	遺伝 2 13:50 ~ 14:50 (O-060 ~ O-065) 座長：山本俊至 西尾久英	
15:00	てんかん・けいれん 3 14:50 ~ 16:20 (O-026 ~ O-034) 座長：須貝研司 小国弘量	急性脳炎・脳症 3 15:10 ~ 16:20 (O-048 ~ O-054) 座長：市山高志 椎原 隆	代謝変性疾患 1 14:50 ~ 15:40 (O-066 ~ O-070) 座長：井田博幸 清水教一	
16:00			代謝変性疾患 2 15:40 ~ 16:20 (O-071 ~ O-074) 座長：山口清次 後藤雄一	
17:00				全員参加 ポスターセッション 16:30 ~ 18:10 プログラム詳細は S20 ページに記載
18:00				ポスター撤去 ポスターセッション 終了後 ~ 19:00
18:20	18:20 より、1 階玄関前より送迎バスにて、会員懇親会会場（ホテル日航福岡）へ移動			
19:00				
20:00	会員懇親会 ホテル日航福岡（3F・都久志の間） 19:00 ~ 21:00			
21:00				

	A 会場 3F メインホール	B 会場 5F 501 国際会議室	C 会場 5F 502・503 会議室
8:00			
9:00	特別講演 3 9:00～9:50 自閉症ヒト型マウスモデルの開発と小児神経学への展開 内匠 透 座長：桃井真里子	ワークショップ 1 9:00～11:00 医療における心理士の在り方 座長：小西行郎 利島 保	脳性麻痺・療育 3 9:00～10:30 (O-075～O-083) 座長：横地健治 樋口和郎
10:00	シンポジウム 3 9:50～12:00 小児神経筋疾患 —分子生物学の進歩と治療最前線— 座長：大野耕策 杉江秀夫	招待講演 3 11:00～11:40 The Neurobiological Studies of ADHD —Focus on Brain Imaging and Genetic Studies— Bung-nyun Kim 座長：加我牧子	脳性麻痺・療育 4, 精神・行動障害 10:30～12:00 (O-084～O-092) 座長：皆川公夫 中井昭夫
11:00			
12:00		ランチョンセミナー 6 12:10～13:00 AD/HDの薬物療法に何を期待するのか —アトモキセチン7年の使用経験より— 荒木章子 座長：小枝達也	ランチョンセミナー 7 12:10～13:00 ハンズオンセミナー「脳性麻痺のボツリヌス治療」 根津敦夫 座長：児玉和夫
13:00			
14:00	ワークショップ 2 13:10～15:10 脳死の最近の話題 座長：水口 雅	教育講演 3 13:10～13:55 iPS細胞技術と遺伝子改変霊長類モデルを用いた神経再生・神経疾患研究 岡野栄之 座長：高橋孝雄	English Session 1 13:10～14:10 (O-093～O-098) 座長：伏木信次 有賀 正
15:00		2010 JSCN Award for Asia Young Investigator 13:55～14:05 アジア・オセアニア小児神経学国際教育プログラム 14:05～14:25 座長：藤井克則	English Session 2 14:10～15:10 (O-099～O-104) 座長：新島新一 加藤光広
16:00	第 3 回会員総会 15:10～16:10		
17:00	日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・ミニ講演 16:10～16:40		
18:00			
19:00			
20:00		イブニングセミナー 1 (社会活動委員会) 19:00～21:00 重症児(者)が地域で安全に快適に生きるために： ショートステイ、「レスパイト入院」 座長：杉本健郎	イブニングセミナー 2 19:00～21:00 第 4 回子どもの眠り研究会 座長：神山 潤 谷池雅子
21:00			

	D 会場 4F 411・412 会議室	E 会場 4F 413・414 会議室	F 会場 4F 409・410 会議室	G 会場 2F 多目的ホール
8:00	モーニング教育セミナー 1 8:00～9:00 特異的発達障害とくに発達性読み書き障害の 診断・治療ガイドラインのご紹介 稲垣真澄 座長：橋本俊顕	モーニング教育セミナー 2 8:00～9:00 希少疾患の治療薬開発に対して臨床医は何をすべきか？ -筋ジストロフィー患者データベース Remedy を中心に- 川井 充 座長：大澤真木子	モーニング教育セミナー 3 (共同研究支援委員会) 8:00～9:00 小児神経学会が支援する共同研究 座長：佐々木征行 杉江秀夫	
9:00	発達障害 7 9:00～9:50 (O-105～O-109) 座長：宮崎雅仁 安原昭博	てんかん・けいれん 6 9:00～9:40 (O-135～O-138) 座長：廣瀬伸一 高橋幸利	急性脳炎・脳症 7 9:00～10:40 (O-165～O-174) 座長：佐々木征行 奥村彰久	
10:00	発達障害 8 9:50～10:50 (O-110～O-115) 座長：山下裕史朗 宮島 祐	てんかん・けいれん 7 9:40～10:40 (O-139～O-144) 座長：金澤 治 林 北見		
11:00	学習障害 10:50～12:00 (O-116～O-122) 座長：宮尾益知 若宮英司	てんかん・けいれん 8 10:40～12:00 (O-145～O-152) 座長：夏目 淳 岩崎俊之	急性脳炎・脳症 8 10:40～11:20 (O-175～O-178) 座長：山内秀雄 今村 淳 急性脳炎・脳症 9 11:20～12:00 (O-179～O-182) 座長：長 和彦 渡邊健二	
12:00				
13:00	ランチョンセミナー 8 12:10～13:00 小児難治てんかんの薬物治療 -静岡症例でのエビデンス- 高橋幸利 座長：小国弘量	ランチョンセミナー 9 12:10～13:00 Neurodevelopmental Effects of Antiepileptic Drugs Kimford J. Meador 座長：大塚領子	ランチョンセミナー 10 12:10～13:00 子どもの生活に根ざしたてんかん診療を目指して -診断から治療の終了まで- 岡 明 座長：山野恒一	
14:00	発達障害 9 13:10～13:50 (O-123～O-126) 座長：高田 哲 弓削マリ子 発達障害 10 13:50～14:30 (O-127～O-130) 座長：長尾秀夫 小野次朗	筋疾患 2 13:10～14:10 (O-153～O-158) 座長：石原傳幸 斎藤加代子 筋疾患 3 14:10～15:10 (O-159～O-164) 座長：館 延忠 竹島泰弘	画像 3 13:10～14:10 (O-183～O-188) 座長：森本昌史 熊田聡子 画像 4 14:10～15:10 (O-189～O-194) 座長：山本 仁 椎原弘章	ポスター展示
15:00	発達障害 11 14:30～15:10 (O-131～O-134) 座長：松田博雄 萩野谷和裕			
16:00				
17:00				全員参加 ポスターセッション 16:50～18:25 プログラム詳細は S20 ページに記載
18:00				
19:00				ポスター撤去 ポスターセッション 終了後～19:30
20:00	イブニングセミナー 3 (薬事委員会) 19:00～21:00 静注用フェノバルビタールによるてんかん 重積状態の治療法の確立に向けて 座長：大塚領子 山内秀雄	イブニングセミナー 4 19:00～21:00 新しい乳幼児健診：知覚認知課題を用いて 座長：金沢 創	イブニングセミナー 5 (薬事委員会) 19:00～21:00 脳性麻痺のボツリヌス治療 -問題症例検討会： よりよい下肢痙縮治療を目指して 座長：根津敦夫 高橋保彦	
21:00				

	A 会場 3F メインホール	B 会場 5F 501 国際会議室	C 会場 5F 502・503 会議室
8:00		モーニングセミナー 8:00～9:00 小児の頭痛－片頭痛の診断と治療－ 安藤直樹 座長：藤田光江	モーニング教育セミナー 4 8:00～9:00 小児神経科医が知っておくべき 感染免疫の最新知識 原 寿郎 座長：泉 達郎
9:00			感染・免疫 5 9:00～9:50 (O-195～O-199) 座長：細矢光亮 千代延友裕
10:00	シンポジウム 4 9:00～11:00 子どもの発達コホート研究の意義と課題 座長：小泉英明 山縣然太郎	シンポジウム 5 9:00～11:00 急性脳症の診療・研究最前線 座長：市山高志 高梨潤一	感染・免疫 6 9:50～10:30 (O-200～O-203) 座長：田沼直之 鳥巢浩幸
11:00	教育講演 4 11:00～12:00 小児期発症の神経伝達物質疾患 －瀨川病を中心に－ 瀨川昌也 座長：加藤光広		自律神経 2, 頭痛 2 10:30～11:10 (O-204～O-207) 座長：岩崎信明 常石秀市
12:00	閉会式 12:00～12:10		電気生理 2, 末梢神経 2 11:10～11:50 (O-208～O-211) 座長：久保田雅也 下野昌幸
13:00			
14:00	市民公開講座 13:00～15:20 発達障害は、今、増えているのか －現状の把握と未来への提言－ 座長：石崎朝世 久保田健夫	実践教育セミナー 2 13:00～15:00 やってみよう 5 歳児健診： 先駆者から学ぶ実践のイロハ 座長：林 隆 小枝達也	第 5 回 小児重症筋無力症研究会 13:00～17:00 座長：林 正俊 林 雅晴 野村芳子
15:00			
16:00			
17:00			

	D 会場 4F 411・412 会議室	E 会場 4F 413・414 会議室	F 会場 4F 409・410 会議室
8:00	<p>モーニング教育セミナー 5 8:00～9:00 小児神経放射線診断： 臨床に役立つ MRI の key 所見 宇都宮英綱 座長：満留昭久</p>		
9:00	<p>奇形・染色体異常 3 9:00～10:10 (O-212～O-218) 座長：玉井 浩 梶井直文</p>	<p>睡眠・生体リズム 9:00～10:00 (O-230～O-235) 座長：友田明美 岡 靖哲</p>	<p>不随意運動・基底核 2 9:00～9:30 (O-248～O-250) 座長：木村一恵</p>
10:00	<p>新生児 2 10:10～11:20 (O-219～O-225) 座長：久保田哲夫 早川昌弘</p>	<p>発達 2 10:00～11:00 (O-236～O-241) 座長：作田亮一 杉田克生</p>	<p>PC 動画 1 9:30～10:50 (O-251～O-258) 座長：花井敏男 藤井達哉</p>
11:00	<p>形態・病理 2 11:20～12:00 (O-226～O-229) 座長：岡 明 林 雅晴</p>	<p>血管障害 2, 腫瘍 2 11:00～12:00 (O-242～O-247) 座長：大屋 滋 是松聖悟</p>	<p>PC 動画 2 10:50～12:00 (O-259～O-265) 座長：満留昭久 若井周治</p>
12:00			
13:00			
14:00			
15:00			
16:00			
17:00			

ポスターセッション 第 1 日目 (5 月 20 日)								
ポスター展示								
10:00								
16:30	末梢神経 1, 脊髄 16:30 ~ 16:55 (P-001 ~ P-005) 《座長》 前澤真理子 津留 陽	脳性麻痺・療育 1 16:30 ~ 17:15 (P-016 ~ P-024) 《座長》 落合幸勝 栗原まな	画像 1 16:30 ~ 17:05 (P-033 ~ P-039) 《座長》 川上康彦 松尾宗明	代謝変性疾患 3 16:30 ~ 17:15 (P-053 ~ P-061) 《座長》 下澤伸行 田中あけみ	発達障害 4 16:30 ~ 17:00 (P-071 ~ P-076) 《座長》 相原正男 大谷宣伸	てんかん・けいれん 4 16:30 ~ 17:10 (P-091 ~ P-098) 《座長》 吉永治美 田辺卓也	急性脳炎・脳症 4 16:30 ~ 17:05 (P-108 ~ P-114) 《座長》 沖 潤一 吉良龍太郎	感染・免疫 1 16:30 ~ 17:05 (P-128 ~ P-134) 《座長》 牛島廣治 野村恵子
17:00	筋疾患 1 16:55 ~ 17:45 (P-006 ~ P-015) 《座長》 石川幸辰 木村重美	脳性麻痺・療育 2 17:15 ~ 17:55 (P-025 ~ P-032) 《座長》 北住映二 田角 勝	画像 2 17:05 ~ 17:35 (P-040 ~ P-045) 《座長》 小川 厚 服部英司	代謝変性疾患 4 17:15 ~ 18:00 (P-062 ~ P-070) 《座長》 難波栄二 藤井克則	発達障害 5 17:00 ~ 17:30 (P-077 ~ P-082) 《座長》 下泉秀夫 呉 東進	てんかん・けいれん 5 17:10 ~ 17:55 (P-099 ~ P-107) 《座長》 栗屋 豊 館野昭彦	急性脳炎・脳症 5 17:05 ~ 17:35 (P-115 ~ P-120) 《座長》 村上貴孝 伊予田邦昭	感染・免疫 2 17:05 ~ 17:35 (P-135 ~ P-140) 《座長》 伊東恭子 宍倉啓子
17:30			形態・病理 1 17:35 ~ 18:10 (P-046 ~ P-052) 《座長》 高野知行 齋藤義朗		発達障害 6 17:30 ~ 18:10 (P-083 ~ P-090) 《座長》 林 隆 荻野竜也		急性脳炎・脳症 6 17:35 ~ 18:10 (P-121 ~ P-127) 《座長》 吉川秀人 大府正治	不随意運動・基底核 1 17:35 ~ 17:55 (P-141 ~ P-144) 《座長》 根津敦夫
18:00	ポスター撤去 ポスターセッション終了後 ~ 19:00							
19:00								

ポスターセッション 第 2 日目 (5 月 21 日)								
ポスター展示								
10:00								
16:50	発達障害 12 16:50 ~ 17:20 (P-145 ~ P-150) 《座長》 益山龍雄 金村英秋	てんかん・けいれん 9 16:50 ~ 17:30 (P-163 ~ P-170) 《座長》 藤田之彦 麻生幸三郎	代謝変性疾患 5 16:50 ~ 17:45 (P-179 ~ P-189) 《座長》 乾 幸治 沢石由記夫	急性脳炎・脳症 10 16:50 ~ 17:35 (P-198 ~ P-206) 《座長》 富和清隆 平林伸一	感染・免疫 3 16:50 ~ 17:35 (P-216 ~ P-224) 《座長》 吉岡 博 沖永剛志	奇形・染色体異常 1 16:50 ~ 17:25 (P-234 ~ P-240) 《座長》 柿沼宏明 柳川敏彦	腫瘍 1, 脳外科 16:50 ~ 17:30 (P-253 ~ P-260) 《座長》 二木康之 稲垣隆介	新生児 1, 発達 1 16:50 ~ 17:20 (P-268 ~ P-273) 《座長》 大野雅樹 早川文雄
17:00	発達障害 13 17:20 ~ 17:50 (P-151 ~ P-156) 《座長》 真田 敏 原 仁	てんかん・けいれん 10 17:30 ~ 18:10 (P-171 ~ P-178) 《座長》 小西 徹 豊島光雄	代謝変性疾患 6 17:45 ~ 18:25 (P-190 ~ P-197) 《座長》 櫻庭 均 加藤善一郎	急性脳炎・脳症 11, 血管障害 1 17:35 ~ 18:20 (P-207 ~ P-215) 《座長》 糸数直哉 杉浦千登勢	感染・免疫 4 17:35 ~ 18:20 (P-225 ~ P-233) 《座長》 權藤健二郎 武藤順子	奇形・染色体異常 2 17:25 ~ 18:05 (P-241 ~ P-248) 《座長》 和田敬仁 奈良隆寛	発達障害 15 17:30 ~ 18:05 (P-261 ~ P-267) 《座長》 山形崇倫 松坂哲應	自律神経 1, 頭痛 1, 電気生理 1 17:20 ~ 17:55 (P-274 ~ P-280) 《座長》 荒木 敦 鈴木保宏
17:30	発達障害 14, その他 17:50 ~ 18:20 (P-157 ~ P-162) 《座長》 古荘純一 家島 厚					遺伝 3 18:05 ~ 18:25 (P-249 ~ P-252) 《座長》 中川栄二 黒澤健司		
18:00	ポスター撤去 ポスターセッション終了後 ~ 19:30							
18:30								
19:30								

会長講演

- 5月20日(木) 9:00~9:30 A会場
 座長 山下文雄(久留米大学小児科名誉教授)
 Rett 症候群に学ぶ—臨床・基礎研究からの22年と今後の展望—
 松石豊次郎(久留米大学小児科)

基調講演

- 5月20日(木) 11:10~11:40 A会場
 座長 大澤真木子(東京女子医科大学小児科)
 筋ジストロフィー研究から学んだこと
 埜中征哉(国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長)

特別講演 1

- 5月20日(木) 10:20~11:10 A会場
 座長 児玉浩子(帝京大学小児科)
 成長ホルモン分泌と食欲を刺激するホルモン“グレリン”の多彩な生理作用
 児島将康(久留米大学分子生命科学研究所遺伝情報研究部門)

特別講演 2

- 5月20日(木) 13:00~13:50 A会場
 座長 高嶋幸男(国際医療福祉大学大学院, 柳川療育センター)
 New Horizons in Neuroprotection of the Newborn: Cooling is just the Beginning
 Nicola J Robertson (Translational Neonatal Medicine, Institute for Women's Health, University College London, UK)

特別講演 3

- 5月21日(金) 9:00~9:50 A会場
 座長 桃井真里子(自治医科大学小児科)
 自閉症ヒト型マウスモデルの開発と小児神経学への展開
 内匠 透(広島大学大学院医歯薬学総合研究科創生医科学専攻探索医科学講座)

日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・ミニ講演

- 5月21日(金) 16:10~16:40 A会場
 座長 杉本健郎(すぎもとボーン・クリニック)

招待講演 1 (瀬川プログラム)

- 5月20日(木) 9:30~10:20 A会場
 座長 松尾雅文(神戸大学大学院小児科学)
 Rett Syndrome and MECP2—Status of Knowledge 10 Years after the Gene
 Uta Francke (Departments of Genetics and Pediatrics, Stanford University School of Medicine, Stanford, California, USA)

招待講演 2

- 5月20日(木) 13:45~14:30 B会場
 座長 三池輝久(兵庫県立総合リハビリテーションセンターリハビリテーション中央病院子どもの睡眠と発達医療センター)
 Parenting and Sleep in Early Childhood
 Avi Sadeh (The Adler Center for Research in Child Development and Psychopathology, Department of Psychology, Tel Aviv University, Tel Aviv, Israel)

招待講演 3

- 5月21日(金) 11:00~11:40 B会場
 座長 加我牧子(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
 The Neurobiological Studies of ADHD—Focus on Brain Imaging and Genetic Studies—
 Bung-nyun Kim (Division of Child & Adolescent Psychiatry, Department of Psychiatry, Clinical Research Institute, Seoul National University Hospital, College of Medicine, Seoul National University, Seoul, Korea)

教育講演 1

- 5月20日(木) 13:00~13:45 B会場
 座長 野村芳子(瀬川小児神経学クリニック)
 ジストニアの治療の最前線
 平 孝臣(東京女子医科大学脳神経外科)

教育講演 2

- 5月20日(木) 13:00~13:45 C会場
 座長 竹内義博(滋賀医科大学小児科)
 児童虐待が脳に及ぼす影響—脳科学と子どもの発達行動
 友田明美(熊本大学大学院小児発達学)

教育講演 3

- 5月21日(金) 13:10~13:55 B会場
 座長 高橋孝雄(慶應義塾大学小児科)
 iPS細胞技術と遺伝子変異長類モデルを用いた神経再生・神経疾患研究
 岡野栄之(慶應義塾大学生理学)

教育講演 4

- 5月22日(土) 11:00~12:00 A会場
 座長 加藤光広(山形大学小児科)
 小児期発症の神経伝達物質疾患—瀬川病を中心に—
 瀬川昌也(瀬川小児神経学クリニック)

シンポジウム 1

- 5月20日(木) 13:50~15:50 A会場
 周産期脳傷害と向き合うために一分野を超えた専門知識の相互リンクがもたらすもの
 座長 奥村彰久(順天堂大学小児科・思春期科学)
 早川昌弘(名古屋大学附属病院周産母子センター)
- 1) アクアポリンの基礎と臨床, 特に脳浮腫との関連において
 安井正人(慶應義塾大学薬理学)
 - 2) 急性脳損傷と磁気共鳴診断: 仮想病理空間はどこまで実病態に迫るのか?
 岩田欧介(久留米大学小児科, 同 高次脳疾患研究所, ロンドン大学母子保健院周産期脳研究所)
 - 3) 中枢神経疾患に対する幹細胞療法—周産期脳障害の救世主となりうるか—
 佐藤義朗¹, 中西圭子², 大平敦彦³, Blomgren Klas⁴, 服部哲夫¹, 早川昌弘¹
 (名古屋大学附属病院周産母子センター¹, 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所周産期学部², 愛知医科大学先端医学・医療研究拠点³, Center for Brain Repair and Rehabilitation, Institute of Neuroscience and Physiology, University of Gothenburg, Sweden⁴)
 - 4) 産婦人科医からみた周産期脳障害
 池田智明(国立循環器病センター周産期科)
 - 5) 周産期医療と療育の連携—「安心感」を育てるシステムの構築—
 小沢 浩(島田療育センター)

シンポジウム 2

- 5月20日(木) 14:30~16:20 B会場
 眠りの科学—大切な子どもの睡眠—
 座長 神山 潤(東京ベイ・浦安市川医療センター)
 糸 和彦(熊本大学発生医学研究所多能性幹細胞分野)
- 1) 睡眠覚醒調節の分子機構
 裏出良博((財)大阪バイオサイエンス研究所分子行動生物学部門)
 - 2) 睡眠の生理的意義と体内時計との関係
 糸 和彦(熊本大学発生医学研究所多能性幹細胞分野)
 - 3) 子どもの睡眠をめぐる現状—実態調査から
 岩崎瑞枝¹, 松石豊次郎^{1,2}
 (科学技術振興機構社会技術研究開発センター¹, 久留米大学小児科²)
 - 4) 子どもの睡眠障害の診断と治療
 内村直尚(久留米大学精神神経科)

シンポジウム 3

5月21日(金) 9:50~12:00 A会場

小児神経筋疾患—分子生物学の進歩と治療最前線—

座長 大野耕策(鳥取大学脳神経小児科)

杉江秀夫(自治医科大学小児科)

- 1) Channelepsy (チャンネル異常によるてんかん) の分子病態と治療への応用
廣瀬伸一(福岡大学小児科)
- 2) Duchenne 型筋ジストロフィーに対する分子治療学の進歩
武田伸一(国立精神・神経医療研究センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部, 同 トランスレーショナル・メディカルセンター)
- 3) ミトコンドリア病研究の進歩と治療法開発の最前線
古賀靖敏(久留米大学小児科)
- 4) Charcot-Marie-Tooth 病の分子遺伝学—治療への展望
高嶋 博(鹿児島大学大学院神経内科・老年病学)

シンポジウム 4

5月22日(土) 9:00~11:00 A会場

子どもの発達コホート研究の意義と課題

座長 小泉英明(科学技術振興機構, 株式会社日立製作所)

山縣然太郎(山梨大学大学院医学工学総合研究部)

- 1) なぜ、今、コホート研究が重要なのか?
小泉英明(科学技術振興機構, 株式会社日立製作所)
- 2) 子どもの発達コホート研究におけるイメージング研究の意義
定藤規弘(自然科学研究機構生理学研究所)
- 3) コホート研究と医師観察の意義
富和清隆(京都大学大学院遺伝カウンセラーコーディネータユニット, JST 日本の子供の発達コホート研究大阪研究グループ)
- 4) 乳児の行動から、社会性の発達を予測する
榊原洋一, 安治陽子
(お茶の水女子大学人間発達教育センターチャイルドケアアンドエデュケーション講座)
- 5) コホート研究からみる発達のトラジェクトリー
小枝達也^{1,2,3}, 関あゆみ^{1,2,3}, 竹内亜理子^{2,4}
(鳥取大学地域学部地域教育学科¹, 科学技術振興機構社会技術開発研究センター², 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部³, 渡辺病院⁴)
- 6) すくすくコホートの成果を今後につなげるために
山縣然太郎(山梨大学大学院医学工学総合研究部)

シンポジウム 5

5月22日(土) 9:00~11:00 B会場

急性脳症の診療・研究最前線

座長 市山高志(山口大学大学院小児科学)

高梨潤一(亀田メディカルセンター小児科)

- 1) インフルエンザ脳症の最新情報
水口 雅(東京大学大学院発達医科学)
- 2) 小児急性脳症の臨床と画像
高梨潤一(亀田メディカルセンター小児科)
- 3) 急性脳症における脳波
奥村彰久(順天堂大学小児科・思春期科学)
- 4) 病態解析と治療戦略
市山高志(山口大学大学院小児科学)

ワークショップ 1

5月21日(金) 9:00~11:00 B会場

医療における心理士の在り方

座長 小西行郎(同志社大学大学院心理学研究科赤ちゃん学研究センター)

利島 保(広島県立大学)

- 1) 健康・医療と心理学の連携—学術会議からの提言
長谷川寿一(東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系)

- 2) 神経内科が望む心理学士像
福山秀直 (京都大学高次脳機能総合研究センター)
- 3) 精神科医療における心理職の役割と国家資格化の課題
佐藤忠彦 (社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会桜ヶ丘記念病院)

ワークショップ 2

5月21日(金) 13:10~15:10 A会場

脳死の最近の話題

座長 水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)

- 1) はじめに
水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)
- 2) 小児の脳死判定の進め方
阿部俊昭, 日下康子 (東京慈恵会医科大学脳神経外科)
- 3) 小児の脳死判定における脳波検査
唐澤秀治 (船橋市立医療センター脳神経外科)
- 4) 脳死下臓器提供小児から被虐待児を除外する診断マニュアル
山田不二子 (医療法人社団三彦会山田内科胃腸科クリニック, NPO 法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク)
- 5) 慢性脳死の歴史と課題
杉本健郎 (すぎもとボーン・クリニック)

モーニング教育セミナー 1

5月21日(金) 8:00~9:00 D会場

座長 橋本俊顕 (徳島赤十字ひのみね総合療育センター)

特異的発達障害とくに発達性読み書き障害の診断・治療ガイドラインのご紹介

稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害部)

モーニング教育セミナー 2

5月21日(金) 8:00~9:00 E会場

座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)

希少疾患の治療薬開発に対して臨床医は何をすべきか? 一筋ジストロフィー患者データベース Remudy を中心に

川井 充¹, 中村治雅², 森まどか², 小牧宏文³, 後藤加奈子⁴, 松田 悠⁴, 林由起子⁴, 西野一三⁴, 松村 剛⁵

(国立病院機構東埼玉病院神経内科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院神経内科², 同 病院小児神経科³, 同 神経研究所疾研1部⁴, 国立病院機構刀根山病院神経内科⁵)

モーニング教育セミナー 3

5月21日(金) 8:00~9:00 F会場

小児神経学会が支援する共同研究 (共同研究支援委員会)

座長 佐々木征行 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

杉江秀夫 (自治医科大学小児科)

- 1) 保存乾燥臍帯を用いた先天性サイトメガロウイルス感染症の診断と病態解析
植松 貢 (東北大学小児科)
- 2) 急性脳症の分子遺伝学的病態解析
水口 雅¹, 高嶋幸男^{2,3}, 山内秀雄⁴, 伊藤雅之⁵, 塩見正司⁶, 久保田雅也⁷
(東京大学大学院発達医科学¹, 国際医療福祉大学大学院², 柳川療育センター³, 埼玉医科大学小児科⁴, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研2部⁵, 大阪市立総合医療センター感染症センター⁶, 国立成育医療センター神経科⁷)
- 3) 小児期に発症するてんかん重積状態に対する静脈用フェノバルビタールのエビデンスに関する臨床的研究
今高城治¹, 山内秀雄² (獨協医科大学小児科¹, 埼玉医科大学小児科²)
- 4) 先天性大脳白質形成不全症の診断と治療に向けた研究
井上 健¹, 小坂 仁², 黒澤健司², 高梨潤一³, 山本俊至⁴, 岩城明子⁵
(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研2部¹, 神奈川県立こども医療センター², 亀田メディカルセンター小児科³, 東京女子医科大学国際統合医科学研究所⁴, 九州大学生体防御研究所⁵)
- 5) 在宅の超重症児・準超重症児の生活実態についてのアンケート調査
小沢 浩 (島田療育センター小児科)

モーニング教育セミナー 4

5月22日(土) 8:00~9:00 C会場
 座長 泉 達郎(大分大学脳・神経機能統御講座小児科学)
 小児神経科医が知っておくべき感染免疫の最新知識
 原 寿郎(九州大学大学院成長発達医学分野)

モーニング教育セミナー 5

5月22日(土) 8:00~9:00 D会場
 座長 満留昭久(国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部)
 小児神経放射線診断:臨床に役立つMRIのkey所見
 宇都宮英綱(国際医療福祉大学大学院放射線・情報科学分野, ももち浜福岡山王病院放射線診断科)

モーニングセミナー:エーザイ株式会社

5月22日(土) 8:00~9:00 B会場
 座長 藤田光江((財)筑波学園病院小児科)
 小児の頭痛—片頭痛の診断と治療—
 安藤直樹(名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)

ランチョンセミナー 1:ヤンセンファーマ株式会社

5月20日(木) 12:00~12:50 B会場
 座長 加我牧子(国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
 Korean ADHD Treatment Experiences Using OROS-MPH and Atomoxetine
 Bung-nyun Kim (Division of Child & Adolescent Psychiatry, Department of Psychiatry, Clinical Research Institute, Seoul National University Hospital, College of Medicine, Seoul National University, Seoul, Korea)

ランチョンセミナー 2:グラクソ・スミスクライン株式会社

5月20日(木) 12:00~12:50 C会場
 座長 大塚頌子(岡山大学大学院発達神経病態学)
 長期的視野に基づいたてんかんの薬物治療戦略—ラモトリギンの位置づけを含めて—
 久保田英幹(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)

ランチョンセミナー 3:アボット ジャパン株式会社

5月20日(木) 12:00~12:50 D会場
 座長 福島亮治(帝京大学外科学)
 栄養管理の問題点とその対策
 田中芳明(久留米大学外科学教室小児外科部門)

ランチョンセミナー 4:アルフレッサ ファーマ株式会社

5月20日(木) 12:00~12:50 E会場
 座長 東條 恵(新潟県はまぐみ小児療育センター小児科)
 小児のけいれん重積の最近の治療 Recent Management of Status Epilepticus in Children
 須貝研司(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

ランチョンセミナー 5:ジェンザイム・ジャパン株式会社

5月20日(木) 12:00~12:50 F会場
 座長 大澤真木子(東京女子医科大学小児科)
 筋症状を示す小児糖原病:診断と治療
 埜中征哉(国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長)

ランチョンセミナー 6:日本イーライリリー株式会社

5月21日(金) 12:10~13:00 B会場
 座長 小枝達也(鳥取大学地域学部地域教育学科)
 AD/HDの薬物療法に何を期待するのか—アトモキセチン7年の使用経験より—
 荒木章子(旭川医科大学小児科)

ランチョンセミナー 7: グラクソ・スミスクライン株式会社

5月21日(金) 12:10~13:00 C会場
 座長 児玉和夫(大阪発達総合療育センター)
 ハンズオンセミナー「脳性麻痺のボツリヌス治療」
 根津敦夫(横浜療育医療センター神経小児科)

ランチョンセミナー 8: 協和発酵キリン株式会社

5月21日(金) 12:10~13:00 D会場
 座長 小国弘量(東京女子医科大学小児科)
 小児難治てんかんの薬物治療—静岡症例でのエビデンス—
 高橋幸利(国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター, 岐阜大学小児科)

ランチョンセミナー 9: ユーシービー・ジャパン株式会社・大塚製薬株式会社

5月21日(金) 12:10~13:00 E会場
 座長 大塚頌子(岡山大学大学院発達神経病態学(小児神経科))
 Neurodevelopmental Effects of Antiepileptic Drugs
 Kimford J. Meador (Professor of Neurology and Director of Epilepsy at Emory University, Atlanta, Georgia, USA)

ランチョンセミナー 10: 大日本住友製薬株式会社

5月21日(金) 12:10~13:00 F会場
 座長 山野恒一(大阪市立大学大学院発達小児医学名誉教授)
 子どもの生活に根ざしたてんかん診療を目指して—診断から治療の終了まで
 岡 明(杏林大学小児科)

イブニングセミナー 1

5月21日(金) 19:00~21:00 B会場
 重症児(者)が地域で安全に快適に生きるために: ショートステイ, 「レスパイト入院」(社会活動委員会主催)
 座長 杉本健郎(すぎもとボーン・クリニック)
 1) 医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア—診療所からの実践報告—
 高橋昭彦(ひばりクリニック)
 2) 小児専門病院におけるレスパイト入院の現状
 鳥邊泰久(大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科, 同 在宅医療支援室)
 3) 重症児(者)が地域で安全に暮らせるために: 国立病院機構の立場から
 石田修一(NHO まつもと医療センター中信松本病院小児科)
 4) 重症心身障害児(者)施設のショートステイの現状
 岩崎裕治(都立東部療育センター)

イブニングセミナー 2

5月21日(金) 19:00~21:00 C会場
 第4回子どもの眠り研究会
 座長 神山 潤(東京ベイ・浦安市川医療センター)
 谷池雅子(大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター)
 1) 小児睡眠ポリグラフィのプレパレーションの試み—発達障害児における効果は—
 村田絵美¹, 加藤久美^{1,2}(大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 太田睡眠科学センター²)
 2) Actigraphによる子どもの生活リズムの振り返りの効果—1歳児, 2歳児を育てる母親への援助を考える—
 安積陽子¹, 高田 哲²(甲南女子大学看護リハビリテーション学部¹, 神戸大学大学院保健学研究科²)
 3) CD法を用いた小児睡眠中の心拍変動解析
 大木 昇(のるぶろライトシステムズ)
 4) 錯乱性覚醒(朝型)が疑われる14歳女児
 齋藤なか¹, 神山 潤^{2,3}(鶴岡市立荘内病院小児科¹, 東京ベイ・浦安市川医療センター², 東京北社会保険病院³)
 5) 周期性過眠症の1例
 松澤重行, 田島世貴, 高井一美, 三池輝久
 (兵庫県立総合リハビリテーションセンター中央病院子どもの睡眠と発達医療センター小児科)
 6) 光環境調節による睡眠覚醒リズム形成の試みと親子関係の検討
 高野美雪^{1,2}, 上土井貴子², 川谷淳子², 友田明美²
 (平成音楽大学¹, 熊本大学付属病院発達小児科²)

- 7) 「子どもの眠りの質問票」を用いた小児睡眠関連疾患の疫学についての検討
加藤久美^{1,2}, 清水佐知子³, 大野ゆう子³, 毛利育子^{1,4}, 辻富士子⁵, 松本小百合⁶, 谷池雅子^{1,4}
(大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 太田睡眠科学センター², 大阪大学大学院数理保健学研究室³, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合大学院小児発達学研究所⁴, 堺市子ども青少年局子育て支援部保育課⁵, 東大阪市保健所⁶)
- 8) Asia Pacific Pediatric Sleep Alliance (APPSA) の活動報告
神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)

イブニングセミナー 3

- 5月21日(金) 19:00~21:00 D会場
静注用フェノバルビタールによるてんかん重積状態の治療法の確立に向けて (薬事委員会主催)
座長 大塚頌子 (岡山大学大学院発達神経病態学)
山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
- 1) 静注用フェノバルビタール使用例の実際
宮本雄策, 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
 - 2) フェノバルビタール静脈注射製剤の著効例
渡邊嘉章, 福島雅子, 大塚頌子 (岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科))
 - 3) 当院におけるフェノバルビタール静注用製剤 (静注用 PB) の使用経験
酒井哲郎, 山内秀雄 (埼玉医科大学病院小児科)
 - 4) 小児けいれん重積およびけいれん頻発における静注用フェノバルビタールの有効性と安全性
菊池健二郎, 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)
 - 5) てんかんによる群発型けいれん重積に対するフェノバルビタール静注の投与量の検討
須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 - 6) 当院における静注用フェノバルビタールの使用状況と共同研究実施上の問題点
今高城治 (獨協医科大学小児科)
 - 7) 小児けいれん重積症治療ガイドラインにおけるフェノバルビタール静注薬の位置づけ
林 北見 (東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科)

イブニングセミナー 4

- 5月21日(金) 19:00~21:00 E会場
新しい乳幼児健診: 知覚認知課題を用いて
座長 金沢 創 (日本女子大学人間社会学部心理学)
- 1) 知覚認知課題を用いた新しい乳幼児健診
金沢 創 (日本女子大学人間社会学部心理学)
 - 2) 乳児健診デジタル検査結果—preliminary study—
藤井靖史^{1,2}, 天方かおり² (帝京大学教職大学院教職研究科¹, 同 医学部小児科²)
 - 3) 発達障害児における視覚的注意機能の実験心理学的検討
日比優子¹, 熊田孝恒², 金沢 創³, 山口真美⁴, 小西 薫⁵
(静岡英和学院大学人間社会学部人間社会学科¹, 産業技術総合研究所², 日本女子大学人間社会学部心理学科³, 中央大学⁴, さいたま市総合療育センターひまわり学園⁵)

イブニングセミナー 5

- 5月21日(金) 19:00~21:00 F会場
脳性麻痺のボツリヌス治療一問題症例検討会: よりよい下肢痙縮治療を目指して (薬事委員会主催)
座長 根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)
高橋保彦 (九州厚生年金病院小児科)
- 1) 痙直型両麻痺および片麻痺児でのボツリヌス治療の有効性の検討—当センターでの経験から—
吉田菜穂子 (聖ヨゼフ医療福祉センター小児科)
 - 2) 小児脳性麻痺下肢痙縮に対するボツリヌス投与の経験
足立昌夫 (加古川市民病院小児科)
 - 3) 小児脳性麻痺の尖足に対する A 型ボツリヌス毒素治療の長期予後
根津敦夫, 青山晴彦, 唐沢久美子, 岩本弘子, 筑丸ゆり, 金子かおり, 黒澤真紀子, 松尾多希子
(横浜療育医療センター神経小児科)
 - 4) 痙性マヒ小児の下肢痙縮に対する A 型ボツリヌス毒素療法
高橋保彦 (九州厚生年金病院小児科)
 - 5) 指定発言
東條 恵 (新潟県はまぐみ小児療育センター小児科)

2010 JSCN Award for Asia Young Investigator

5月21日(金) 13:55~14:05 B会場

座長 藤井克則(千葉大学大学院小児病態学)

Comparison of Sequential Organ Failure Assessment Score and Pediatric Multiple Organ Dysfunction Score (MODS) in the Prediction of ICU Outcome

Navin Mishra (Department of Pediatrics, KIST Medical College, Nepal)

アジア・オセアニア小児神経学国際教育プログラム

5月21日(金) 14:05~14:25 B会場

座長 藤井克則(千葉大学大学院小児病態学)

The Compliance of Drug Treatment Program and the Probability of Achieving Remission in Childhood Onset Epilepsy

Rizaldy Pinzon (Neurology Department, Bethesda Hospital, Yogyakarta, Indonesia)

実践教育セミナー1(有料・事前登録制)

5月19日(水) 15:00~18:30 F会場

新生児脳波判読集中セミナー: 発達変化の理解から異常脳波の判読まで

座長 新島新一(順天堂大学練馬病院小児科)

- 1) 正期産児の正常脳波と異常脳波
加藤 徹(岡崎市民病院小児科)
- 2) 早産児の正常脳波と異常脳波
丸山幸一(愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科)
- 3) 新生児発作と脳波モニタリング
奥村彰久(順天堂大学小児科・思春期科学)
- 4) インタラクティブコーナー
奥村彰久(順天堂大学小児科・思春期科学)
加藤 徹(岡崎市民病院小児科)
丸山幸一(愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科)

実践教育セミナー2(無料)

5月22日(土) 13:00~15:00 B会場

やってみよう5歳児健診: 先駆者から学ぶ実践のイロハ

座長 林 隆(山口県立大学看護栄養学部看護学科)

小枝達也(鳥取大学地域学部地域教育学科)

- 1) 下関市の5歳児発達相談一園医・一般小児科医が行う5歳児発達相談の取り組み
金原洋治(かねはら小児科)
- 2) 島原市における5歳児健診推進モデル事業—就学へ繋げる取組
松坂哲應(長崎県立こども医療福祉センター)
- 3) 京都府中丹西保健所5歳児モデル健診事業から京都府年中児発達サポート事業へ
弓削マリ子(京都府中丹東保健所)

市民公開講座

5月22日(土) 13:00~15:20 A会場

発達障害は、今、増えているのか—現状の把握と未来への提言—

座長 石崎朝世(社団法人発達協会王子クリニック)

久保田健夫(山梨大学大学院環境遺伝医学)

- 1) 発達障害の増加の実態と要因を探る—医療面の調査結果とそれに基づく提言
石崎朝世(社団法人発達協会王子クリニック)
- 2) 発達障害の増加に関する医療面以外の調査結果のまとめと今後の課題
湯汲英史(日本発達障害福祉連盟常務理事, 早稲田大学教育・総合科学学術院)
- 3) 地区における増加の実態またはその感触に関する追加発言
松本良一(久留米市立久留米養護学校)
- 4) 発達障害の増加の要因—遺伝(エピジェネティクス)の立場から—
久保田健夫(山梨大学大学院環境遺伝医学)
- 5) 臨床神経学的見地(前頭葉機能)からの示唆—病態を検討した上での地域療育への提言—
相原正男(山梨大学大学院医学工学総合研究部)
- 6) 本公開講座内容に対するコメントおよび文部科学省としての対応の現状と今後
石塚謙二(文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官)

第 5 回小児重症筋無力症研究会：アステラス製薬株式会社

5 月 22 日（土）13:00～17:00 C 会場

会費：1,000 円

世話人：林 正俊（愛媛県立中央病院小児科）

林 雅晴（東京都神経科学総合研究所神経発達・再生）

野村 芳子（瀬川小児神経学クリニック）

プログラム：13:00～13:05 Opening Remarks
13:05～14:05 特別講演（1）
小児重症筋無力症の病態・治療に関する歴史
瀬川昌也（瀬川小児神経学クリニック）
14:05～15:05 特別講演（2）
免疫系の発達
高浜洋介（徳島大学疾患ゲノム研究センター遺伝子実験施設）
15:20～16:40 症例検討
16:40～17:00 総合討論

総会前日 F 会場

15:00~18:30 実践教育セミナー 1 (有料・事前登録制) (S176)

新生児脳波判読集中セミナー：発達変化の理解から異常脳波の判読まで

座長 新島新一 (順天堂大学練馬病院小児科)

- 1) 正期産児の正常脳波と異常脳波
加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
- 2) 早産児の正常脳波と異常脳波
丸山幸一 (愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科)
- 3) 新生児発作と脳波モニタリング
奥村彰久 (順天堂大学小児科・思春期科学)
- 4) インタラクティブコーナー
奥村彰久 (順天堂大学小児科・思春期科学)
加藤 徹 (岡崎市民病院小児科)
丸山幸一 (愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科)

第 1 日目 A 会場

- 8:50~9:00 開会式
- 9:00~9:30 会長講演 (S83)
 Rett 症候群に学ぶ—臨床・基礎研究からの 22 年と今後の展望—
 座長 山下文雄 (久留米大学小児科名誉教授)
 講演 松石豊次郎 (久留米大学小児科)
- 9:30~10:20 招待講演 1 (瀬川プログラム) (S88)
 Rett Syndrome and MECP2-Status of Knowledge 10 Years after the Gene
 座長 松尾雅文 (神戸大学大学院小児科学)
 講演 Uta Francke (Departments of Genetics and Pediatrics, Stanford University School of
 Medicine, Stanford, California, USA)
- 10:20~11:10 特別講演 1 (S85)
 成長ホルモン分泌と食欲を刺激するホルモン“グレリン”の多彩な生理作用
 座長 児玉浩子 (帝京大学小児科)
 講演 児島将康 (久留米大学分子生命科学研究所遺伝情報研究部門)
- 11:10~11:40 基調講演 (S84)
 筋ジストロフィー研究から学んだこと
 座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
 講演 壺中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長)
- 13:00~13:50 特別講演 2 (S86)
 New Horizons in Neuroprotection of the Newborn : Cooling is just the Beginning
 座長 高嶋幸男 (国際医療福祉大学大学院, 柳川療育センター)
 講演 Nicola J Robertson (Translational Neonatal Medicine, Institute for Women's Health,
 University College London, UK)
- 13:50~15:50 シンポジウム 1 (S95)
 周産期脳傷害と向き合うために一分野を超えた専門知識の相互リンクがもたらすもの
 座長 奥村彰久 (順天堂大学小児科・思春期科学)
 早川昌弘 (名古屋大学附属病院周産母子センター)
- 1) アクアポリンの基礎と臨床, 特に脳浮腫との関連において
 安井正人 (慶應義塾大学薬理学)
 - 2) 急性脳損傷と磁気共鳴診断: 仮想病理空間はどこまで実病態に迫るのか?
 岩田欧介 (久留米大学小児科, 同 高次脳疾患研究所, ロンドン大学母子保健院周産期脳研究所)
 - 3) 中枢神経疾患に対する幹細胞療法—周産期脳障害の救世主となりうるか—
 佐藤義朗¹, 中西圭子², 大平敦彦³, Blomgren Klas⁴, 服部哲夫¹, 早川昌弘¹
 (名古屋大学附属病院周産母子センター¹, 愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所周産期学部², 愛
 知医科大学先端医学・医療研究拠点³, Center for Brain Repair and Rehabilitation, Institute of Neuroscience
 and Physiology, University of Gothenburg, Sweden⁴)
 - 4) 産婦人科医からみた周産期脳障害
 池田智明 (国立循環器病センター周産期科)
 - 5) 周産期医療と療育の連携—「安心感」を育てるシステムの構築—
 小沢 浩 (島田療育センター)

第 1 日目 B 会場

- 12:00~12:50 ランチョンセミナー 1: ヤンセンファーマ株式会社 (S141)
 Korean ADHD Treatment Experiences Using OROS-MPH and Atomoxetine
 座長 加我牧子 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)
 講演 Bung-nyun Kim (Division of Child & Adolescent Psychiatry, Department of Psychiatry,
 Clinical Research Institute, Seoul National University Hospital, College
 of Medicine, Seoul National University, Seoul, Korea)
- 13:00~13:45 教育講演 1 (S91)
 ジストニアの治療の最前線
 座長 野村芳子 (瀬川小児神経学クリニック)
 講演 平 孝臣 (東京女子医科大学脳神経外科)
- 13:45~14:30 招待講演 2 (S89)
 Parenting and Sleep in Early Childhood
 座長 三池輝久 (兵庫県立総合リハビリテーションセンターリハビリテーション中央病院
 子どもの睡眠と発達医療センター)
 講演 Avi Sadeh (The Adler Center for Research in Child Development and Psychopathology,
 Department of Psychology, Tel Aviv University, Tel Aviv, Israel)
- 14:30~16:20 シンポジウム 2 (S101)
 眠りの科学—大切な子どもの睡眠—
 座長 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)
 桑 和彦 (熊本大学発生医学研究所多能性幹細胞分野)
- 1) 睡眠覚醒調節の分子機構
 裏出良博 ((財)大阪バイオサイエンス研究所分子行動生物学部門)
 - 2) 睡眠の生理的意義と体内時計との関係
 桑 和彦 (熊本大学発生医学研究所多能性幹細胞分野)
 - 3) 子どもの睡眠をめぐる現状—実態調査から
 岩崎瑞枝¹, 松石豊次郎^{1,2}
 (科学技術振興機構社会技術研究開発センター¹, 久留米大学小児科²)
 - 4) 子どもの睡眠障害の診断と治療
 内村直尚 (久留米大学精神神経科)

第 1 日目 C 会場

- 12:00~12:50 ランチョンセミナー 2: グラクソ・スミスクライン株式会社 (S142)
 長期的視野に基づいたてんかんの薬物治療戦略—ラモトリギンの位置づけを含めて—
 座長 大塚 頌子 (岡山大学大学院発達神経病態学)
 講演 久保田英幹 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
- 13:00~13:45 教育講演 2 (S92)
 児童虐待が脳に及ぼす影響—脳科学と子どもの発達行動
 座長 竹内義博 (滋賀医科大学小児科)
 講演 友田明美 (熊本大学大学院小児発達学)
- 13:50~14:40 発達障害 1 (早期診断) (S191)
 座長 北原 侑 (鳥取県立総合療育センター)
 新井田要 (金沢大学子どものこころの発達研究センター)

- O-001 乳幼児期より客観的評価ができたアスペルガー症候群の発達経過について**
○吉岡三恵子, 長門雅子
神戸市総合療育センター小児神経科
- O-002 2歳までに姫路市総合福祉通園センターを受診した高機能広汎性発達障害の乳幼児期の臨床症状**
○小寺澤敬子¹, 岡田由香¹, 中野加奈子², 宮田広善¹
姫路市総合福祉通園センター¹, 六甲アイランド病院小児科²
- O-003 3歳児健診における発達障害早期発見の試み—保育士評価「3歳児発達調査票」の検討—**
○津田芳見¹, 橋本俊顕², 高原光恵¹
鳴門教育大学大学院特別支援教育専攻¹, 徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科²
- O-004 PDD に併存する ADHD 症状と ADHD との遺伝的異質性—同胞例の検討から—**
○平林伸一, 平野 悟, 笛木 昇
長野県立こども病院神経科
- O-005 自閉症スペクトラム障害における出生時の両親年齢および出生順位の検討**
○杉江陽子¹, 杉江秀夫², 大澤純子¹, 福田冬季子², 鈴木輝彦¹, 伊藤政孝³, 大関武彦¹
浜松医科大学小児科¹, 自治医科大学小児科², 青葉こどもクリニック³

14:40~15:20 発達障害 2 (鑑別・併存障害) (S193)
座長 星加明德 (東京医科大学病院小児科)
石崎朝世 (社団法人発達協会王子クリニック)

- O-006 マルフアン様症状を伴った自閉症群—新たなる症候群の提案—**
○中山智博, 中山尚子, 兼松幸子, 丸山 博
松戸クリニック
- O-007 当初, 発達障害が疑われ, 後に歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症と診断した 3 例**
○滝口慎一郎, 桑島真理, 下泉秀夫
国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園小児科
- O-008 国立成育医療センターを受診した高機能広汎性発達障害児にみられた併存障害とその時期**
○舟橋敬一, 直井高歩, 宮尾益知, 奥山眞紀子
国立成育医療センターこころの診療部
- O-009 AD/HD 症状を伴った広汎性発達障害へのメチルフェニデート徐放薬の効果**
○橋本俊顕, 島川清司, 内藤悦雄, 里村茂子
徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科

15:20~16:10 発達障害 3 (基礎研究) (S195)
座長 森 健治 (徳島大学大学院小児医学分野)
中村みほ (愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所)

- O-010 自閉症脳の in vivo ¹H-MRS による検討—前部帯状回および小脳半球について—**
○森 健治¹, 東田好広¹, 藤井笑子¹, 森 達夫¹, 郷司 彩¹, 宮崎雅仁¹, 原田雅史², 香美祥二¹
徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部小児医学¹, 同 診療放射線技術学²
- O-011 レット症候群における血漿中グレリン濃度の検討**
○原 宗嗣¹, 葉 純子², 西 芳寛², 山下裕史朗¹, 田中永一郎², 児島将康³, 松石豊次郎¹
久留米大学小児科¹, 同 生理学講座脳・神経機能部門², 同 分子生命科学研究所遺伝情報研究部門³
- O-012 カブキ症候群の認知機能—ウィリアムズ症候群との比較による dorsal stream vulnerability の可能性—**
○中村みほ¹, 村松友佳子², 倉橋宏和², 水野誠司²
愛知県心身障害者コロニー発達障害研究所¹, 同 中央病院²
- O-013 探索眼球運動評価によるアスペルガー障害の対人的視覚認知機能**
○江上千代美¹, 森田喜一郎², 石井洋平², 大矢崇志³, 山下裕史朗³, 松石豊次郎³
福岡県立大学看護学部¹, 久留米大学高次脳疾患研究所², 同 小児科³
- O-014 高機能広汎性発達障害児の表情認知課題中における視線研究**
○高木幸弘¹, 橋本俊顕², 津田芳見³, 高原光恵³, 成瀬 進⁴
鳴門山上病院リハビリテーション部門¹, 徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科², 鳴門教育大学特別支援教育講座³, 神戸国際大学リハビリテーション学部理学療法学科⁴

第 1 日目 D 会場

- 12:00~12:50 ランチョンセミナー 3: アボット ジャパン株式会社…………… (S143)
 栄養管理の問題点とその対策
 座長 福島亮治 (帝京大学外科学)
 講演 田中芳明 (久留米大学外科学教室小児外科部門)
- 13:00~13:50 てんかん・けいれん 1 (疫学・認知) …………… (S198)
 座長 大塚頌子 (岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科))
 前垣義弘 (鳥取大学脳神経小児科)
- O-015 千葉県八千代市における小児けいれん重積症の疫学調査 (2007~2009)
 ○森山陽子, 林 北見, 武藤順子, 山本しほ, 土屋 希, 鈴木映未由, 徳武翔子, 松井拓也
 東京女子医科大学八千代医療センター小児科
- O-016 Dravet 症候群死亡例の全国調査
 ○坂内優子¹, 小国弘量¹, 大澤真木子¹, 廣瀬伸一², 兼子 直³, 高山留美子⁴, 高橋幸利⁴, 藤原建樹⁴, 山川和弘⁵
 東京女子医科大学小児科¹, 福岡大学小児科², 弘前大学精神神経科³, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科⁴, 理化学研究所脳科学研究総合センター神経遺伝科⁵
- O-017 潜性局在関連てんかんの認知特性について
 ○柏木 充¹, 田辺卓也¹, 島川修一², 中島三和¹, 福井美保², 東川幸嗣³, 若宮英司⁴, 玉井 浩²
 市立枚方市民病院小児科¹, 大阪医科大学小児科², 清恵会病院小児科³, 藍野大学医療保健学部看護学科⁴
- O-018 特発性てんかんの認知機能
 ○本郷和久, 藤木靖子, 原井朋美, 宮 一志, 加藤 奏, 宮脇利男
 富山大学小児科
- O-019 小児てんかん患者の行動面の評価
 ○遠藤文香¹, 岡 牧郎¹, 竹内章人¹, 渡邊聖子¹, 荻野竜也², 大塚頌子¹
 岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科)¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科²
- 13:50~14:50 てんかん・けいれん 2 (West 症候群) …………… (S200)
 座長 永井利三郎 (大阪大学大学院保健学専攻)
 安元佐和 (福岡大学小児科)
- O-020 重度発達遅滞をきたす West 症候群の原因疾患についての検討
 ○遠山 潤^{1,2}, 大橋 伯¹, 小林 悠¹, 赤坂紀幸¹
 国立病院機構西新潟中央病院小児科¹, 新潟大学医歯学総合病院小児科²
- O-021 点頭てんかんを発症した Williams 症候群の 2 症例
 ○向田壯一¹, 今井克美¹, 下島圭子², 山本俊至², 池上真理子¹, 池田浩子¹, 高山留美子¹, 最上友紀子¹, 高橋幸利¹
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科¹, 東京女子医科大学国際統合医科学インスティテュート²
- O-022 ARX 遺伝子第 2 ポリアラニン伸長変異を認めた孤発性 West 症候群の 1 男児例
 ○中村和幸, 加藤光広, 早坂 清
 山形大学小児科
- O-023 Vit B6 大量投与および ACTH 投与が発作抑制に有効であった乳児早期てんかん性脳症の 1 例
 ○折居建治¹, 加藤光広², 船戸道徳¹, 大西秀典¹, 寺本貴英¹, 加藤善一郎¹, 深尾敏幸¹, 近藤直実¹
 岐阜大学大学院小児病態学¹, 山形大学小児科²
- O-024 ACTH 療法が著効した epileptic spasm without hypsarrhythmia の 2 例
 ○石井雅宏¹, 下野昌幸¹, 千手絢子¹, 塩田直樹²
 産業医科大学小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²
- O-025 点頭てんかんにおける ACTH 短期隔日療法の有効性と安全性—従来の“福山方式” ACTH 療法との比較検討—
 ○山田桂太郎, 鳥邊泰久, 柳原恵子, 真野利之, 鈴木保宏
 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科

- 14:50~16:20 てんかん・けいれん 3 (良性・難治性てんかん・画像) (S203)
 座長 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
- O-026 Atypical benign partial epilepsy of childhood (ABPE) の臨床・脳波学的検討
 ○藤井明子, 小国弘量, 平野嘉子, 大澤真木子
 東京女子医科大学小児科
- O-027 Panayiotopoulos 症候群に有効な抗てんかん薬についての後方視的検討
 ○平野嘉子, 小国弘量, 大澤真木子
 東京女子医科大学小児科
- O-028 発達障害を伴った Panayiotopoulos 症候群の臨床的検討
 ○川脇 壽¹, 岡崎 伸¹, 九鬼一郎¹, 温井めぐみ¹, 井上岳司¹, 富和清隆¹, 塩見正司²
 大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 同 感染症センター²
- O-029 後期発症型小児後頭葉てんかん (Gastaut 型) に関する臨床的研究
 ○若本裕之¹, 福田光成², 元木崇裕³, 大森啓充³, 渡部承平⁴, 森本武彦¹, 長尾秀夫⁵
 愛媛県立子ども療育センター小児科¹, 愛媛大学小児科², 愛媛県立中央病院小児科³, 愛媛県立今
 治病院小児科⁴, 愛媛大学教育学部障害児病理⁵
- O-030 難治性てんかん発作と脳室上衣下巨細胞性星状細胞腫を伴った結節性硬化症の 1 症例に対する高密度脳
 波の検討
 ○藤本礼尚, 山本貴道, 榎日出夫, 岡西 徹, 横田卓也, 山添知宏
 聖隷浜松病院てんかんセンター
- O-031 早期ミオクロニー脳症の基礎疾患と臨床経過
 ○鋤柄小百合¹, 須貝研司¹, 佐久間啓¹, 小牧宏文¹, 斎藤義朗¹, 中川栄二¹, 佐々木征行¹, 大槻泰介²
 国立精神・神経センター病院小児神経科¹, 同 脳神経外科²
- O-032 小児期発症の難治性てんかん症例に対する lamotrigine 投与の検討
 ○岡崎 伸¹, 九鬼一郎¹, 温井めぐみ¹, 井上岳司¹, 竹下佳弘¹, 川脇 壽¹, 天羽清子², 外川正生²,
 塩見正司³, 富和清隆^{1,4}
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 同 小児医療センター小児救急科²,
 同 感染症センター³, 京都大学大学院遺伝カウンセラーコーディネーター⁴
- O-033 前頭葉てんかん児における発作持続期間と前頭前野体積との関連—3-D MRI による前方視的検討—
 ○金村英秋¹, 畑 園子¹, 島山和男¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
 山梨大学小児科¹, 同 大学院医学工学総合研究部²
- O-034 熱性けいれん重積後の急性期拡散強調画像異常とてんかん発症
 ○横井摂理¹, 辻 健史², 中田智彦¹, 久保田哲夫³, 丸山幸一⁴, 糸見世子⁵, 祖父江文子⁶, 梶田光春⁷,
 奥村彰久⁸, 夏目 淳¹, 根来民子¹, 渡邊一功⁹
 名古屋大学小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 安城更生病院小児科³, 愛知県心身障害者コロニー中
 央病院小児神経科⁴, 名古屋第一赤十字病院小児科⁵, 名古屋記念病院小児科⁶, 厚生連加茂病院小
 児科⁷, 順天堂大学小児科⁸, 愛知淑徳大学医療福祉学部⁹

第 1 日目 E 会場

- 12:00~12:50 ランチョンセミナー 4: アルフレッサ ファーマ株式会社 (S144)
 小児のけいれん重積の最近の治療 Recent Management of Status Epilepticus in Children
 座長 東條 恵 (新潟県はまぐみ小児療育センター小児科)
 講演 須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- 13:00~14:10 急性脳炎・脳症 1 (分類・疫学・臨床) (S208)
 座長 水口 雅 (東京大学大学院発達医学)
 高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)
- O-035 急性脳症の ABC 分類
 ○早川文雄¹, 辻 健史¹, 加藤 徹¹, 高梨潤一², 奥村彰久³
 岡崎市民病院小児科¹, 亀田メディカルセンター小児科², 順天堂大学小児科³
- O-036 発熱に伴うけいれん重積および意識障害の遷延を認めた時の診断プロセス (第 2 報)
 ○五十嵐加弥乃, 梶野真弓, 白井 勝, 沖 潤一
 旭川厚生病院小児科

- O-037 急性脳症が疑われる小児における非けいれん性発作**
 ○丸山あずさ¹, 中川 拓², 藤田杏子¹, 佐治洋介², 永瀬裕朗¹
 兵庫県立こども病院脳神経内科¹, 同 救急集中治療科²
- O-038 生後 6 か月未満に発症する脳炎・脳症の検討**
 ○山本啓之¹, 深沢達也¹, 久保田哲夫¹, 中田智彦², 奥村彰久³, 小林 悟⁴, 安藤直樹⁴, 辻 健史⁵,
 加藤 徹⁵, 早川文雄⁵
 安城更生病院小児科¹, 名古屋掖済会病院小児科², 順天堂大学小児科思春期科³, 名古屋市立大学
 大学院新生児小児医学⁴, 岡崎市民病院小児科⁵
- O-039 HHV-6 感染に関連する二相性急性脳症の臨床所見と予後の関係について**
 ○菊池健二郎^{1,2}, 浜野晋一郎¹, 小一原玲子¹, 折津友隆^{1,2}, 田中 学¹, 南谷幹之³, 井田博幸²
 埼玉県立小児医療センター神経科¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 埼玉県立小児医療センター保健
 発達部³
- O-040 急性脳症/Reye 様症候群の臨床基礎病態と、その危険因子**
 ○岡成和夫, 泉 達郎
 大分大学小児科
- O-041 当院救急外来で緊急ポータブル脳波を施行した症例の臨床的検討**
 ○井上岳司¹, 岡崎 伸¹, 服部妙香¹, 山崎夏維¹, 平野恭悠¹, 温井めぐみ¹, 九鬼一郎¹, 川脇 壽¹,
 岩見裕子², 天羽清子², 外川正生², 林下浩士³, 塩見正司⁴, 富和清隆⁵
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児神経内科¹, 同 小児医療センター小児救急科²,
 同 救命救急センター³, 同 感染症センター⁴, 京都大学遺伝カウンセラーコーディネーターユ
 ニット⁵
- 14:10~15:10 急性脳炎・脳症 2 (症例) (S211)**
 座長 塩見正司 (大阪市立総合医療センター感染症センター)
 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)
- O-042 我が国における小児急性散在性脳脊髄炎, 多発性硬化症の全国疫学調査-1 次調査結果-**
 ○山口 結^{1,2}, 石垣景子², 皆川公夫², 久保田雅也², 玉井 浩², 平林伸一², 愛波秀男², 市山高志²,
 夏目 淳², 浜野晋一郎², 水口 雅², 岡 明², 前垣義弘², 吉川秀人², 原 寿郎^{1,2}
 九州大学大学院成長発達医学¹, 日本小児免疫性脳炎研究グループ²
- O-043 小児急性散在性脳脊髄炎, 多発性硬化症患者の全国疫学調査-臨床的特徴について-**
 ○鳥巢浩幸^{1,2}, 石垣景子², 皆川公夫², 久保田雅也², 玉井 浩², 平林伸一², 愛波秀男², 市山高志²,
 夏目 淳², 浜野晋一郎², 水口 雅², 岡 明², 前垣義弘², 吉川秀人², 原 寿郎^{1,2}
 九州大学大学院成長発達医学¹, 日本小児免疫性脳炎研究グループ²
- O-044 Fulminant encephalopathy with marked brain edema and bilateral thalamic lesion (FEET) の 2 例**
 ○安藤直樹¹, 小林 悟¹, 中島葉子¹, 伊藤哲哉¹, 戸荊 創¹, 岡西 徹², 奥村彰久³
 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学¹, 聖隷浜松病院小児科², 順天堂大学小児科³
- O-045 抗 GAD 抗体の関与が疑われた急性脳症の 2 例**
 ○柏井洋文, 奥村さやか, 古山晶子, 星野英紀, 久保田雅也
 国立成育医療センター神経内科
- O-046 HHV6 脳症の 1 女児例**
 ○鍋谷まこと, 船戸正久, 和田 浩
 淀川キリスト教病院小児科
- O-047 インフルエンザ感染を契機に非ヘルペス性辺縁系脳炎を発症した 1 例**
 ○小野浩明¹, 高橋幸利²
 県立広島病院小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- 15:10~16:20 急性脳炎・脳症 3 (バイオマーカー) (S214)**
 座長 市山高志 (山口大学大学院小児科学)
 椎原 隆 (群馬県立小児医療センター神経内科)
- O-048 ウイルス関連脳症における髄液中サイトカインの検討**
 ○山中 岳, 石田 悠, 小穴信吾, 森嶋靖行, 五百井寛明, 菅波佑介, 牛尾方信, 河島尚志, 宮島 祐,
 星加明德
 東京医科大学小児科

- O-049 Mild encephalitis/encephalopathy with reversible splenic lesion (MERS) 患者における髄液中 biomarker の検討**
 ○宮田理英¹, 田沼直之², 今村卓司³, 柏井洋文⁴, 奥村彰久⁵, 高梨潤一⁶, 熊田聡子⁷, 林 雅晴²
 東京北社会保険病院小児科¹, 東京都神経科学総合研究所臨床病理², 宝生会 PL 病院小児科³, 国立成育医療センター神経内科⁴, 順天堂大学小児科⁵, 亀田メディカルセンター小児科⁶, 都立神経病院神経小児科⁷
- O-050 小児急性脳症における早期尿中 $\beta 2$ ミクログロブリン補正値は神経学的予後に関連する**
 ○鳥巢浩幸^{1,9}, 権藤健二郎^{2,9}, 林 北見^{3,9}, 平林伸一^{4,9}, 島川修一^{5,9}, 井上貴仁^{6,9}, 岩松浩子^{7,9}, 日高靖文^{8,9}, 安元佐和^{6,9}, 廣瀬伸一^{6,9}, 原 寿郎^{1,9}
 九州大学大学院成長発達医学¹, 福岡市立こども病院小児神経科², 東京女子医科大学八千代医療センター小児科³, 長野県立こども病院神経科⁴, 大阪医科大学小児科⁵, 福岡大学小児科⁶, 大分県立病院小児科⁷, 北九州市立医療センター小児科⁸, ウイルス関連脳症の早期診断に関する多施設共同研究グループ⁹
- O-051 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症 (AESD) における, 髄液グルタミン酸濃度の検討**
 ○後藤知英, 木村直子, 三山佐保子
 都立小児総合医療センター (都立清瀬小児病院) 神経内科
- O-052 血清サイトカインの推移を経時的に測定しえた hemorrhagic shock and encephalopathy の 1 例**
 ○山崎夏維¹, 岡崎 伸¹, 温井めぐみ¹, 井上岳司¹, 九鬼一郎¹, 川脇 壽¹, 天羽清子², 外川正生², 塩見正司³, 富和清隆⁴
 大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 同 小児救急科², 同 感染症センター³, 京都大学大学院遺伝カウンセラーコーディネーター⁴
- O-053 日本人急性脳症患者の遺伝的素因について—SNP による CPTII 遺伝子型解析—**
 ○齋藤真木子¹, 高梨潤一², 山内秀雄³, 久保田雅也⁴, 後藤知英⁵, 菊地正広⁶, 椎原 隆⁷, 山中 岳⁸, 水口 雅¹
 東京大学大学院発達医学¹, 亀田メディカルセンター小児科², 埼玉医科大学小児科³, 国立成育医療センター神経内科⁴, 都立小児総合医療センター (都立清瀬小児病院) 神経内科⁵, 日立総合病院小児科⁶, 群馬県立小児医療センター⁷, 東京医科大学小児科⁸
- O-054 地震後急性発症し, 精神病性障害と考えられた抗 NMDA 受容体抗体陽性脳症の 12 歳女児例**
 ○小泉ひろみ¹, 高橋幸利²
 市立秋田総合病院小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター臨床研究部小児科²

第 1 日目 F 会場

- 12:00~12:50 ランチョンセミナー 5: ジェンザイム・ジャパン株式会社 (S145)**
筋症状を示す小児糖原病: 診断と治療
 座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
 講演 楚中征哉 (国立精神・神経医療研究センター病院名誉院長)
- 13:00~13:50 遺伝 1 (S218)**
 座長 久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学)
 齊藤伸治 (北海道大学病院小児科)
- O-055 ダウン症候群責任領域のハプロ不全による臨床症状**
 ○山本俊至¹, 下島圭子¹, 伊藤昌弘², 今井克美³
 東京女子医科大学統合医科学研究所¹, 都立墨東病院小児科², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科³
- O-056 TULIP1 のハプロ不全は, 発達遅滞と難治性てんかんの原因となる**
 ○下島圭子¹, 遠山 潤², 大津真優³, 中川栄二⁴, 後藤雄一⁴, 大野耕策⁵, 小国弘量⁶, 大澤真木子⁶, 山本俊至¹
 東京女子医科大学統合医科学研究所¹, 国立病院機構西新潟中央病院小児科², 済生会横浜市南部病院小児科³, 国立精神・神経センター神経研究所疾研 2 部⁴, 鳥取大学脳神経小児科⁵, 東京女子医科大学小児科⁶
- O-057 微細染色体異常はブラダー・ウィリー症候群の重要な鑑別診断である**
 ○齊藤伸治, 高橋有美, 植田佑樹, 伊藤智城, 白石秀明
 北海道大学小児科

O-058 インプリンティングと細胞特異的クロマチン脱凝集

○木住野達也

長崎大学先端生命科学研究支援センターゲノム機能解析分野

O-059 MBTPS2 遺伝子変異を伴う IFAP 症候群の 1 例

○中山純子¹, 岩崎信明¹, 新 健治¹, 佐藤秀郎¹, 有波忠雄²

茨城県立医療大学小児科¹, 筑波大学大学院人間総合科学研究科²

13:50~14:50 遺伝 2 (S220)

座長 山本俊至 (東京女子医科大学統合医科学研究所)

西尾久英 (神戸大学大学院疫学分野)

O-060 NKX2.1 遺伝子に新規遺伝子変異を認めた brain-lung-thyroid syndrome の 2 症例について

○植松 貢¹, 萩野谷和裕², 菊池敦生¹, 廣瀬三恵子¹, 小林朋子¹, 福與なおみ¹, 柿坂庸介¹,

沼田有里佳¹, 土屋 滋¹

東北大学小児科¹, 宮城県拓桃医療療育センター小児神経科²

O-061 FOXP1 遺伝子変異によるレット症候群の 2 症例

○高橋 悟, 佐々木彰, 大日向純子, 荒木章子, 藤枝憲二

旭川医科大学小児科

O-062 脊髄性筋萎縮症 (I 型) 児者の上肢機能について一親へのアンケート調査より一

○境 信哉¹, 境 直子², 須藤 章³, 加藤光広⁴, 齊藤伸治⁵

北海道大学大学院保健科学研究院生活機能学¹, 札幌緑花会緑ヶ丘療育園², 市立札幌病院小児科³,

山形大学小児科⁴, 北海道大学小児科⁵

O-063 日本人脆弱 X 症候群の実態調査の重要性

○足立香織^{1,2}, 藤井裕士², 大野耕策², 難波栄二¹

鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野¹, 同 脳神経小児科²

O-064 先天性大脳白質形成不全症の診断と治療に向けた研究

○井上 健¹, 小坂 仁², 黒澤健司², 高梨潤一³, 山本俊至⁴, 岩城明子⁵

国立精神・神経センター神経研究所疾研 2 部¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科², 亀田メ

ディカルセンター小児科³, 東京女子医科大学統合医科学研究所⁴, 九州大学生体防御研究所⁵

O-065 転座型 13 トリソミー 46,XX,t (13;13) の遺伝相談

○木村暢佑, 宮嶋智子, 熊田知浩, 小田 望, 下村英毅, 斎藤景子, 藤井達哉

滋賀県立小児保健医療センター小児科

14:50~15:40 代謝変性疾患 1 (ライソゾーム・金属) (S223)

座長 井田博幸 (東京慈恵会医科大学小児科)

清水教一 (東邦大学医療センター大橋病院小児科)

O-066 GM1-ガングリオシドーシス脳神経細胞内のユビキチン化蛋白質の蓄積

○難波栄二, 檜垣克己

鳥取大学生命機能研究支援センター遺伝子探索分野

O-067 ムコ多糖症 II 型における造血幹細胞移植の中枢神経系への効果について (多施設共同研究)

○田中あけみ^{1,2}, 酒井規夫², 奥山虎之², 鈴木康之², 澤田 智², 大橋十也², 大浦敏博², 麦島秀雄²,

田中藤樹², 大友孝信²

大阪市立大学大学院発達小児医学¹, ムコ多糖症造血幹細胞移植研究グループ²

O-068 酵母で生産した新規酵素のファブリー病モデルマウス末梢神経および腎臓に対する効果の検討

○菅原佳奈子¹, 櫻庭 均^{1,2}

明治薬科大学臨床遺伝学¹, 同 分析化学²

O-069 全国調査からみた神経型・肝神経型 Wilson 病の臨床的特徴に関する検討

○清水教一, 井上美沙子, 小川絢子, 青木継稔

東邦大学医療センター大橋病院小児科

O-070 神経症状が重度であった, ウィルソン病 2 症例の画像所見と臨床経過の検討

○平井 香, 中村浩章, 小田優子, 水口浩一, 清水教一, 青木継稔, 関根孝司

東邦大学医療センター大橋病院小児科

- 15:40~16:20 代謝変性疾患 2 (ミトコンドリア・糖鎖) (S226)
 座長 山口清次 (島根大学小児科)
 後藤雄一 (国立精神・神経医療研究センター疾研 2 部)
- O-071 E1 α サブユニット遺伝子変異を有したピルビン酸脱水素酵素欠損症 32 家系の保因者診断
 ○内藤悦雄¹, 島川清司¹, 橋本俊顕¹, 小谷裕美子², 香美祥二²
 徳島赤十字ひのみね総合療育センター小児科¹, 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部小児医学²
- O-072 小児期発症の MELAS の 2 剖検所見
 ○門田行史, 森 雅人, 山形崇倫, 長嶋雅子, 福田冬季子, 杉江秀夫, 桃井真里子
 自治医科大学小児科
- O-073 グルコーストランスポーター 1 (GULT1) 異常症における PET, P-MRS, 酸化ストレスマーカー所見
 ○北村裕梨¹, 奥村彰久¹, 池野 充¹, 安部信平¹, 斉藤雅子¹, 夏目 淳², 田沼直之³, 林 雅晴³, 柳原恵子⁴, 三牧孝至⁵, 森 懇⁶
 順天堂大学小児科・思春期科¹, 名古屋大学大学院小児科学・成長発達医学², 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生³, 大阪府立母子保健総合医療センター研究所免疫部門⁴, 東京大学小児科⁵, 同 放射線科⁶
- O-074 肝障害と顔貌異常を契機に診断されたグリコシル化異常症 Ia 型の 1 例
 ○折居恒治^{1,3}, 岡本伸彦², 松尾直樹¹, 伊藤玲子¹, 今村 淳¹
 岐阜県総合医療センター小児科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科², 折居クリニック³

第 1 日目 ポスター会場

- 16:30~16:55 末梢神経 1, 脊髄 (S325)
 座長 前澤真理子 (鶴見大学短期大学部歯科衛生科)
 津留 陽 (国立病院機構長崎病院小児科)
- P-001 血友病 A を合併した脊髄性筋萎縮症 1 型の 1 男児例
 ○鈴木純子¹, 荒木 敦¹, 田中智子¹, 金子一成¹, 山内康雄²
 関西医科大学小児科¹, 同 脳神経外科²
- P-002 脊髄性筋萎縮症 0 型の 1 例
 ○岡本健太郎¹, 斎藤加代子², 佐藤孝俊¹, 石垣景子¹, 舟塚 真¹
 東京女子医科大学小児科¹, 同 附属遺伝子医療センター²
- P-003 乳児期に運動発達遅滞, 尖足を認め遺伝性運動感覚性ニューロパチーとの鑑別に苦慮した慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチーの 1 例
 ○大見 剛¹, 玉城邦人¹, 相崎貢一², 小牧宏文², 須貝研司², 佐々木征行², 齋藤祐子³
 琉球大学小児科¹, 国立精神・神経センター病院小児神経科², 同 臨床検査部³
- P-004 小児期に発症した pharyngeal-cervical-brachial (PCB) の 2 例の臨床症状について
 ○板橋 尚, 井上 建, 大谷良子, 村上信行, 作田亮一, 永井敏郎
 獨協医科大学越谷病院小児科
- P-005 小児の末梢神経生検施行例の臨床的検討
 ○竹下絵里¹, 小牧宏文¹, 相崎貢一¹, 片山綾子¹, 齋藤貴志¹, 清水裕子¹, 水野朋子¹, 佐久間啓¹, 斎藤義朗¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 大矢 寧², 齋藤祐子³
 国立精神・神経センター病院小児神経科¹, 同 神経内科², 同 臨床検査部³
- 16:55~17:45 筋疾患 1 (S327)
 座長 石川幸辰 (国立病院機構八雲病院)
 木村重美 (熊本大学生命科学研究部小児発達学)
- P-006 小児皮膚筋炎の病理学的検討
 ○圓谷理恵^{1,2}, 林由起子¹, 埜中征哉¹, 西野一三¹
 国立精神・神経センター神経研究所疾研 1 部¹, 東北大学大学院発生発達医学講座小児病態学²
- P-007 筋ジストロフィー病棟入院患者データベース
 ○齊藤利雄, 神野 進
 国立病院機構刀根山病院神経内科

- P-008 Duchenne 型筋ジストロフィーにおける尿路結石とその risk factor**
 ○苛原 香, 小牧宏文, 佐久間啓, 斎藤義朗, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
 国立精神・神経センター病院小児神経科
- P-009 LMNA 遺伝子変異は先天性筋ジストロフィーの主要な病因である**
 ○小牧宏文¹, 林由起子², 圓谷理恵², 服部文子¹, 永井敏郎³, 今高城治⁴, 鈴木周平⁵, 樋口嘉久⁶, 川谷正男⁷, 斎藤加代子⁸, 竹島泰弘⁹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 埜中征哉^{1,2}, 西野一三²
 国立精神・神経センター病院小児神経科¹, 同 神経研究所疾研 1 部², 獨協医科大学越谷病院小児科³, 獨協医科大学小児科⁴, 大阪医科大学小児科⁵, 近畿大学奈良病院小児科⁶, 福井大学小児科⁷, 東京女子医科大学附属遺伝子医療センター⁸, 神戸大学小児科⁹
- P-010 福山型先天性筋ジストロフィーにおける摂食嚥下障害への合理的な対応法の検討**
 ○児玉真理子¹, 村山恵子², 高橋長久¹, 長瀬美香¹, 中谷勝利¹, 米山 明¹, 榎本省子¹, 北住映二¹
 心身障害児総合医療療育センター¹, げんきこどもクリニック²
- P-011 福山型先天性筋ジストロフィー (軽症型) に対するステロイド治療の試み**
 ○宮本晶恵, 福田郁江, 田中 肇, 岡 隆治, 長 和彦
 北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター小児科
- P-012 24 時間ポリグラフにて睡眠覚醒リズムを観察し得た locked-in state とみなされる 2 例**
 ○安田真里¹, 加藤大典¹, 小山典久¹, 小池茂文², 横地健治¹
 豊橋市民病院小児科¹, 豊橋メイツ睡眠障害治療クリニック²
- P-013 γ-グロブリン大量およびステロイドパルス療法にて寛解した抗 MuSK 抗体陽性重症筋無力症の 1 女児例**
 ○杉山未奈子¹, 仲西正憲^{1,2}, 永島哲郎¹, 高橋有美², 斉藤伸治², 今井富裕³
 釧路赤十字病院小児科¹, 北海道大学病院小児科², 札幌医科大学神経内科³
- P-014 免疫吸着療法と免疫グロブリン療法の併用療法が奏功した難治性重症筋無力症の 1 例**
 ○藤井裕士, 杉浦千登勢, 前垣義弘, 大野耕策
 鳥取大学脳神経小児科
- P-015 難治性の眼症状に対しタクロリムスが有効であった潜在性全身型重症筋無力症の幼児 2 例**
 ○吉川陽子, 石垣景子, 宍倉啓子, 平澤恭子, 佐藤孝俊, 鈴木暘子, 平山義人, 大澤真木子
 東京女子医科大学小児科
- 16:30~17:15 脳性麻痺・療育 1 (合併症・リハビリ) (S332)**
 座長 落合幸勝 (都立北療育医療センター)
 栗原まな (神奈川県総合リハビリテーションセンター)
- P-016 演題取り下げ**
- P-017 バルプロ酸による Fanconi 症候群を合併し, 薬剤中止後にカルニチン補充療法を必要とした DRPLA の 1 例**
 ○友納優子, 井原由紀子, 井手口博, 井上貴仁, 安元佐和, 廣瀬伸一
 福岡大学小児科
- P-018 経管栄養をおこなっている重症心身障害児 (者) における血清カルニチンの評価**
 ○大瀧 潮, 小沢 浩, 石塚丈広, 上石晶子, 佐々木匡子, 中島末美, 片山綾子, 有本 潔,
 木実谷哲史
 島田療育センター小児科
- P-019 重症心身障害児 (者) にみられる白内障の特徴**
 ○中村幸介^{1,2}, 畑 園子¹, 加賀佳美^{1,2}, 神谷裕子¹, 金村英秋², 杉田完爾², 相原正男³
 国立病院機構甲府病院小児科¹, 山梨大学小児科², 同 大学院医学工学総合研究部³
- P-020 高度側彎を伴った重症心身障害児 (者) の致死的食道出血の要因—死亡例 2 例からの考察—**
 ○武市知己¹, 白井大介², 福井真澄³, 小倉英郎¹
 国立病院機構高知病院小児科¹, 高知県立幡多けんみん病院小児科², 細木病院小児科³
- P-021 急性脳炎・脳症後の高次脳機能障害に対するリハビリテーションアプローチ**
 ○大越優美, 野口ひとみ, 滝ゆうこ, 井手秀平, 大澤由記子, 本澤志方, 横山美奈, 益山龍雄,
 岩崎裕治, 有馬正高
 都立東部療育センター小児科
- P-022 一般病院における外来小児リハビリテーション 6 年間のまとめと課題**
 ○森田昌男
 船橋二和病院小児科

P-023 当施設入所者の医療度評価表を用いた医療度の経時的な推移

○永江彰子, 阿部純子, 藤田泰之, 口分田政夫
びわこ学園医療福祉センター草津小児科

P-024 国立成育医療センターにおける Children and Youth with Special Health Care Needs 診療の実践—療育回診の取り組み—

○余谷暢之¹, 星野英紀², 久保田雅也², 小穴慎二¹, 横谷 進³, 阪井裕一¹
国立成育医療センター総合診療部¹, 同 神経科², 同 第一専門診療部³

17:15~17:55 脳性麻痺・療育 2 (在宅・呼吸管理) (S337)

座長 北住映二 (心身障害児総合医療療育センター)
田角 勝 (昭和大学小児科)

P-025 当院 NICU を退院し在宅医療を行っている児の検討

○光藤伸人, 木原美奈子
京都第一赤十字病院新生児科

P-026 当院における在宅療養支援の取り組み—在宅用医療的ケアマニュアルの作成—

○渡辺美緒, 椎原 隆
群馬県立小児医療センター神経内科

P-027 重症心身障害児における呼吸障害の指標について

○小泉慎也¹, 羽鳥誉之¹, 藤野 修¹, 川上康彦², 藤松真理子³, 藤田武久³, 高木篤史⁴, 桑原健太郎⁴, 高石康子⁴
日本医科大学千葉北総病院小児科¹, 同 多摩永山病院小児科², 同 武蔵小杉病院小児科³, 同 附属病院小児科⁴

P-028 脳性麻痺に伴う低換気に対する NPPV の効果

○村上貴孝
中野こども病院小児科

P-029 重症心身障害児 (者) の呼吸障害に対する NPPV 導入症例の検討

○松井秀司, 武井理子, 松田光展, 荒川とよ子, 武智信幸, 和田恵子, 赤星恵子, 椎木俊秀, 舟橋満寿子, 鈴木康之
東京小児療育病院小児科

P-030 重症心身障害者に対するインエクスサフレーターの長期有用性と問題点

○村上知恵¹, 鈴木聖子¹, 河野義恭¹, 糸数直哉²
北九州市立総合療育センター小児科¹, どんぐりこども診療所²

P-031 気管切開を受けた重症心身障害児・者の生命予後 (第 1 報)—年代による比較—

○丸山幸一¹, 倉橋宏和¹, 鈴木基正¹, 三浦清邦², 熊谷俊幸³, 松本昭子³, 早川知恵美³, 宮崎修次¹
愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 豊田市こども発達センターのぞみ診療所小児神経科², 愛知県心身障害者コロニーこぼと学園³

P-032 気管切開を受けた重症心身障害児・者の生命予後 (第 2 報)—気切施行年齢による比較—

○倉橋宏和¹, 鈴木基正¹, 丸山幸一¹, 三浦清邦², 熊谷俊幸³, 松本昭子³, 早川知恵美³, 宮崎修次¹
愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 豊田市こども発達センターのぞみ診療所小児神経科², 愛知県心身障害者コロニーこぼと学園³

16:30~17:05 画像 1 (S341)

座長 川上康彦 (日本医科大学多摩永山病院小児科)
松尾宗明 (佐賀大学小児科)

P-033 経時的な画像により観察できた Sturge-Weber 症候群の 1 例

○中村綾子, 長谷川真紀, 今井由生, 橋本光司, 藤田之彦, 淵上達夫, 稲毛康司, 麦島秀雄
日本大学小児科

P-034 4 か月時に動眼神経麻痺で発症した海綿静脈洞症候群の 1 女児例

○長澤耕男¹, 藤井克則¹, 田辺 良¹, 塩浜 直¹, 須山麻衣子¹, 渡辺智之², 河野陽一¹
千葉大学大学院小児病態学¹, 成田赤十字病院小児科²

P-035 急速な退行を示した vanishing white matter disease の 1 例

○加藤大典
豊橋市民病院小児科

- P-036** OTC 欠損症による新生児高アンモニア血症に認めた頭頂後頭部の脳軟化症
 ○岡西 徹^{1,2}, 伊藤哲哉¹, 中島葉子¹, 小林 悟¹, 安藤直樹¹, 戸蒔 創¹
 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学¹, 聖隷浜松病院小児科²
- P-037** のう胞性病変を呈している, 乳児期発症 GM2 ガングリオシドーシスの 1 例の画像変化
 ○糸見和也, 澤井康子
 あいち小児保健医療総合センター神経科
- P-038** 半球間嚢胞を伴う脳梁欠損の臨床像
 ○前田知己, 清水未希, 岡成和夫, 泉 達郎
 大分大学小児科・小児神経科
- P-039** MRSpectroscopy (MRS) で解析した症候性 West 症候群の 2 症例
 ○岩井明日香¹, 三浦良介¹, 寺澤厚志¹, 松波邦洋¹, 伊藤玲子¹, 高橋幸利², 木全かおり³, 折居恒治⁴, 今村 淳¹
 岐阜県総合医療センター小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科², 岐阜大学大学院小児病態学³, 折居クリニック⁴

17:05~17:35 画像 2 (S344)

座長 小川 厚 (福岡大学筑紫病院小児科)
 服部英司 (西宮すなご医療福祉センター)

- P-040** 片麻痺の小児 4 症例における tractography の検討
 ○鈴木基正¹, 倉橋宏和¹, 丸山幸一¹, 中村みほ², 松本昭子³, 熊谷俊幸³
 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科¹, 同 発達障害研究所², 同 こばと学園³
- P-041** 大脳皮質形成異常および小頭症を合併する脳形成異常の臨床的検討
 ○成田 綾, 坪内祥子, 平山良道, 百崎 謙, 近藤章子, 戸川雅美, 藤井裕士, 杉浦千登勢, 前垣義弘, 大野耕策
 鳥取大学附属病院脳神経小児科
- P-042** 脳神経形成異常を伴う先天奇形症候群に対する 3D-CISS (constructive interference in steady state) 法の有用性
 ○本多正和, 植田 穰, 酒井哲郎, 山内秀雄
 埼玉医科大学病院小児科
- P-043** MRI 標準脳の日本人小児版作成に関する研究
 ○内山仁志^{1,2,3}, 関あゆみ^{1,2,3}, 竹内亜理子³, 小枝達也^{1,2,3}
 鳥取大学地域学部¹, 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部², JST 社会技術研究開発センター³
- P-044** 難治頻回部分発作型急性脳炎の拡散テンソル評価
 ○池野 充, 奥村彰久, 中原絵里, 北村裕梨, 安部信平, 斉藤雅子, 中澤友幸, 清水俊明
 順天堂大学小児科・思春期科
- P-045** 結節性硬化症における嚢胞様結節病変 (cyst-like tubers) — その臨床的意義と長期経過 —
 ○水落弘美¹, 藤井克則¹, 塩浜 直¹, 須山麻衣子¹, 吉橋 学¹, 杉田克生¹, 田島和幸², 河野陽一¹
 千葉大学大学院小児病態学¹, 君津中央病院小児科²

17:35~18:10 形態・病理 1 (S347)

座長 高野知行 (滋賀医科大学小児科)
 斎藤義朗 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

- P-046** Rhombencephalosynapsis および中脳の過誤腫様異形成を伴った無前脳症の新生児例
 ○高野知行¹, 木下典子², 成宮正朗², 松分久美子¹, 吉岡誠一郎¹, 竹内義博¹
 滋賀医科大学小児科¹, 長浜赤十字病院小児科²
- P-047** Peliosis hepatis による肝破裂で死亡した X-linked ミオチューブラーミオパチーの男児
 ○矢野珠巨^{1,2}, 豊野美幸¹, 渡部泰弘¹, 沢石由記夫²
 秋田大学大学院小児科学¹, 秋田県小児療育センター²
- P-048** ダウン症モデルマウス脳における成熟オリゴデンドロサイトの減少
 ○高木栄一, 山川和弘
 理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム
- P-049** GM1 ガングリオシドーシスにおける白質形成異常のメカニズム
 ○毛利育子, 谷池雅子
 大阪大学連合小児発達学研究所小児発達学専攻

P-050 実験的絨毛羊膜炎による脳室周囲白質のグリオーシス病変

○島崎真希子, 中村由紀子, 三輪真美, 岡 明
杏林大学小児科

P-051 mbp 欠失マウスの発達脳における髄鞘関連蛋白発現の推移

○田中竜太¹, 大戸達之¹, 岩崎信明²
筑波大学小児科¹, 茨城県立医療大学小児科²

P-052 縁取り空胞を伴う遠位型ミオパチーモデルマウスの超微細構造解析

○徳富智明^{1,2}, 埜中征哉¹, 林由起子¹, 西野一三¹
国立精神・神経センター神経研究所疾研 1 部¹, 防衛医科大学校臨床検査医学²

16:30~17:15 代謝変性疾患 3 (有機酸・ミトコンドリア) (S351)

座長 下澤伸行 (岐阜大学生命科学総合研究支援センターゲノム研究分野)

田中あけみ (大阪市立大学大学院発達小児医学)

P-053 急性脳症を発症したグルタル酸尿症 1 型ヘテロ保因者の 1 乳児例

○大山宜孝, 増田由香, 亀田聡子, 市川和志, 武下草生子
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター

P-054 イソ吉草酸血症における MRI と脳波の経時的変化

○中原絵理, 奥村彰久, 斎藤雅子, 安部信平, 池野 充, 北村裕梨, 清水俊明
順天堂大学小児科

P-055 3-ヒドロキシイソ酪酸尿症 4 症例の臨床像

○本田涼子¹, 斎藤義朗¹, 山口清次², 桃井真里子³, 佐久間啓¹, 小牧宏文¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹

国立精神・神経センター病院小児神経科¹, 島根大学小児科², 自治医科大学小児科³

P-056 有機酸代謝異常症におけるてんかんの発症とその予後

○藤田貴子^{1,2}, 井原由紀子¹, 友納優子¹, 二之宮信也^{1,2}, 児玉由梨絵¹, 井手口博¹, 井上貴仁¹, 安元佐和¹, 廣瀬伸一¹

福岡大学小児科¹, 中津市立中津市民病院小児科²

P-057 Cytochrome C oxidase 欠損を伴う Leigh 脳症の兄弟例

○宮本雄策^{1,2}, 栗原八千代^{1,2}, 橋本修二^{1,2}, 山本寿子¹, 福田美穂¹, 新井奈津子¹, 神山紀子¹, 村上浩史¹, 瀧 正志^{1,2}, 小牧宏文³, 後藤雄一⁴, 山本 仁¹

聖マリアンナ医科大学小児科¹, 同 横浜市西部病院小児科², 国立精神・神経センター病院小児神経科³, 同 神経研究所疾研 2 部⁴

P-058 ミトコンドリア DNA の ATP6 遺伝子に T9185C 点変異を認めた Leigh-like disease

○井上 建¹, 竹下絵里², 板橋 尚^{1,3}, 大谷良子^{1,3}, 村上信行^{1,3}, 作田亮一^{1,3}, 永井敏郎¹, 後藤雄一⁴

獨協医科大学越谷病院小児科¹, 国立精神・神経センター病院小児神経科², 獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター³, 国立精神・神経センター神経研究所疾研 2 部⁴

P-059 基底核病変を認めた良性乳児型チトクローム C 酸化酵素欠損症と思われる姉弟例

○新井ひでえ¹, 田邊雄三^{1,2}, 小俣 卓¹, 後藤雄一³, 三牧正和³

千葉県こども病院神経科¹, そがこどもクリニック², 国立精神・神経センター神経研究所疾研 2 部³

P-060 進行性ミオクローヌステんかん (PME) の経過を示し A3243G 変異を認めた MERRF/MELAS overlap 症候群と考えられる 18 歳女性例

○遠藤雄策^{1,2}, 平野浩一¹, 宮本 健³, 鈴木輝彦¹, 大関武彦¹

浜松医科大学小児科¹, 浜松市発達医療総合福祉センター小児神経科², 共立湖西総合病院小児科³

P-061 14459 変異を有するミトコンドリア病に対するコハク酸ナトリウムの使用経験

○増田由香, 大山宜孝, 亀田聡子, 市川和志, 武下草生子
横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター

17:15~18:00 代謝変性疾患 4 (ライソゾーム・その他) (S355)

座長 難波栄二 (鳥取大学生命機能研究支援センター)

藤井克則 (千葉大学大学院小児病態学)

P-062 頸髄圧迫による水頭症をきたした急速進行型ムコ多糖症 VI 型の男児例

○河田紗耶架, 北 誠, 粟屋智就, 柴田 実, 加藤竹雄
京都大学発達小児科

- P-063 酵素補充療法により主に呼吸症状が軽快した Hunter 症候群の 1 例**
 ○永井盛博¹, 藤原由美¹, 桐野友子¹, 福田邦明², 遠藤彰一², 伊藤道徳¹
 国立病院機構香川小児病院小児科¹, 同 神経内科²
- P-064 酵素補充療法を行った Gaucher 病 2 型の 1 剖検例**
 ○樋口嘉久¹, 嶋尾綾子¹, 藤島正浩²
 近畿大学奈良病院小児科¹, 同 臨床検査部²
- P-065 小児期に診断した Fabry 病の臨床像について—自験例 4 例の検討—**
 ○磯部菜摘^{1,2}, 實藤雅文¹, 石崎義人¹, 吉良龍太郎¹, 鳥巢浩幸¹, 原 寿郎¹
 九州大学大学院成長発達医学¹, 国家公務員共済組合連合会浜の町病院小児科²
- P-066 ニーマンピック病 C 型女児に対するシクロデキストリン療法の臨床効果**
 ○平原恵子¹, 松尾宗明¹, 大野耕策²
 佐賀大学小児科¹, 鳥取大学脳神経小児科²
- P-067 急激な意識障害で発症した MCAD (medium chain acyl-CoA dehydrogenase deficiency) 欠損症の 2 例**
 ○羽生政子¹, 道下崇史¹, 玉木久光¹, 伊藤昌弘¹, 荒川千賀子², 小平隆太郎², 湖上達夫³, 藤田之彦²
 都立墨東病院小児科¹, 日本大学附属板橋病院小児科², 同 附属練馬光が丘病院小児科³
- P-068 頻回嘔吐をきっかけに診断したウェルニッケ脳症の 1 例**
 ○来住 修, 太田正康
 総合病院取手協同病院小児科
- P-069 瀬川病の 1 家系**
 ○大屋一博¹, 石川亜貴¹, 二階堂弘輝¹, 今井富裕², 館 延忠³, 新宅治夫⁴
 札幌医科大学小児科¹, 同 神経内科², 同 保健医療学部³, 大阪市立大学大学院発達小児科学⁴
- P-070 コハク酸セミアルデヒド脱水素酵素欠損症の 1 例**
 ○巨田元礼¹, 竹内元浩¹, 川谷正男², 重松陽介³
 国立病院機構福井病院小児科¹, 福井大学小児科², 同 看護学科健康科学³

16:30~17:00 発達障害 4 (多動性障害) (S360)

座長 相原正男 (山梨大学健康・生活支援看護学講座)
 大谷宣伸 (熊本市子ども発達支援センター)

- P-071 パセドウ病治療後も多動・不注意症状が残存し、治療に苦慮した注意欠陥多動性障害 (ADHD) の 1 例**
 ○久保田由紀¹, 廣瀬三恵子¹, 奈良千恵子¹, 植松 貢¹, 横山浩之², 土屋 滋¹
 東北大学病院小児科¹, 山形大学看護学科²
- P-072 被虐待児症候群における多動性障害について**
 ○野口ひとみ, 井手秀平, 荒井康裕, 大越優美, 大澤由記子, 益山龍雄, 岩崎裕治, 有馬正高
 都立東部療育センター小児科
- P-073 当センターにおける注意欠陥/多動性障害に対する薬物療法のまとめ**
 ○清水 純, 小黒範子
 とちぎりハビリテーションセンター小児科
- P-074 Methylphenidate を併用した ADHD の治療目標を考える**
 ○荒木章子, 佐々木彰, 大日向純子, 高橋 悟, 藤枝憲二
 旭川医科大学小児科
- P-075 ADHD 児への STP (サマー・トリートメントプログラム) の効果**
 ○江上千代美¹, 山下裕史朗², 中島範子³, 澁谷郁彦², 原 宗嗣², 大矢崇志², 中島正幸², 河野敬子²,
 永光信一郎², 松石豊次郎²
 福岡県立大学看護学部¹, 久留米大学小児科², 佐賀大学文化教育学部³
- P-076 「大人ごっこ」による行動改善について**
 ○小沢 浩
 島田療育センター小児科

17:00~17:30 発達障害 5 (身体症状・睡眠・健診) (S363)

座長 下泉秀夫 (国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園)
 呉 東進 (同志社大学大学院心理学研究科赤ちゃん学研究センター)

- P-077 身体症状を契機に診断に至った発達障害の検討**
 ○三輪真美, 中村由紀子, 島崎真希子, 岡 明
 杏林大学附属病院小児科

- P-078 児童精神科初診患者の発達障害における睡眠調査
○岩垂喜貴
国立国際医療センター国府台病院児童精神科
- P-079 当センターにおける発達障害に対するメラトニン療法の効果について
○益山龍雄, 井手秀平, 野口ひとみ, 滝ゆうこ, 本澤志方, 横山美奈, 大越優美, 荒井康裕,
大澤由紀子, 福水道郎, 岩崎裕治, 有馬正高
都立東部療育センター小児科
- P-080 栃木県大田原市で行っている訪問型 5 歳児健診
○桑島真理, 滝口慎一郎, 下泉秀夫
国際医療福祉リハビリテーションセンターなす療育園
- P-081 久留米市発達障害早期総合支援モデル事業における 5 歳児健診の報告
○中島正幸^{1,2}, 山下裕史朗², 家村明子², 河野敬子², 松石豊次郎²
聖マリア病院母子総合医療センター新生児科¹, 久留米大学小児科²
- P-082 通級指導教室での医師・教師・臨床心理士チームによる発達相談教室の実践と意義
○家村明子, 河野敬子, 山下裕史朗, 松石豊次郎
久留米大学小児科

17:30~18:10 発達障害 6 (広汎性発達障害・その他) (S366)

- 座長 林 隆 (山口県立大学看護栄養学部看護学科)
荻野竜也 (中国学園大学子ども学部子ども学科)
- P-083 小学校就学後に初めて高機能広汎性発達障害と診断された患児の臨床的検討
○大谷良子^{1,2}, 井上 建^{1,2}, 小池牧子^{1,2}, 板橋 尚^{1,2}, 島村圭一^{1,2}, 村上信行^{1,2}, 作田亮一²
獨協医科大学越谷病院小児科¹, 同 子どものこころ診療センター²
- P-084 発達障害児にみられる学習障害の特徴—臨床症状と音読課題の検討—
○小林朋佳^{1,2}, 稲垣真澄¹, 井上祐紀¹, 崎原ことえ¹, 後藤隆章¹, 矢田部清美¹, 小沢 浩³,
木実谷哲史³, 加我牧子¹
国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部¹, 社会保険中央総合病院小児科², 島田療育セ
ンター小児科³
- P-085 高機能広汎性発達障害に強迫性障害を併発した 3 例へのチームアプローチ
○小谷裕実
花園大学社会福祉学部臨床心理学科
- P-086 小児期広汎性発達障害に対するアリピプラゾールの使用経験
○森田孝次, 井川三緒, 三川武志, 田角 勝, 板橋家頭夫
昭和大学小児科
- P-087 広汎性発達障害が背景に考えられた摂食障害の 11 歳女児例
○山内裕子^{1,2}, 直井高歩¹, 前田洋佐¹, 舟橋敬一¹, 宮尾益知¹, 奥山真紀子^{1,2}, 宮田世羽³, 井田博幸²
国立成育医療センターこころの診療部¹, 東京慈恵会医科大学小児科², 国立成育医療センター総合
診療部³
- P-088 広汎性発達障害の発達特性がある児童の頭囲・身体発育に関する検討
○伊藤淳一
北海道社会福祉事業団太陽の園発達援助センター
- P-089 MCT8 異常症の 1 男児例
○中津久美, 大橋玉基
兵庫県立淡路病院小児科
- P-090 発達障害関連ヒト X 連鎖刷り込み遺伝子の同定
○新井田要¹, 三谷祐介², 黒田文人²
金沢大学子どものこころの発達研究センター¹, 同 小児科²

16:30~17:10 てんかん・けいれん 4 (West 症候群) (S370)

- 座長 吉永治美 (岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科))
田辺卓也 (市立枚方市民病院小児科)

- P-091 West 症候群における ACTH 療法反復施行の検討 (第 2 報) — 発病年齢, 治療開始時期, ACTH 投与年齢と有効性 —**
 ○池上真理子^{1,2}, 高橋幸利¹, 向田壮一¹, 高山留美子¹, 最上友紀子¹, 池田浩子¹, 今井克美¹, 大谷英之¹, 大谷早苗¹, 久保田裕子¹, 重松秀夫¹, 井上有史¹
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科¹, 東海大学附属病院専門診療系小児科²
- P-092 West 症候群に対し ACTH 療法を行うも無効もしくは再発した後, 発作抑制に至った 7 例の臨床的検討**
 ○大橋 伯, 小林 悠, 赤坂紀幸, 遠山 潤
 国立病院機構西新潟中央病院小児科
- P-093 ACTH 療法中に白内障が急速に顕在化した West 症候群の 1 例**
 ○米衛ちひろ, 丸山慎介, 豊島光雄
 鹿児島大学小児科
- P-094 ACTH 療法にて著明な改善を得た epileptic spasms をもつ自閉性障害の 1 男児例**
 ○田辺卓也¹, 島川修一², 柏木 充¹, 中島三和¹, 福井美保², 東川幸嗣³, 若宮英司⁴, 玉井 浩²
 市立枚方市民病院小児科¹, 大阪医科大学小児科², 清恵会病院小児科³, 藍野大学医療保健学部看護学科⁴
- P-095 West 症候群を合併した Klinefelter 症候群の 1 例**
 ○井上裕文, 松重武志, 市山高志
 山口大学大学院小児科学
- P-096 水痘罹患を契機に発作型の変容を示した West 症候群後の難治てんかんの 1 例**
 ○岡野彩子¹, 森山剣光¹, 宮田理英¹, 田沼直之², 林 雅晴², 神山 潤³
 東京北社会保険病院小児科¹, 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生², 東京ベイ・浦安市川医療センター³
- P-097 小慢意見書からみた West 症候群 3100 例の疾患プロフィール**
 ○飯沼一字
 石巻赤十字病院
- P-098 点頭てんかんを合併した小児交代性片麻痺患児の治療経験**
 ○親里嘉展, 西山敦史, 足立昌夫, 村瀬真紀, 石田明人
 加古川市民病院小児科

17:10~17:55 てんかん・けいれん 5 (S374)

座長 栗屋 豊 (聖母会聖母病院小児科)
 館野昭彦 (東邦大学医療センター佐倉病院小児科)

- P-099 小児交互性片麻痺 (alternating hemiplegia of childhood) におけるてんかんの特徴**
 ○斎藤義朗, 乾 健彦, 榊原崇文, 須貝研司, 佐久間啓, 小牧宏文, 中川栄二, 佐々木征行
 国立精神・神経センター病院小児神経科
- P-100 早期乳児期発症てんかん児に認めた片側光過敏性についての検討**
 ○星野英紀, 奥村さやか, 柏井洋文, 古山晶子, 久保田雅也
 国立成育医療センター神経内科
- P-101 小児てんかんにおける発作間欠期脳波の双極子解析 (第 3 報)**
 ○遠藤あゆみ, 淵上達夫, 今井由生, 石井和嘉子, 荒川千賀子, 小平隆太郎, 藤田之彦, 麦島秀雄
 日本大学小児科
- P-102 片側巨脳症の術前, 術後における NIRS を用いた脳血流パターンの評価**
 ○相崎貢一¹, 中川栄二¹, 竹下絵里¹, 石山昭彦¹, 鋤柄小百合¹, 佐久間啓¹, 小牧宏文¹, 斎藤義朗¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 大槻泰介², 小林 巖³
 国立精神・神経センター病院小児神経科¹, 同 脳神経外科², 東京学芸大学教育実践研究支援センター³
- P-103 徐波睡眠時に持続性棘徐波を示すてんかんにおける認知機能の検討**
 ○小林 悠, 大橋 伯, 赤坂紀幸, 遠山 潤
 国立病院機構西新潟中央病院小児科
- P-104 徐波睡眠時に持続性棘徐波を示すてんかん (CSWS) と考えられる重症心身障害児 (者) の 1 例**
 ○嶺間博隆¹, 大城 聡²
 社会医療法人敬愛会中頭病院小児科¹, 重症心身障害児施設若夏愛育園²
- P-105 カルバマゼピン内服により非けいれん性てんかん重積を起こした小児欠神てんかんの 1 例**
 ○近藤章子¹, 杉浦千登勢¹, 横山淳史², 前垣義弘¹, 大野耕策¹
 鳥取大学脳神経小児科¹, 鳥根県立中央病院小児科²

P-106 ミオクロニー欠神てんかんが疑われる姉弟例

○短田浩一, 杉本洋平
国立病院機構舞鶴医療センター小児科

P-107 Panayiotopoulos 症候群様の臨床症状と脳波の特徴を有した症候性部分てんかんの 1 例

○宮本良平¹, 島川修一², 田辺卓也³, 福井美保², 玉井 浩²
済生会吹田病院小児科¹, 大阪医科大学小児科², 市立枚方市民病院小児科³

16:30~17:05 急性脳炎・脳症 4 (臨床・画像) (S378)

座長 沖 潤一 (旭川厚生病院小児科)
吉良龍太郎 (九州大学病院小児科)

P-108 最近 10 年間に経験した急性脳症の検討

○高柳 勝¹, 北村太郎¹, 山本克哉², 大浦敏博¹
仙台市立病院小児科¹, 南光台やまもと小児科²

P-109 繰り返す脳症と繰り返さない脳症に違いはあるのか

○佐藤育子^{1,2}, 萩野谷和裕¹, 田中総一郎¹, 涌澤圭介^{1,2}, 大沼 晃¹
宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, 東北大学小児科²

P-110 両側内側側頭部病変を伴った急性壊死性脳症の年長児例

○平岩朋子¹, 辻 健史², 近藤容子³, 夏目 淳⁴, 渡邊一功⁵
社会保険中京病院小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 名古屋第一赤十字病院小児科³, 名古屋大学小児科⁴, 愛知淑徳大学医療福祉学部⁵

P-111 脳炎後のてんかん発作の回復期に髄液酸化ストレスマーカーの上昇を認めた 1 例

○森山剣光¹, 岡野彩子¹, 宮田理英¹, 田沼直之², 林 雅晴², 神山 潤³
東京北社会保険病院小児科¹, 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生², 東京ベイ・浦安市川医療センター³

P-112 ロタウイルス腸炎に合併した可逆性脳梁膨大部病変を呈する脳炎・脳症の 1 例

○生越剛司
徳島赤十字病院小児科

P-113 可逆性脳梁病変を呈する臨床的軽症脳症 (MERS) の 3 例

○細川卓利¹, 満田直美¹, 高杉尚志¹, 堂野純孝¹, 前田明彦¹, 藤枝幹也¹, 白井大介², 寺内芳彦², 原 拓磨³, 浜田文彦⁴
高知大学小児思春期医学¹, 高知県立幡多けんみん病院小児科², 横浜市立大学小児科³, はまだ小児科⁴

P-114 MRI で可逆性脳梁膨大部病変を呈した母子例—遺伝的素因が存在する?—

○吉良龍太郎^{1,2}, 鳥巢浩幸¹, 實藤雅文¹, 石崎義人¹, 原 寿郎¹
九州大学大学院成長発達医学¹, 国立病院機構福岡東医療センター小児科²

17:05~17:35 急性脳炎・脳症 5 (新型インフルエンザ脳炎・脳症 1) (S382)

座長 村上貴孝 (中野こども病院)
伊予田邦昭 (広島市立広島市民病院)

P-115 新型インフルエンザに伴う神経症状を呈した入院症例 37 例の検討

○木水友一, 松岡太郎, 土屋浩史
市立豊中病院小児科

P-116 当院で経験した新型インフルエンザ脳症の臨床像

○森山伸子, 小宅奈津子, 吉田尊雅
日立製作所水戸総合病院小児科

P-117 新型インフルエンザ脳症疑いで入院した症例の臨床経過と最終診断

○井手口博, 井原由紀子, 友納優子, 井上貴仁, 安元佐和, 廣瀬伸一
福岡大学小児科

P-118 新型インフルエンザ感染に伴う意識障害で認められる非けいれん性発作の割合

○藤田杏子¹, 中川 拓², 佐治洋介², 丸山あずさ¹, 永瀬裕朗¹
兵庫県立こども病院脳神経内科¹, 同 救急集中治療科²

P-119 2009 年秋に流行したインフルエンザ感染症罹患児における IL-6 値の検討
 ○福井美保¹, 島川修一¹, 宮本良平², 野村昇平¹, 柏木 充³, 吉川聡介⁴, 田辺卓也³, 東川幸嗣⁵, 玉井 浩¹
 大阪医科大学小児科¹, 済生会吹田病院小児科², 市立枚方市民病院小児科³, 大阪労災病院小児科⁴, 清恵会病院小児科⁵

P-120 新型インフルエンザによる二相性けいれんと遅発性拡散能低下を呈する急性脳症の 1 例
 ○山下進太郎¹, 奥村彰久², 新島新一¹, 荒川千賀子³
 順天堂大学附属練馬病院小児科¹, 同 附属順天堂医院小児科², 日本大学附属板橋病院小児科³

17:35~18:10 急性脳炎・脳症 6 (新型インフルエンザ脳炎・脳症 2) (S385)
 座長 吉川秀人 (長岡療育園小児神経科)
 大府正治 (沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科)

P-121 一過性 TSH 低下を来した新型インフルエンザ脳症の 1 例
 ○親里嘉展, 西山敦史, 足立昌夫, 村瀬真紀, 石田明人
 加古川市民病院小児科

P-122 H1N1 インフルエンザ脳症の 1 例
 ○横田卓也, 岡西 徹, 榎日出夫
 聖隷浜松病院小児神経科

P-123 一過性脳波異常をきたしたインフルエンザ肺炎の 1 例
 ○野村昇平¹, 島川修一¹, 福井美保¹, 田辺卓也², 玉井 浩¹
 大阪医科大学小児科¹, 市立枚方市民病院小児科²

P-124 新型インフルエンザ H1N1 脳症についての検討
 ○今井由生¹, 洲上達夫², 遠藤あゆみ¹, 荒川千賀子¹, 小平隆太郎¹, 藤田之彦¹, 橋本光司², 稲毛康司², 麦島秀雄¹
 日本大学小児科¹, 同 附属練馬光が丘病院²

P-125 新型インフルエンザ解熱後に一過性知的退行と脳波異常を認めた症例の検討
 ○村松一洋, 澤浦法子, 浦野葉子, 荒川浩一
 群馬大学大学院小児科学

P-126 限局性皮質病変を呈した新型インフルエンザ脳症の 1 例
 ○大府正治, 島袋陽子, 崎原徹裕
 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科

P-127 脳梁膨大部病変を認めた新型インフルエンザ脳症の 1 例
 ○比屋根真彦¹, 島袋陽子^{1,2}, 崎原徹裕^{1,2}, 當山 潤³, 大府正治²
 沖縄県立中部病院小児科¹, 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科², 沖縄小児発達センター³

16:30~17:05 感染・免疫 1 (S388)
 座長 牛島廣治 (藍野大学医療保健学部/藍野健康科学センター)
 野村恵子 (熊本大学附属病院発達小児科)

P-128 HUS 脳症の発症と脳内ケモカインの関与—ヒトアストロサイトにおける検討—
 ○木岡直美, 南 弘一, 田村 彰, 吉川徳茂
 和歌山県立医科大学小児科

P-129 Miller Fisher 症候群の三徴を呈した, 抗 GQ1b 抗体陰性, 抗 GM1 抗体・抗 GD1b 抗体陽性の軸索型 Guillain-Barré 症候群が疑われた 1 例
 ○宮田世羽¹, 島田隆史², 古山晶子³, 星野英紀³, 久保田雅也³
 国立成育医療センター総合診療部¹, 東京大学精神神経科², 国立成育医療センター第一専門診療部神経内科³

P-130 Opsoclonus myoclonus ataxia syndrome 5 例の検討—その臨床的特徴と治療経過—
 ○須山麻衣子, 藤井克則, 塩浜 直, 田辺 良, 遠藤真美子, 河野陽一
 千葉大学大学院小児病態学

P-131 亜急性硬化性全脳炎における麻疹抗体価の長期的な推移
 ○佐久間啓, 斎藤義朗, 小牧宏文, 中川栄二, 須貝研司, 佐々木征行
 国立精神・神経センター病院小児神経科

- P-132 リバリン髄注療法を施行した亜急性硬化性全脳炎の 1 例**
 ○安部信平¹, 奥村彰久¹, 中原絵理¹, 池野 充¹, 齋藤雅子¹, 清水俊明¹, 田沼直之², 林 雅晴³
 順天堂大学小児科¹, 都立府中療育センター小児科², 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生 (臨床神経病理)³
- P-133 言語機能が徐々に回復した亜急性脳症の 1 例**
 ○樋口 司^{1,2}, 西村貴文¹, 石田岳史¹, 福山哲広¹, 稲葉雄二¹, 高橋幸利³
 信州大学小児医学¹, 長野県立須坂病院小児科², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科³
- P-134 アデノウイルス感染に随伴した片側小脳炎の 1 例**
 ○安田真里, 加藤大典, 小山典久, 横地健治
 豊橋市民病院小児科

17:05~17:35 感染・免疫 2..... (S392)

座長 伊東恭子 (京都府立医科大学大学院分子病態病理学)
 穴倉啓子 (朋診療所)

- P-135 ロタウイルス感染症による小脳炎をきたした症例**
 ○木村育子, 今井由生, 石井和嘉子, 遠藤あゆみ, 荒川千賀子, 小平隆太郎, 瀧上達夫, 藤田之彦, 麦島秀雄
 日本大学小児科
- P-136 無菌性髄膜炎後に発症した小脳炎の 1 例**
 ○古宮 圭, 羽生政子, 道下崇史, 玉木久光, 伊藤昌弘
 都立墨東病院小児科
- P-137 緑膿菌感染症に罹患後, てんかん発作が消失した AERRPS の 1 例**
 ○泉 鉦吉¹, 高橋幸利²
 社会保険紀南病院小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-138 ヒトパレコウイルス 3 型による急性脳症の 1 例**
 ○辻 健史¹, 竹内智哉², 加藤 徹¹, 早川文雄¹
 岡崎市民病院小児科¹, 名古屋大学小児科²
- P-139 再発を繰り返す Tolosa-Hunt 症候群の若年女性例**
 ○吉岡誠一郎, 松分久美子, 高野知行, 竹内義博
 滋賀医科大学小児科
- P-140 当科で経験した免疫学的機序を示唆するマイコプラズマ関連脳症症例**
 ○北村太郎¹, 高柳 勝¹, 大浦敏博¹, 山本克哉²
 仙台市立病院小児科¹, 南光台やまもと小児科²

17:35~17:55 不随意運動・基底核 1..... (S395)

座長 根津敦夫 (横浜療育医療センター)

- P-141 両上肢の振戦を主訴に来院した著明な日内変動を呈する遺伝性進行性ジストニア (瀬川病) 5 歳男児例**
 ○荒川ゆうき¹, 星野恭子¹, 長田浩平¹, 奈倉道明¹, 高田栄子¹, 林 雅晴^{2,3}, 新宅治夫⁴, 木村一恵³, 八森啓一³, 野村芳子³, 瀬川昌也³, 田村正徳¹
 埼玉医科大学総合医療センター小児科¹, 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生 (臨床神経病理)², 瀬川小児神経学クリニック³, 大阪市立大学大学院発達小児医学⁴
- P-142 バクロフェン髄注療法を施行した 8 歳副腎白質ジストロフィー男児**
 ○古山晶子¹, 奥村さやか¹, 柏井洋文¹, 星野英紀¹, 久保田雅也¹, 師田信人², 斉藤伸治³
 国立成育医療センター神経内科¹, 同 脳神経外科², 北海道大学小児科³
- P-143 脳動静脈奇形出血後に出現した痙性斜頸に対して A 型ボツリヌス毒素が有効だった 1 例**
 ○野々田豊¹, 岩崎俊之¹, 細田のぞみ^{1,2}, 白井宏幸^{1,3}, 石井正浩¹
 北里大学小児科¹, 相模原療育園², 相模台病院小児科³
- P-144 遷延する小脳失調を主症状とした opsoclonus myoclonus ataxia syndrome の 1 幼児例**
 ○奥主健太郎, 藤井克則, 田辺 良, 塩浜 直, 須山麻衣子, 河野陽一
 千葉大学大学院小児病態学

第 2 日目 A 会場

9:00~9:50 特別講演 3 (S87)

自閉症ヒト型マウスモデルの開発と小児神経学への展開

座長 桃井真里子 (自治医科大学小児科)

講演 内匠 透 (広島大学大学院医歯薬学総合研究科創生医科学専攻探索医科学講座)

9:50~12:00 シンポジウム 3 (S106)

小児神経筋疾患—分子生物学の進歩と治療最前線—

座長 大野耕策 (鳥取大学脳神経小児科)

杉江秀夫 (自治医科大学小児科)

- 1) Channelepsy (チャンネル異常によるてんかん) の分子病態と治療への応用
廣瀬伸一 (福岡大学小児科)
- 2) Duchenne 型筋ジストロフィーに対する分子治療学の進歩
武田伸一 (国立精神・神経医療研究センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部, 同 トランスレーショナル・メディカルセンター)
- 3) ミトコンドリア病研究の進歩と治療法開発の最前線
古賀靖敏 (久留米大学小児科)
- 4) Charcot-Marie-Tooth 病の分子遺伝学—治療への展望
高嶋 博 (鹿児島大学大学院神経内科・老年病学)

13:10~15:10 ワークショップ 2 (S127)

脳死の最近の話題

座長 水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)

- 1) はじめに
水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)
- 2) 小児の脳死判定の進め方
阿部俊昭, 日下康子 (東京慈恵会医科大学脳神経外科)
- 3) 小児の脳死判定における脳波検査
唐澤秀治 (船橋市立医療センター脳神経外科)
- 4) 脳死下臓器提供小児から被虐待児を除外する診断マニュアル
山田不二子 (医療法人社団三彦会山田内科胃腸科クリニック, NPO 法人子ども虐待ネグレクト防止ネットワーク)
- 5) 慢性脳死の歴史と課題
杉本健郎 (すぎもとボーン・クリニック)

15:10~16:10 第 3 回会員総会

16:10~16:40 日本小児神経学会優秀論文賞授賞式・ミニ講演

座長 杉本健郎 (すぎもとボーン・クリニック)

第 2 日目 B 会場

9:00~11:00 ワークショップ 1 (S123)

医療における心理士の在り方

座長 小西行郎 (同志社大学大学院心理学研究科赤ちゃん学研究センター)

利島 保 (広島県立大学)

- 1) 健康・医療と心理学の連携—学術会議からの提言
長谷川寿一 (東京大学大学院総合文化研究科生命環境科学系)
- 2) 神経内科が望む心理学士像
福山秀直 (京都大学高次脳機能総合研究センター)

- 3) 精神科医療における心理職の役割と国家資格化の課題
佐藤忠彦 (社会福祉法人桜ヶ丘社会事業協会桜ヶ丘記念病院)

11:00~11:40 招待講演 3 (S90)

The Neurobiological Studies of ADHD—Focus on Brain Imaging and Genetic Studies—

座長 加我牧子 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所)

講演 Bung-nyun Kim (Division of Child & Adolescent Psychiatry, Department of Psychiatry, Clinical Research Institute, Seoul National University Hospital, College of Medicine, Seoul National University, Seoul, Korea)

12:10~13:00 ランチョンセミナー 6: 日本イーライリリー株式会社 (S146)

AD/HD の薬物療法に何を期待するのか—アトモキセチン 7 年の使用経験より—

座長 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)

講演 荒木章子 (旭川医科大学小児科)

13:10~13:55 教育講演 3 (S93)

iPS 細胞技術と遺伝子改変霊長類モデルを用いた神経再生・神経疾患研究

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学小児科)

講演 岡野栄之 (慶應義塾大学生理学)

13:55~14:05 2010 JSCN Award for Asia Young Investigator (S175)

Comparison of Sequential Organ Failure Assessment Score and Pediatric Multiple Organ Dysfunction Score (MODS) in the Prediction of ICU Outcome

座長 藤井克則 (千葉大学大学院小児病態学)

講演 Navin Mishra (Department of Pediatrics, KIST Medical College, Nepal)

14:05~14:25 アジア・オセアニア小児神経学国際教育プログラム (S174)

The Compliance of Drug Treatment Program and the Probability of Achieving Remission in Childhood Onset Epilepsy

座長 藤井克則 (千葉大学大学院小児病態学)

講演 Rizaldy Pinzon (Neurology Department, Bethesda Hospital, Yogyakarta, Indonesia)

19:00~21:00 イブニングセミナー 1 (S151)

重症児 (者) が地域で安全に快適に生きるために: ショートステイ, 「レスパイト入院」 (社会活動委員会主催)

座長 杉本健郎 (すぎもとボーン・クリニック)

- 1) 医療的ケアが必要な子どものレスパイトケア—診療所からの実践報告—

高橋昭彦 (ひばりクリニック)

- 2) 小児専門病院におけるレスパイト入院の現状

鳥邊泰久 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科, 同 在宅医療支援室)

- 3) 重症児 (者) が地域で安全に暮らせるために: 国立病院機構の立場から

石田修一 (NHO まつもと医療センター—中信松本病院小児科)

- 4) 重症心身障害児 (者) 施設のショートステイの現状

岩崎裕治 (都立東部療育センター)

第 2 日目 C 会場

9:00~10:30 脳性麻痺・療育 3 (病型・医療的ケア) (S228)

座長 横地健治 (聖隷三方原病院)

樋口和郎 (三重県済生会明和病院・なでしこ)

O-075 早産児における特異な不随意運動の検討

○吉永治美, 遠藤文香, 石崎裕美子, 井上拓志, 大塚頌子

岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科)

O-076 極低出生体重児のアトーゼ型脳性麻痺の臨床症状と合併症

○平井聡里, 北井征宏, 荒井 洋

森之宮病院小児神経科

O-092 小児型慢性疲労症候群におけるコホート研究—Trail making Test を用いた検討—

○川谷淳子¹, 上土井貴子¹, 水野 敬², 高野美雪³, 友田明美¹, 三池輝久⁴
 熊本大学小児発達学¹, 理化学研究所分子イメージング科学研究センター², 学校法人御船学園平成
 音楽大学³, 兵庫県立総合リハビリテーションセンターリハビリテーション中央病院⁴

12:10~13:00 ランチョンセミナー7: グラクソ・スミスクライン株式会社 …… (S147)

ハンズオンセミナー「脳性麻痺のボツリヌス治療」

座長 児玉和夫 (大阪発達総合療育センター)
 講演 根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)

13:10~14:10 English Session 1 …… (S237)

座長 伏木信次 (京都府立医科大学大学院分子病態病理学)
 有賀 正 (北海道大学大学院小児科学)

O-093 小児神経伝達物質病 (PND) の全国調査

○新宅治夫^{1,2}, 瀬川昌也², 加藤光広², 斉藤伸治², 浜野晋一郎², 久保田雅也², 遠山 潤²,
 夏目 淳², 服部英司², 前垣義弘², 松石豊次郎², 井手秀平², 藤岡弘季², 野村芳子²,
 伊藤 康²
 大阪市立大学大学院発達小児医学¹, 小児神経伝達物質病研究班²

O-094 Congenital generalized lipodystrophy with muscular dystrophy caused by novel PTRF mutation

○Kus Dwianingsih Ery¹, 竹島泰弘¹, Ghazali Malueka Rusdy¹, 栗野宏之¹, 八木麻理子¹, 伊東恭子²,
 松尾雅文¹
 神戸大学大学院小児科学¹, 京都府立医科大学大学院分子病態病理学²

O-095 福山型先天性筋ジストロフィーはスプライシング異常症である

○谷口真理子, 戸田達史
 神戸大学大学院神経内科学/分子脳科学

O-096 Restless Legs Syndrome 関連候補遺伝子 BTBD9 の遺伝子欠損マウスによる機能の解析と病態の解明

○村松一洋, 澤浦法子, 浦野葉子, 荒川浩一
 群馬大学大学院小児科学

O-097 アンジェルマン症候群モデルマウスにおける海馬神経回路網の電気生理学的検討

○江川 潔¹, 斉藤伸治², 木住野達也³, 福田敦夫¹
 浜松医科大学生理学第一¹, 北海道大学病院小児科², 長崎大学先端生命科学支援センターゲノ
 ム機能解析分野³

O-098 SCN1A 関連てんかんが疑われた本邦女性患者における PCDH19 遺伝子異常とその臨床症状

○日暮憲道¹, 坂内優子², 白石秀明³, 宮本晶恵⁴, 糸見和也⁵, 加藤竹雄⁶, 廣瀬伸一¹
 福岡大学小児科¹, 東京女子医科大学小児科², 北海道大学大学院小児科学³, 北海道立旭川肢体不
 自由児総合療育センター小児科⁴, あいち小児保健医療総合センター神経科⁵, 京都大学小児科⁶

14:10~15:10 English Session 2 …… (S240)

座長 新島新一 (順天堂大学附属練馬病院小児科)
 加藤光広 (山形大学小児科)

O-099 潜因性 West 症候群における Diffusion Tensor 画像—SPM による解析—

○夏目 淳¹, 深沢達也¹, 中田智彦¹, 横井摂理¹, 石原尚子¹, 東 慶輝¹, 奥村彰久², 根来民子¹,
 渡邊一功³
 名古屋大学小児科¹, 順天堂大学小児科², 愛知淑徳大学医療福祉学部³

O-100 部分てんかんにおける難治性の定義に関する検討

○須貝研司, 中川栄二, 佐久間啓, 小牧宏文, 斎藤義朗, 佐々木征行
 国立精神・神経センター病院小児神経科

O-101 てんかん外科手術後の発作予後に対する, 発作間欠期高周波律動の分布と切除領域との関連性の影響

○秋山倫之, 越智文子, 大坪 宏
 トロント小児病院神経科

O-102 基礎疾患を持つ児における急性脳症の臨床像

○奥村彰久¹, 久保田哲夫², 城所博之², 辻 健史³, 早川文雄³, 丸山幸一⁴, 鈴木基正⁴, 糸見和也⁵,
 清水俊明¹
 順天堂大学小児科¹, 安城更生病院小児科², 岡崎市民病院小児科³, 愛知県心身障害者コロニー中
 央病院小児神経科⁴, あいち小児保健医療総合センター神経科⁵

O-103 小児急性脳症に対する脳低温療法

○河野 剛¹, 岩田欧介², 岩田幸子², 河野敬子², 九鬼一郎³, 林下浩士⁴, 塩見正司⁵, 山内秀雄⁶, 赤池洋人⁷, 植松 貢⁸, 平林伸一⁹, 平野 悟⁹, 菊池敦夫⁸, 吉川秀人¹⁰, 松石豊次郎²
 聖マリア病院小児科¹, 久留米大学小児科², 大阪市立総合医療センター小児神経科³, 同 救急救命センター⁴, 同 小児科⁵, 獨協医科大学小児科⁶, 川崎医科大学小児科⁷, 東北大学小児科⁸, 長野県立こども病院神経科⁹, 宮城こども病院神経科¹⁰

O-104 脳炎後難治性てんかんの血液脳関門透過性亢進と免疫病態の解明

○高橋幸利^{1,2}, Suriadi Meilia M.¹, 久保田裕子¹, 美根 潤¹, 山崎悦子¹, 高山留美子¹, 池上真理子¹, 向田壮一¹, 最上友紀子¹, 井上有史¹
 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科¹, 岐阜大学小児病態学²

19:00~21:00 イブニングセミナー 2 (S156)
第 4 回子どもの眠り研究会

座長 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)

谷池雅子 (大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター)

- 1) 小児睡眠ポリグラフィのプレパレーションの試み—発達障害児における効果は—
 村田絵美¹, 加藤久美^{1,2}
 (大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 太田睡眠科学センター²)
- 2) Actigraph による子どもの生活リズムの振り返りの効果—1 歳児, 2 歳児を育てる母親への援助を考える—
 安積陽子¹, 高田 哲² (甲南女子大学看護リハビリテーション学部¹, 神戸大学大学院保健学研究科²)
- 3) CD 法を用いた小児睡眠中の心拍変動解析
 大木 昇 (のるぶるライトシステムズ)
- 4) 錯乱性覚醒 (朝型) が疑われる 14 歳女児
 齋藤なか¹, 神山 潤^{2,3}
 (鶴岡市立荘内病院小児科¹, 東京ベイ・浦安市川医療センター², 東京北社会保険病院³)
- 5) 周期性過眠症の 1 例
 松澤重行, 田島世貴, 高井一美, 三池輝久
 (兵庫県立総合リハビリテーションセンター中央病院子どもの睡眠と発達医療センター小児科)
- 6) 光環境調節による睡眠覚醒リズム形成の試みと親子関係の検討
 高野美雪^{1,2}, 上土井貴子², 川谷淳子², 友田明美²
 (平成音楽大学¹, 熊本大学付属病院発達小児科²)
- 7) 「子どもの眠りの質問票」を用いた小児睡眠関連疾患の疫学についての検討
 加藤久美^{1,2}, 清水佐知子³, 大野ゆう子³, 毛利育子^{1,4}, 辻富士子⁵, 松本小百合⁶, 谷池雅子^{1,4}
 (大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 太田睡眠科学センター², 大阪大学大学院数理保健学研究科³, 大阪大学連合大学院小児発達学研究科⁴, 堺市子ども青少年局子育て支援部保育課⁵, 東大阪市保健所⁶)
- 8) Asia Pacific Pediatric Sleep Alliance (APPSA) の活動報告
 神山 潤 (東京ベイ・浦安市川医療センター)

第 2 日目 D 会場

8:00~9:00 モーニング教育セミナー 1 (S132)
特異的発達障害とくに発達性読み書き障害の診断・治療ガイドラインのご紹介

座長 橋本俊顕 (徳島赤十字ひのみね総合療育センター)

講演 稲垣真澄 (国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的障害部)

9:00~9:50 発達障害 7 (生理・画像検査) (S243)
座長 宮崎雅仁 (小児科内科三好医院)

安原昭博 (安原こどもクリニック)

O-105 注意欠陥/多動性障害 (AD/HD) の神経生理学的見解

○宮崎雅仁^{1,2}, 東田好広², 森 健治², 香美祥二²,
 小児科内科三好医院小児科¹, 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部小児医学²

O-106 MPH が AD/HD 児の情動を介した報酬期待・罰予想に与える影響—強化学習課題における情動性自律反応研究—

○保坂裕美¹, 青柳閣郎¹, 金村英秋¹, 加賀佳美¹, 下山 仁¹, 山城 大¹, 後藤裕介¹, 反頭智子¹, 中村幸介¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
山梨大学小児科¹, 同 大学院医学工学総合研究部²

O-107 自閉症スペクトラム障害の脳波所見

○前澤真理子¹, 堂本洋一², 玉田耕一², 本城美智恵³, 渡邊幸恵⁴
鶴見大学短期大学部歯科衛生科¹, 伊勢慶友病院², みさと健和病院小児科³, 横浜市北部療育センター⁴

O-108 視線追跡装置を用いた乳児期早期における顔認知の発達的变化について

○小西行彦, 大久保賢介, 伊地知園子, 西田智子, 今井 正, 磯部健一, 伊藤 進
香川大学小児科

O-109 AD/HD 児に併存する抑うつ・不安症状に関連する脳血流病態の特徴

○井上祐紀¹, 崎原ことえ¹, 小沢 浩², 木実谷哲史², 篠田晴男³, 稲垣真澄¹
国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部¹, 島田療育センター小児科², 立正大学心理学部³

9:50~10:50 発達障害 8 (運動・認知) (S245)

座長 山下裕史朗 (久留米大学小児科)
宮島 祐 (東京医科大学小児科)

O-110 Motor Observation Questionnaire for Teachers (MOQ-T) 日本語版の作成と日本文化への適応

○中井昭夫¹, 吉澤正尹², 川谷正男¹, Marina M. Schoemaker³
福井大学小児科¹, 同 教育地域科学部², Center for Human Movement Sciences, University Medical Center Groningen, University of Groningen, The Netherlands³

O-111 Developmental Coordination Disorder Questionnaire (DCDQ) 日本語版の作成と心理測定特性の予備的検討

○中井昭夫¹, 吉澤正尹², 川谷正男¹, Brenda N. Wilson³
福井大学小児科¹, 同 教育地域科学部², Alberta Health Services and University of Calgary, Canada³

O-112 発達障害の増加による小児リハビリテーションにおける需要変化

○反頭智子¹, 青柳閣郎¹, 畠山和男¹, 金村英秋², 杉田完爾², 相原正男³
山梨県立あけぼの医療福祉センター小児科¹, 山梨大学小児科², 同 大学院医学工学総合研究部³

O-113 二次元尺度を用いた行動解析による ADHD 児に対する感覚統合訓練の有効性の評価

○林 隆^{1,2}, 木戸久美子¹, 稲垣真澄²
山口県立大学看護学科, 国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部

O-114 就学前児における三軸加速度センサーを用いたバランス機能の定量的評価について

○江口亮太, 三見あつこ, 高田 哲
神戸大学大学院保健学研究科地域保健学

O-115 注意欠陥/多動性障害と広汎性発達障害における言語性短期・作業記憶の発達変化

○竹内章人¹, 諸岡輝子¹, 岡 牧郎¹, 花房 香¹, 荻野竜也², 大塚頌子¹
岡山大学大学院発達神経病態学¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科²

10:50~12:00 学習障害 (S248)

座長 宮尾益知 (国立成育医療センター発達心理科)
若宮英司 (藍野大学医療保健学部)

O-116 就学前児童の仮名読字能力測定課題の開発 1—得点分布の検討—

○花房 香¹, 諸岡輝子¹, 竹内章人¹, 岡 牧郎¹, 荻野竜也², 大塚頌子¹
岡山大学大学院発達神経病態学¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科²

O-117 就学前児童の仮名読字能力測定課題の開発 2—構成概念の検討—

○花房 香¹, 諸岡輝子¹, 竹内章人¹, 岡 牧郎¹, 荻野竜也², 大塚頌子¹
岡山大学大学院発達神経病態学¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科²

O-118 音読検査用単語刺激作成の試み—小学校低学年の発達性読み書き障害の分析に向けて—

○奥村智人¹, 北村弥生², 中西 誠^{1,3}, 栗本奈緒子¹, 水田めぐみ¹, 竹下 盛¹, 若宮英司⁴, 玉井 浩^{1,5}
大阪医科大学 LD センター¹, 国立障害者リハビリテーションセンター², 関西大学大学院心理学研究科³, 藍野大学医療保健学部⁴, 大阪医科大学小児科⁵

- O-119 子どもの学習活動の成果を小児科外来において短時間で診る
 一 国語の学習習熟度テスト (小学校 1-6 年) の開発一
 ○長尾秀夫
 愛媛大学教育学部
- O-120 書字障害の読字能力と書字能力の比較検討
 ○若宮英司¹, 奥村智人², 竹下 盛², 水田めくみ², 栗本奈緒子², 玉井 浩^{2,3}
 藍野大学医療保健学部¹, 大阪医科大学 LD センター², 同 小児科³
- O-121 発達性読み書き障害児の大細胞系機能評価と読字書字症状との関連
 一 低空間周波数サイン様縦縞刺激 VEP による検討一
 ○山崎広子^{1,2}, 北 洋輔^{1,3,4}, 矢田部清美¹, 小林朋佳¹, 加我牧子¹, 稲垣真澄¹
 国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部¹, 国立国際医療センター国府台病院眼科², 東
 北大学大学院教育学研究科³, 日本学術振興会特別研究員⁴
- O-122 視覚情報処理能力の低下を示す児童への書字訓練
 ○水田めくみ¹, 奥村智人¹, 栗本奈緒子¹, 竹下 盛¹, 若宮英司², 玉井 浩^{1,3}
 大阪医科大学 LD センター¹, 藍野大学医療保健学部², 大阪医科大学小児科³
- 12:10~13:00 ランチョンセミナー 8: 協和発酵キリン株式会社 (S148)
 小児難治てんかんの薬物治療ー静岡症例でのエビデンスー
 座長 小国弘量 (東京女子医科大学小児科)
 講演 高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター, 岐阜大学小児科)
- 13:10~13:50 発達障害 9 (療育支援) (S252)
 座長 高田 哲 (神戸大学大学院保健学研究科)
 弓削マリ子 (京都府中丹東保健所)
- O-123 発達外来における肥満対策の検討
 ○林 優子¹, 笠置恵子²
 県立広島大学保健福祉学部附属診療センター小児科¹, 同 地域保健看護学・疫学²
- O-124 自閉症のペアレントトレーニング
 ○横山浩之¹, 奈良千恵子², 廣瀬三恵子², 涌澤圭介³, 萩野谷和裕³, 飯沼一字⁴
 山形大学看護学科¹, 東北大学小児科², 宮城県拓桃医療療育センター小児神経科³, 石巻赤十字病
 院⁴
- O-125 自閉症スペクトル児の母親アンケート調査
 ○前田椰子
 静岡医療福祉センター小児神経科
- O-126 自閉症スペクトラム障害幼児で、1 カ月以上テレビビデオ中止した時の発達の変化
 ○家島 厚, 堀田秀樹
 茨城県立こども福祉医療センター小児科
- 13:50~14:30 発達障害 10 (特別支援教育) (S254)
 座長 長尾秀夫 (愛媛大学教育学部特別支援医学)
 小野次朗 (和歌山大学教育学部特別支援教育学)
- O-127 AD/HD 児における塩酸メチルフェニデート徐放剤服用開始前後の母親と教師の行動評価
 ○鈴木直光
 つくば市立病院小児科
- O-128 特別支援学級に所属する児童・生徒と乳幼児健診後の対応
 ○山口志麻, 高田 哲
 神戸大学大学院保健学研究科
- O-129 学校訪問での ADHD 児の早期発見の意義と対応
 ○久場川哲二¹, 古荘純一², 丸山 博³
 川崎市立川崎病院精神科¹, 青山学院大学教育人間科学部教育学科², 松戸クリニック³
- O-130 発達障害のある子どもに対する特別支援教育の課題
 ○細田のぞみ, 三浦寿男, 斎藤和代
 相模原療育園

- 14:30~15:10 発達障害 11 (重症児・者支援) (S256)
- 座長 松田博雄 (淑徳大学総合福祉学部)
萩野谷和裕 (宮城県拓桃医療療育センター)
- O-131 NICU 出身重症児の支援のために地域中核病院に必要な条件について
○長谷川朝彦, 奈倉道明, 高田栄子, 側島久典, 田村正徳
埼玉医科大学総合医療センター小児科
- O-132 重症児の緊急入院受け入れに関する全国アンケート調査について
○奈倉道明, 長谷川朝彦, 高田栄子, 側島久典, 田村正徳
埼玉医科大学総合医療センター小児科
- O-133 重症心身障害児・者における粗大運動能と死亡原因の関係について
○福田邦明¹, 桐野友子², 藤原由美², 永井盛博², 牛田美幸^{2,3}, 遠藤彰一¹, 中川義信³
国立病院機構香川小児病院神経内科¹, 同 小児科², 同 脳神経外科³
- O-134 急性脳症後遺症児への音楽療法の試み
○市田幸子, 奥村彰久, 清水俊明
順天堂大学小児科

- 19:00~21:00 イブニングセミナー 3 (S161)
- 静注用フェノバルビタールによるてんかん重積状態の治療法の確立に向けて (薬事委員会主催)
- 座長 大塚頌子 (岡山大学大学院発達神経病態学)
山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
- 1) 静注用フェノバルビタール使用例の実際
宮本雄策, 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
 - 2) フェノバル静脈注射剤の著効例
渡邊嘉章, 福島雅子, 大塚頌子 (岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科))
 - 3) 当院におけるフェノバルビタール静注用剤 (静注用 PB) の使用経験
酒井哲郎, 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
 - 4) 小児けいれん重積およびけいれん頻発における静注用フェノバルビタールの有効性と安全性
菊池健二郎, 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)
 - 5) てんかんによる群発型けいれん重積に対するフェノバルビタール静注の投与量の検討
須貝研司 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 - 6) 当院における静注用フェノバルビタールの使用状況と共同研究実施上の問題点
今高城治 (獨協医科大学小児科)
 - 7) 小児けいれん重積症治療ガイドラインにおけるフェノバルビタール静注薬の位置づけ
林 北見 (東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科)

第 2 日目 E 会場

- 8:00~9:00 モーニング教育セミナー 2 (S133)
- 希少疾患の治療薬開発に対して臨床医は何をすべきか? - 筋ジストロフィー患者データベース Remudy を中心に
- 座長 大澤真木子 (東京女子医科大学小児科)
- 講演 川井 充¹, 中村治雅², 森まどか², 小牧宏文³, 後藤加奈子⁴, 松田 悠⁴, 林由起子⁴,
西野一三⁴, 松村 剛⁵
(国立病院機構東埼玉病院神経内科¹, 国立精神・神経医療研究センター病院神経内科²,
同 病院小児神経科³, 同 神経研究所疾研 1 部⁴, 国立病院機構刀根山病院神経内
科⁵)
- 9:00~9:40 てんかん・けいれん 6 (基礎研究) (S258)
- 座長 廣瀬伸一 (福岡大学小児科)
高橋幸利 (国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター)
- O-135 West 症候群における免疫学的機序に関する研究 (第 3 報)
○椎原 隆, 渡辺美緒
群馬県立小児医療センター神経内科

- O-136 桂枝加芍薬湯は幼若ラットの温熱誘発痙攣を抑制する
○日野ひとみ^{1,2}, 福田光成¹, 鈴木由香¹, 森本武彦^{1,3}
愛媛大学小児科¹, 四国中央市国民健康保険², 愛媛県立子ども療育センター小児科³
- O-137 SCN1A 遺伝子のスプライス変異多型は日本人においても熱性けいれん感受性に関係する
○石崎義人, 吉良龍太郎, 鳥巢浩幸, 實藤雅文, 山口 結, 原 寿郎
九州大学大学院成長発達医学
- O-138 SMEI モデルマウスの hyperthermia-induced seizure に対する LVT, STP, CLB の抑制効果の検討
○大谷英之¹, 荻原郁夫², 高橋幸利¹, 山川和弘², 井上有史¹
国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科¹, 理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム²

9:40~10:40 てんかん・けいれん 7 (治療 1) (S260)

座長 金澤 治 (埼玉医科大学神経精神科・心療内科)
林 北見 (東京女子医科大学八千代医療センター発達小児科)

- O-139 新規抗てんかん薬の小児治験実施時期に関する問題点
○柳原恵子^{1,2}, 平野慎也¹, 山田桂太郎², 鳥邊泰久², 真野利之², 鈴木保宏²
大阪府立母子保健総合医療センター臨床試験支援室¹, 同 小児神経科²
- O-140 重症心身障害児者合併てんかんに対する新規抗てんかん薬使用の経験
○真柄慎一¹, 影山隆司¹, 山崎佐和子^{1,2}, 山谷美和¹, 小西 徹¹
長岡療育園小児科¹, 新潟市民病院小児科²
- O-141 難治性てんかん患者に対する Topiramate 使用症例の検討—トピラマートをどのように使用するか—
○松尾光弘, 松坂哲應
長崎県立こども医療福祉センター小児科
- O-142 小児期発症難治てんかん症例におけるトピラマートの長期効果についての検討
○鳥邊泰久, 山田桂太郎, 柳原恵子, 真野利之, 鈴木保宏
大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科
- O-143 Topiramate および zonisamide 投与における代謝性アシドーシスの出現の検討
○石原尚子¹, 夏目 淳¹, 横井摂理¹, 中田智彦¹, 深沢達也¹, 根来民子¹, 渡邊一功^{1,2}
名古屋大学小児科¹, 愛知淑徳大学医療福祉学部医療貢献学科²
- O-144 ゾニサミドまたはトピラマート投与中の重症心身障害児における腎結石の検討
○大柳玲嬉, 渡邊年秀, 皆川公夫
北海道立子ども総合医療・療育センター小児科 (神経)

10:40~12:00 てんかん・けいれん 8 (治療 2) (S263)

座長 夏目 淳 (名古屋大学大学院小児科学/成長発達医学)
岩崎俊之 (北里大学小児科)

- O-145 難治てんかん患者に対するラモトリジンの治療経験
○下野九理子¹, 池田 妙², 濱田悠介², 岩谷祥子², 富永康仁³, 沖永剛志², 永井利三郎⁴, 谷池雅子^{1,3}, 大藪恵一²
大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所¹, 大阪大学小児科², 同 子どものこころの分子統御機構研究センター³, 同 保健学科⁴
- O-146 難治てんかん患者に対する lamotrigine (LTG) の長期効果
○渡邊聖子, 渡邊嘉章, 小林勝弘, 吉永治美, 大塚頌子
岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科)
- O-147 ミオクロニー失立てんかん著効例を中心としたラモトリジンの治療効果の検討
○石井朋之¹, 山形崇倫¹, 福田冬季子¹, 森 雅人¹, 杉江秀夫¹, 飯塚敦夫², 遠山 潤³, 桃井真里子¹
自治医科大学小児科¹, いいづかファミリークリニック², 国立病院機構西新潟中央病院小児科³
- O-148 難治てんかんにおける臭化カリウムの有効性の検討
○齊藤景子, 熊田知浩, 宮嶋智子, 木村暢佑, 小田 望, 下村秀毅, 藤井達哉
滋賀県立小児保健医療センター小児科
- O-149 バルプロ酸投与中に Fanconi 症候群を来した重症心身障害児の 3 例
○井庭慶典, 柳田英彦, 竹村 司
近畿大学小児科

O-150 バルプロ酸投与てんかん患児における血清尿酸値上昇の機序に関する検討

○岸 高正
国家公務員共済組合連合会広島記念病院小児科

O-151 長期バルプロ酸内服中の重度心身障害児における血中, 尿中バルプロイルカルニチン値の検討

○中島葉子¹, 小林 悟¹, 安藤直樹¹, 伊藤哲哉¹, 杉山成司², 戸苅 創¹
名古屋市立大学大学院小児医学¹, 愛知学院大学薬学部²

O-152 カルバマゼピン投与下における血清ナトリウムへの影響

○佐野史和¹, 金村英秋¹, 杉田完爾¹, 相原正男²
山梨大学小児科¹, 同 大学院医学工学総合研究部²

12:10~13:00 ランチョンセミナー 9: ユーシービージャパン株式会社・大塚製薬株式会社…………… (S149)

Neurodevelopmental Effects of Antiepileptic Drugs

座長 大塚 頌子 (岡山大学大学院発達神経病態学 (小児神経科))

講演 Kimford J. Meador (Professor of Neurology and Director of Epilepsy at Emory University, Atlanta, Georgia, USA)

13:10~14:10 筋疾患 2 (デュシェンヌ型筋ジストロフィー)…………… (S267)

座長 石原傳幸 (国立病院機構箱根病院神経内科)
齋藤加代子 (東京女子医科大学附属遺伝子医療センター)

O-153 リンパ球 mRNA でスプライシング異常を認めた Duchenne 型筋ジストロフィーの 2 症例

○石川幸辰, 石川悠加
国立病院機構八雲病院小児科

O-154 培養筋細胞におけるアンチセンスオリゴヌクレオチドによるエクソン 45 のスキッピング誘導率は変異によって異なる

○八木麻理子, 栗野宏之, 竹島泰弘, 松尾雅文
神戸大学大学院小児科学

O-155 エクソンスキッピング誘導による治療の臨床応用に向けて, 適正アンチセンスと適応患者のスクリーニング法の確立 その 3

○木村重美^{1,2}, 小篠史郎¹, 野村恵子¹, 小菅浩史¹, 藤井 績², 伊藤 薫², 松倉 誠²
熊本大学小児発達学¹, 崇城大学薬学部臨床薬学薬物治療学²

O-156 デュシェンヌ型筋ジストロフィー患者における頭部画像検査および神経心理学的検査の検討

○清水満美^{1,2}, 山田謙一¹, 中島 孝², 鈴木雄治^{1,2}
新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター¹, 国立病院機構新潟病院神経内科²

O-157 デュシェンヌ型および福山型先天性筋ジストロフィーにおける胃瘻造設の有効性と問題点

○水野朋子¹, 小牧宏文¹, 佐久間啓¹, 齋藤義朗¹, 中川栄二¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 神野 進²
国立精神・神経センター病院小児神経科¹, 国立病院機構刀根山病院神経内科²

O-158 Duchenne 型筋ジストロフィー患者に対するステロイド療法の効果

○村上てるみ, 石垣景子, 佐藤孝俊, 尾内幸子, 大澤真木子
東京女子医科大学小児科

14:10~15:10 筋疾患 3…………… (S270)

座長 舘 延忠 (札幌医科大学保健医療学部)
竹島泰弘 (神戸大学大学院小児科学)

O-159 小児期早期より非侵襲的人工呼吸療法 (NIV) 導入を必要とした Emery-Dreifuss 型筋ジストロフィー (EDMD2) の女児例

○尾内幸子¹, 村上てるみ^{1,2}, 石垣景子¹, 塩田睦記¹, 佐藤孝俊¹, 森本武彦³, 林由起子², 大澤真木子¹
東京女子医科大学小児科¹, 国立精神・神経センター神経研究所疾研 1 部², 愛媛県立子ども療育センター小児科³

O-160 福山型先天性筋ジストロフィーにおけるけいれんについての検討

○佐藤孝俊¹, 石垣景子¹, 尾内幸子¹, 平野嘉子¹, 村上てるみ¹, 舟塚 真¹, 齋藤加代子^{1,2}, 大澤真木子¹
東京女子医科大学小児科¹, 同 附属遺伝子医療センター²

- O-161 肢帯型筋ジストロフィー 2L の臨床像および病理・遺伝学的解析**
 ○松本 浩^{1,2}, 林由起子¹, 村上てるみ³, 西野一三¹, 埜中征哉¹
 国立精神・神経センター神経研究所疾研 1 部¹, 防衛医科大学校小児科², 東京女子医科大学小児科³
- O-162 エフェドリン投与により症状が改善した終板アセチルコリンエステラーゼ欠損症の 1 例**
 ○東 慶輝¹, 奥村彰久², 安部信平², 池野 充², 北村裕梨², 中原絵理², 清水俊明², 中田智彦¹, 夏目 淳¹, 野村芳子³, 小牧宏文⁴
 名古屋大学小児科¹, 順天堂大学小児科², 瀬川小児神経学クリニック³, 国立精神・神経センター病院小児神経科⁴
- O-163 小児型 Pompe 病における骨格筋 CT と MRI の有用性の比較検討**
 ○石垣景子¹, 埜中征哉², 村上てるみ¹, 佐藤孝俊¹, 尾内幸子¹, 宍倉啓子¹, 鈴木陽子¹, 平山義人¹, 大澤真木子¹
 東京女子医科大学小児科¹, 国立精神・神経センター神経研究所²
- O-164 生検筋を用いたメタボローム解析による筋型糖原病病態解析**
 ○福田冬季子¹, 杉江秀夫¹, 杉江陽子², 桃井真里子¹
 自治医科大学小児科¹, 浜松医科大学小児科²

19:00~21:00 **イブニングセミナー 4** (S166)

新しい乳幼児健診：知覚認知課題を用いて

座長 **金沢 創** (日本女子大学人間社会学部心理学科)

- 1) 知覚認知課題を用いた新しい乳幼児健診
 金沢 創 (日本女子大学人間社会学部心理学科)
- 2) 乳児健診デジタル検査結果—preliminary study—
 藤井靖史^{1,2}, 天方かおり² (帝京大学教職大学院教職研究科¹, 同 医学部小児科²)
- 3) 発達障害児における視覚的注意機能の実験心理学的検討
 日比優子¹, 熊田孝恒², 金沢 創³, 山口真美⁴, 小西 薫⁵
 (静岡英和学院大学人間社会学部人間社会学科¹, 産業技術総合研究所², 日本女子大学人間社会学部心理学科³, 中央大学⁴, さいたま市総合療育センターひまわり学園⁵)

第 2 日目 F 会場

8:00~9:00 **モーニング教育セミナー 3** (S134)

小児神経学会が支援する共同研究 (共同研究支援委員会)

座長 **佐々木征行** (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

講演 **杉江秀夫** (自治医科大学小児科)

- 1) 保存乾燥臍帯を用いた先天性サイトメガロウイルス感染症の診断と病態解析
 植松 貢 (東北大学小児科)
- 2) 急性脳症の分子遺伝学的病態解析
 水口 雅¹, 高嶋幸男^{2,3}, 山内秀雄⁴, 伊藤雅之⁵, 塩見正司⁶, 久保田雅也⁷ (東京大学大学院発達医学¹, 国際医療福祉大学大学院², 柳川療育センター³, 埼玉医科大学小児科⁴, 国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 2 部⁵, 大阪市立総合医療センター感染症センター⁶, 国立成育医療センター神経科⁷)
- 3) 小児期に発症するてんかん重積状態に対する静脈用フェノバルビタールのエビデンスに関する臨床的研究
 今高城治¹, 山内秀雄² (獨協医科大学小児科¹, 埼玉医科大学小児科²)
- 4) 先天性大脳白質形成不全症の診断と治療に向けた研究
 井上 健¹, 小坂 仁², 黒澤健司², 高梨潤一³, 山本俊至⁴, 岩城明子⁵ (国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾研 2 部¹, 神奈川県立こども医療センター², 亀田メディカルセンター小児科³, 東京女子医科大学国際統合医学インスティテュート⁴, 九州大学生体防御研究所⁵)
- 5) 在宅の超重症児・準超重症児の生活実態についてのアンケート調査
 小沢 浩 (島田療育センター小児科)

9:00~10:40 **急性脳炎・脳症 7 (MRI・SPECT)** (S273)

座長 **佐々木征行** (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

奥村彰久 (順天堂大学小児科)

- O-165 MRI 拡散強調画像で脳梁病変に深部白質病変を伴った急性脳症の 5 例**
○竹内智哉¹, 辻 健史², 加藤 徹², 早川文雄², 夏目 淳¹
名古屋大学小児科¹, 岡崎市民病院小児科²
- O-166 急性脳症の宿主側要因—急性脳症を発症した先天性副腎皮質過形成患者の臨床像, MRI 所見の検討—**
○李 守永¹, 實藤雅文¹, 山口 結¹, 石崎義人¹, 鳥巢浩幸¹, 原 寿郎¹, 渡邊健二², 豊島光男²
九州大学大学院成長発達医学¹, 鹿児島大学小児科²
- O-167 MRI 拡散強調画像で小脳に異常信号を呈した 6 症例の検討**
○久保田哲夫¹, 山本啓之¹, 深沢達也¹, 小林 悟², 安藤直樹², 辻 健史³, 加藤 徹³, 早川文雄³, 安田真里^{4,5}, 横地健治^{4,5}
安城更生病院小児科¹, 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学², 岡崎市民病院小児科³, 豊橋市民病院小児科⁴, 聖隷三方原病院小児神経科⁵
- O-168 ロタウイルス小脳炎の臨床・画像所見の検討**
○多田弘子^{1,2}, 高梨潤一², 安藤直樹³, 宮本 健⁴, 久保田哲夫⁵, 岡 桃子⁶, 加藤善一郎⁷, 浜野晋一郎⁸, 平林伸一⁹, 菊池正広¹⁰, 星野英紀¹¹, 吉田昌子¹²
千葉県済生会習志野病院小児科¹, 亀田メディカルセンター小児科², 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学³, 共立湖西総合病院小児科⁴, 安城更生病院小児科⁵, 長門総合病院小児科⁶, 岐阜大学大学院小児病態学⁷, 埼玉県立小児医療センター神経科⁸, 長野県立こども病院神経科⁹, 日立総合病院小児科¹⁰, 国立成育医療センター神経科¹¹, 京都市立病院放射線科¹²
- O-169 薬剤アレルギーを併発し診断, 治療に難渋した脳梁膨大部病変を伴う急性脳症の女児例**
○大場大樹, 浜野晋一郎
埼玉県立小児医療センター総合診療科
- O-170 非典型的な経過を示した脳梁膨大部脳症と考えられた 1 症例**
○小一原玲子¹, 浜野晋一郎¹, 田中 学¹, 菊池健二郎¹, 折津友隆¹, 南谷幹之²
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 同 保健発達部²
- O-171 MRI に特徴的な所見を認めたサルモネラ脳症の 1 例**
○青木雄介¹, 寺本貴英², 大西秀典², 久保田一生², 折居建治², 加藤善一郎², 深尾敏幸², 近藤直実²
長良医療センター小児科¹, 岐阜大学大学院小児病態学²
- O-172 MRI で異常を認めず, SPECT が診断に有用であった急性脳炎の臨床画像的検討**
○温井めぐみ¹, 川脇 壽¹, 九鬼一郎¹, 服部妙香¹, 井上岳司¹, 岡崎 伸¹, 天羽清子², 外川正生², 塩見正司³, 富和清隆⁴
大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 同 小児救急科², 同 感染症センター³, 京都大学大学院遺伝カウンセラーコーディネーターユニット⁴
- O-173 小児の急性小脳炎における頭部 MRI および SPECT 画像の検討**
○田中 学¹, 浜野晋一郎¹, 折津友隆¹, 小一原玲子¹, 菊池健二郎¹, 南谷幹之²
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 同 保健発達部²
- O-174 ECD-SPECT により島に異常を認めた非ヘルペス性辺縁系脳炎の 3 例**
○鈴木俊彦¹, 夏目 淳¹, 横井撰理¹, 中田智彦¹, 石原尚子¹, 根来民子¹, 渡邊一功², 林 雅晴³
名古屋大学附属病院小児科¹, 愛知淑徳大学医療福祉学部², 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生³
- 10:40~11:20 急性脳炎・脳症 8 (新型インフルエンザ脳炎・脳症) …………… (S278)**
座長 山内秀雄 (埼玉医科大学小児科)
今村 淳 (岐阜県総合医療センター小児科)
- O-175 神経症状を認めた新型インフルエンザ (H1N1) 患者 14 例の脳波の有効性の検討**
○宮部由利, 高尾木綿子, 長坂美和子, 李 知子, 起塚 庸, 橋本直樹, 西野昌光
社会医療法人愛仁会高槻病院小児科
- O-176 新型インフルエンザによる急性脳症の臨床的検討**
○渡辺好宏, 安西里恵, 露崎 悠, 辻 恵, 鮫島希代子, 和田敬仁, 井合瑞江, 山下純正, 小坂 仁
神奈川県立こども医療センター神経内科
- O-177 新型インフルエンザ関連脳症の臨床像**
○奥村彰久¹, 辻 健史², 久保田哲夫³, 山下進太郎⁴, 平岩朋子⁵, 新島新一⁴, 清水俊明¹
順天堂大学小児科¹, 岡崎市民病院小児科², 安城更生病院小児科³, 順天堂大学付属練馬病院小児科⁴, 中京病院小児科⁵

- O-178 新型インフルエンザ (2009H1N1) 感染に伴い発症した全脳梁と白質に可逆性病変を有する軽症脳症の 1 男児例
 ○千手絢子¹, 下野昌幸¹, 石井雅宏¹, 塩田直樹²
 産業医科大学小児科¹, 宇部興産株式会社健康管理センター²
- 11:20~12:00 急性脳炎・脳症 9 (治療・予後) (S280)
 座長 長 和彦 (北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター)
 渡邊健二 (国立病院機構南九州病院小児科)
- O-179 全身麻酔下での脳低温/平温療法は難治性てんかん重積で発症する急性脳症による神経学的後遺症を低減する
 ○中川 拓¹, 永瀬裕朗², 丸山あずさ², 佐治洋介¹, 藤田杏子²
 兵庫県立こども病院救急集中治療科¹, 同 脳神経内科²
- O-180 当院における脳低温療法 43 症例の検討
 ○武下草生子¹, 市川和志¹, 増田由香¹, 大山宜孝¹, 根津敦夫²
 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 横浜療育医療センター神経小児科²
- O-181 二相性けいれんと遅発性拡散能低下を伴う急性脳症の予後予測因子・治療効果の検討
 ○林 直子¹, 奥村彰久², 久保田哲夫³, 辻 健史⁴, 城所博之⁵, 夏目 淳¹, 早川文雄⁴
 名古屋大学小児科¹, 順天堂大学小児科², 安城更生病院小児科³, 岡崎市民病院小児科⁴, ワシントン大学小児科⁵
- O-182 急性脳症後遺症の長期予後
 ○栗原まな^{1,2}, 小萩沢利孝^{1,2}, 飯野千恵子¹, 高橋佳代子^{1,2}, 矢嶋 幹¹, 井田博幸²
 神奈川県総合リハビリテーションセンター小児科¹, 東京慈恵会医科大学小児科²
- 12:10~13:00 ランチョンセミナー 10: 大日本住友製薬株式会社 (S150)
 子どもの生活に根ざしたてんかん診療を目指して—診断から治療の終了まで
 座長 山野恒一 (大阪市立大学大学院発達小児医学名誉教授)
 講演 岡 明 (杏林大学小児科)
- 13:10~14:10 画像 3 (S282)
 座長 森本昌史 (京都府立医科大学大学院小児発達医学)
 熊田聡子 (都立神経病院神経小児科)
- O-183 小児神経線維腫症 (NF1) における中枢神経病変の神経放射線学的検討
 ○今村 淳¹, 岩井明日香¹, 寺澤厚志¹, 三浦良介¹, 松尾直樹¹, 伊藤玲子¹, 折居恒治^{1,2}
 岐阜県総合医療センター小児科¹, 折居クリニック²
- O-184 神経線維腫症 1 型の診断基準と頭部 MRI における unidentified bright object (UBO) の関連性について
 ○下村英毅, 藤井達哉, 宮嶋智子, 熊田知浩, 木村暢佑, 小田 望, 齊藤景子
 滋賀県立小児保健医療センター小児科
- O-185 潜因性 West 症候群における Diffusion Tensor 画像 (DTI) を用いた白質線維束の FA と ADC の検討
 ○深沢達也¹, 山本啓之¹, 久保田哲夫¹, 中田智彦², 夏目 淳², 生田岳人³, 奥村彰久⁴, 根来民子⁵, 渡邊一功⁶
 安城更生病院小児科¹, 名古屋大学小児科², 愛知県青い鳥医療福祉センター小児科³, 順天堂大学小児科⁴, 岡崎女子短期大学人間福祉学科⁵, 愛知淑徳大学医療福祉学部⁶
- O-186 Tractography を用いた脳室周囲白質軟化症 (PVL) 児における皮質脊髄路・小脳脚の解析 (第 2 報)
 ○長谷川龍志¹, 戸澤雄紀¹, 磯田賢一¹, 河合亜紀¹, 短田浩一², 千代延友裕¹, 徳田幸子¹, 西村 陽¹, 吉田菜穂子³, 森本昌史¹
 京都府立医科大学大学院小児発達医学¹, 国立病院機構舞鶴医療センター小児科², 聖ヨゼフ医療福祉センター小児科³
- O-187 小児大脳型副腎白質ジストロフィー患者脳の発症極早期からの経時的評価
 —3.0 テスラ MR 装置による拡散テンソル画像法と ¹H-MRSI 解析—
 ○山田謙一, 鈴木雄治, 清水満美, 中田 力
 新潟大学脳研究所統合脳機能研究センター
- O-188 Pontine tegmental cap dysplasia の本邦初例
 ○湯浅正太, 高梨潤一
 亀田メディカルセンター小児科

14:10~15:10 画像 4 (S285)

座長 山本 仁 (聖マリアンナ医科大学小児科)
椎原弘章 (あしかがの森足利病院神経小児科)

O-189 MRI 上脳梁膨大部病変を有する症例の画像所見の変化

○神山八弓^{1,2}, 藤田之彦¹, 木村育子¹, 石井和嘉子¹, 今井由生¹, 遠藤あゆみ¹, 荒川千賀子¹,
小平隆太郎¹, 洲上達夫¹, 中空真二郎², 荷見博樹², 麦島秀雄¹
日本大学小児科¹, 都立広尾病院小児科²

O-190 虐待による頭部外傷 6 例の臨床的検討

○二之宮信也^{1,2}, 城谷吾郎^{1,2}, 中村紀子^{1,2}, 川谷恵里^{1,2}, 石井敦士^{1,2}, 藤田貴子², 森島直美^{1,2},
鶴澤礼美¹, 林 仁美¹, 井手口博², 井上貴仁², 安元佐和², 小川 厚¹, 廣瀬伸一²
福岡大学筑紫病院小児科¹, 福岡大学病院小児科²

O-191 熱性けいれん重積の急性期における視床の関与—MRI volumetric study—

○中田智彦¹, 夏目 淳¹, 深沢達也², 平岩文子³, 丸山幸一⁴, 根来民子¹, 渡邊一功⁵
名古屋大学小児科¹, 安城更生病院小児科², 平岩病院小児科³, 愛知県心身障害者コロニー中央病
院小児神経科⁴, 愛知淑徳大学医療福祉学部⁵

O-192 機能的 MRI を用いた思春期の慢性疲労による注意配分機能低下の神経基盤に関する検討

○水野 敬¹, 川谷淳子², 上土井貴子², 友田明美², 三池輝久³
理化学研究所分子イメージング科学研究センター分子プローブ動態応用研究チーム¹, 熊本大学大
学院小児発達学², 兵庫県立総合リハビリテーションセンターリハビリテーション中央病院長子ども
の睡眠と発達医療センター³

O-193 小児神経疾患における ¹²³I iomazenil SPECT 所見の経時的変化

○九鬼一郎¹, 川脇 壽¹, 岡崎 伸¹, 温井めぐみ¹, 井上岳司¹, 天羽清子², 外川正生², 塩見正司³,
富和清隆⁴

大阪市立総合医療センター小児神経内科¹, 同 小児救急科², 同 感染症センター³, 京都大学大
学院遺伝カウンセラーコーディネーターユニット⁴

O-194 ADHD の不安障害と外傷体験による不安障害の鑑別に ¹²³I iomazenil SPECT は有用か?

○永光信一郎, 澁谷郁彦, 原 宗嗣, 大矢崇志, 山下裕史朗, 松石豊次郎
久留米大学小児科

19:00~21:00 イブニングセミナー 5 (S169)

脳性麻痺のボツリヌス治療—問題症例検討会: よりよい下肢痙縮治療を目指して (薬事委員会主催)

座長 根津敦夫 (横浜療育医療センター神経小児科)
高橋保彦 (九州厚生年金病院小児科)

- 1) 痙直型両麻痺および片麻痺児でのボツリヌス治療の有効性の検討—当センターでの経験から—
吉田菜穂子 (聖ヨゼフ医療福祉センター小児科)
- 2) 小児脳性麻痺下肢痙縮に対するボトックス投与の経験
足立昌夫 (加古川市民病院小児科)
- 3) 小児脳性麻痺の尖足に対する A 型ボツリヌス毒素治療の長期予後
根津敦夫, 青山晴彦, 唐沢久美子, 岩本弘子, 筑丸ゆり, 金子かおり, 黒澤真紀子, 松尾多希子
(横浜療育医療センター神経小児科)
- 4) 痙性マヒ小児の下肢痙縮に対する A 型ボツリヌス毒素療法
高橋保彦 (九州厚生年金病院小児科)
- 5) 指定発言
東條 恵 (新潟県はまぐみ小児療育センター小児科)

第 2 日目 ポスター会場

16:50~17:20 発達障害 12 (健診・支援) (S397)

座長 益山龍雄 (都立東部療育センター小児神経科)
金村英秋 (山梨大学小児科)

P-145 5 歳児健診とその後のフォローアップについて (第 1 報)

○野邑健二
名古屋大学発達心理精神科学教育研究センター

- P-146 5 歳児健診における視覚認知課題の有用性**
 ○稲葉雄二¹, 新美妙美¹, 西村貴文¹, 三澤由佳¹, 石田岳史¹, 福山哲広¹, 樋口 司¹, 滝 芳樹²
 信州大学小児科¹, 滝小児科医院²
- P-147 注意欠陥多動性障害 (ADHD) 小児の機能障害調査**
 ○山下裕史朗¹, 小枝達也², 平谷美智夫³, 石崎朝世⁴, 林 隆⁵, 松石豊次郎¹
 久留米大学小児科¹, 鳥取大学地域学部地域教育学科発達科学², 平谷こども発達クリニック³, 発達協会王子クリニック⁴, 山口県立大学看護栄養学部⁵
- P-148 自閉症スペクトラム障害 (ASD) のきょうだい児に対する支援の試み**
 ○川谷正男
 福井大学小児科
- P-149 不登校状態の高機能広汎性発達障害児への心理面接**
 ○山本知加¹, 酒井佐枝子², 吉崎亜里香¹, 辰巳愛香¹, 下野九理子², 橋 雅弥¹, 加藤久美³, 毛利育子^{1,2}, 谷池雅子^{1,2}
 大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究科小児発達学専攻², 特定医療法人愛仁会太田総合病院記念研究所附属診療所太田睡眠科学センター³
- P-150 総合病院小児科における発達外来受診児のまとめ**
 ○中野加奈子
 六甲アイランド病院小児科

17:20~17:50 発達障害 13 (親訓練・支援) (S400)

座長 真田 敏 (岡山大学大学院教育学研究科発達支援学)
 原 仁 (横浜市中部地域療育センター)

- P-151 福井県における発達障害児支援方策検討チームの調査結果からみえた福井県こども療育センターの課題**
 ○津田明美, 坂後恒久
 福井県こども療育センター小児科
- P-152 特別支援教育現場における小児神経科医の役割**
 ○中村由紀子^{1,2}, 島崎真希子¹, 小松祐美子¹, 三輪真美¹, 別所文雄¹, 岡 明¹, 田辺恵美², 田中容子²
 杏林大学小児科¹, 三鷹市教育委員会学務課総合教育相談窓口²
- P-153 国際生活機能分類児童版 ICF-CY とケータイを用いた気付きな児童のための支援システム**
 ○中井昭夫¹, 小越康宏², 川谷正男¹, 三橋美典³
 福井大学小児科¹, 同 大学院工学研究科², 同 教育地域科学部発達科学講座³
- P-154 発達障害児の保護者に対するペアレントトレーニングの効果の検討**
 ○野村和代¹, 井上雅彦², 大野耕策³, 前垣義弘³, 近藤章子³, 藤井裕士³
 鳥取大学大学院¹, 同 大学院臨床心理学², 同 脳神経小児科³
- P-155 親訓練を行った注意欠陥多動性障害児の行動変容の検討**
 ○本山和徳, 松坂哲應, 松尾光弘, 長岡珠緒
 長崎県立こども医療福祉センター小児科
- P-156 広汎性発達障害をもつ子どもの親へのペアレントトレーニング (短縮型) の有効性の検討—2 年間の実施結果—**
 ○奥野裕子¹, 毛利育子^{1,2}, 谷池雅子^{1,2}, 酒井佐枝子^{1,2}, 山本知加¹, 吉崎亜里香¹, 加藤久美³, 橋 雅弥¹, 村田絵美¹, 辰巳愛香¹, 永井利三郎^{1,4}
 大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 同 連合小児発達学研究科², 特定医療法人愛仁会太田総合病院記念研究所附属診療所太田睡眠科学センター³, 大阪大学大学院保健学専攻⁴

17:50~18:20 発達障害 14, その他 (S403)

座長 古荘純一 (青山学院大学教育人間科学部教育学科)
 家島 厚 (茨城県立こども福祉医療センター)

- P-157 発達障害児の短期集中入院における心理的支援の試み 1 一対象児と養育者の特性理解と関係調整に注目して—**
 ○酒井佐枝子¹, 山本知加², 吉崎亜里香², 辰巳愛香², 下野九理子¹, 橋 雅弥², 毛利育子^{1,2}, 谷池雅子^{1,2}
 大阪大学大学院連合小児発達学研究科¹, 同 子どものこころの分子統御機構研究センター²

- P-158 発達障害児の短期集中入院における心理的支援の試み 2—療育の連携の重要性を示す 1 症例—**
 ○辰巳愛香¹, 酒井佐枝子², 山本知加¹, 吉崎亜里香¹, 下野九理子², 橋 雅弥², 毛利育子^{1,2}, 谷池雅子^{1,2}
 大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学
 連合小児発達学研究所小児発達学専攻²
- P-159 発達障害児の短期集中入院における心理的支援の試み 3**
—ビデオフィードバックを用いた養育者への関わり方指導の 1 症例—
 ○吉崎亜里香¹, 山本知加¹, 酒井佐枝子², 辰巳愛香¹, 下野九理子², 橋 雅弥¹, 毛利育子^{1,2}, 谷池雅子^{1,2}
 大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学
 連合小児発達学研究所小児発達学専攻²
- P-160 髄液蛋白細胞解離を認めたナルコレプシーの 1 例**
 ○澁谷郁彦¹, 原 宗嗣¹, 大矢崇志¹, 永光信一郎¹, 山下裕史朗¹, 内村直尚², 松石豊次郎¹
 久留米大学小児科¹, 同 精神科²
- P-161 島根大学医学部附属病院長子どものこころ診療部の受診状況**
 ○岸 和子¹, 内田由里¹, 美根 潤¹, 瀬島 齊², 山口清次¹
 島根大学小児科¹, 松江赤十字病院小児科²
- P-162 ジストニア様の上肢・下肢の強直, 構音障害を呈し, 転換性障害が疑われる女児例**
 ○釜菟桂子¹, 桑島 信¹, 村松一洋², 浦野葉子², 荒川浩一²
 桐生厚生総合病院小児科¹, 群馬大学小児科²
- 16:50~17:30 てんかん・けいれん 9 (症例・病態) (S406)**
 座長 藤田之彦 (日本大学医学教育企画・推進室)
 麻生幸三郎 (愛知県青い鳥医療福祉センター)
- P-163 てんかんにバセドウ病を併発した 2 症例**
 ○永木 茂, 大澤真木子
 東京女子医科大学病院小児科
- P-164 軽症胃腸炎に伴うけいれんにおける代謝性アシドーシスを伴った症例の臨床的検討**
 ○井上貴仁, 井原由紀子, 友納優子, 井手口博, 安元佐和, 廣瀬伸一
 福岡大学小児科
- P-165 電位依存性ナトリウムチャンネル $\beta 1$ (SCN1B) 遺伝子にホモ接合型変異を認めた Dravet 症候群 1 症例**
 ○荻原郁夫¹, 中山東城^{1,2}, 芳村勝城³, 藤原建樹³, 井上有史³, 山川和弘¹
 理化学研究所脳科学総合研究センター神経遺伝研究チーム¹, 東北大学大学院小児病態学², 国立病
 院機構静岡てんかん・神経医療センター³
- P-166 X 連鎖性滑脳症—脳梁欠損と外性器異常症 (XLAG) の 2 例—**
 ○榎園 崇, 大戸達之, 田中竜太, 須磨崎亮
 筑波大学小児科
- P-167 早期ミオクロニー脳症を発症した DEND 症候群の 1 例**
 ○伊藤幸栄, 鈴木 悠, 富沢尚子, 新井麻子, 鈴木恵子, 松岡尚史, 上田 哲, 梅津亮二, 杉原茂孝
 東京女子医科大学東医療センター小児科
- P-168 てんかんの一般的知識に関するアンケート—診療所に対するアンケート調査結果—**
 ○杉浦信子^{1,2}, 小貫 悟³, 平野浩一⁴, 小沢 浩^{1,5}
 京王八王子クリニック小児科¹, NTT 東日本関東病院小児科², 明星大学人文学部心理・教育学科³,
 浜松医科大学小児科⁴, 島田療育センター支援部⁵
- P-169 臭化カリウムが小発作重積に有効であった Wolf-Hirschhorn 症候群の 1 例**
 ○太田正康, 来住 修
 総合病院取手協同病院小児科
- P-170 痙攣重積後の成熟ラット海馬における炎症性サイトカイン発現の組織学的・定量的検討**
 ○佐久間悟^{1,2}, 横井俊明¹, 服部英司¹, 松岡 収¹, 山野恒一¹
 大阪市立大学大学院発達小児医学¹, 西宮市立中央病院小児科²
- 17:30~18:10 てんかん・けいれん 10 (治療 3) (S410)**
 座長 小西 徹 (長岡療育園)
 豊島光雄 (鹿児島大学小児科)

- P-171 **難治てんかんに対する Lamotrigine の使用経験**
 ○根津敦夫, 青山晴彦, 唐澤久美子, 岩本弘子, 筑丸ゆり, 金子かおり, 黒澤真紀子, 松尾多希子
 横浜療育医療センター神経小児科
- P-172 **小児期発症難治性てんかんに対する lamotrigine の使用経験**
 ○足立昌夫, 親里嘉展, 西山敦史, 村瀬真紀, 石田明人
 加古川市民病院小児科
- P-173 **トピラマートが無効であった難治性てんかんに対するラモトリギンの有用性**
 ○田中智子, 荒木 敦, 鈴川純子, 金子一成
 関西医科大学小児科
- P-174 **ラモトリギンの発作抑制および副作用と血中濃度**
 ○田中正樹
 田中神経クリニック
- P-175 **問題行動を伴うてんかん患者におけるラモトリギンの効果について**
 ○スピヤントケイジ, 佐竹宏之, 権藤健二郎
 福岡市立こども病院小児神経科
- P-176 **Flumazenil-PET 所見の変化からみたケトン食の抗痙攣作用についての考察**
 ○熊田知浩, 宮嶋智子, 木村暢佑, 小田 望, 下村英毅, 齊藤景子, 藤井達哉
 滋賀県立小児保健医療センター小児科
- P-177 **本邦におけるてんかん重積状態の現状—WEB 調査結果から—**
 ○中川喜雄¹, 林 雅晴², 山本 仁³
 ノーベルファーマ株式会社営業本部¹, 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生², 聖マリアンナ
 医科大学小児科³
- P-178 **当科における難治性てんかんに対する臭化カリウム (KBr) の使用経験**
 ○伊藤 進¹, 小国弘量¹, 坂内優子¹, 舟塚 真¹, 林 北見^{1,2}, 大澤真木子¹
 東京女子医科大学小児科¹, 同 八千代医療センター小児科²
- 16:50~17:45 **代謝変性疾患 5 (糖原病・コケイン症候群・白質変性) …………… (S414)**
座長 乾 幸治 (いぬいこどもクリニック)
沢石由記夫 (秋田県立医療療育センター小児科)
- P-179 **脳底動脈瘤離断から死亡に至った若年型 Pompe 病の 1 例**
 ○石田修一
 NHO まつもと医療センター中信松本病院小児科
- P-180 **慢性呼吸不全に対して酵素補充療法が有効だった小児型ポンペ病の 1 例**
 ○塩浜 直¹, 藤井克則¹, 須山麻衣子¹, 杉田克生¹, 福田冬季子², 杉江秀夫², 河野陽一¹
 千葉大学大学院小児病態学¹, 自治医科大学小児科²
- P-181 **加齢に伴い筋症状が増悪した phosphoglycerate kinase (PGK) 欠損症の 1 男性例**
 ○宮本 健¹, 鈴木輝彦², 遠藤雄策², 平野浩一², 大関武彦²
 共立湖西総合病院小児科¹, 浜松医科大学小児科²
- P-182 **McArdle 病の重症度と ACE の多型との関係**
 ○長嶋雅子¹, 福田冬季子¹, 杉江陽子², 森 雅人¹, 山形崇倫¹, 杉江秀夫¹, 桃井真里子¹
 自治医科大学小児科¹, 浜松医科大学小児科²
- P-183 **A 群色素性乾皮症と Cockayne 症候群の剖検脳での Thymidine glycol の蓄積**
 ○林 雅晴, 宮田理英, 田沼直之
 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生
- P-184 **Cockayne 症候群剖検脳での脳血管病変の解析**
 ○三輪菜穂¹, 林 雅晴², 田沼直之¹, 久保田雅也³
 都立府中療育センター小児科¹, 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生², 国立成育医療センター
 神経内科³
- P-185 **色素性乾皮症・Cockayne 症候群における尿中酸化ストレスマーカー解析**
 ○田沼直之^{1,2}, 宮田理英³, 林 雅晴², 久保田雅也⁴, 杉田克生⁵, 金子節子⁶, 荒木 聡⁶, 百崎 謙⁷,
 大野耕策⁷
 都立府中療育センター小児科¹, 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生², 東京北社会保険病院
 小児科³, 国立成育医療センター神経内科⁴, 千葉大学教育学部基礎医科学⁵, 東京医科歯科大学小
 児科⁶, 鳥取大学脳神経小児科⁷

- P-186** コケイン症候群 3 型双胎例に見られた不随意運動の解析
 ○熊田聡子¹, 久保田雅也², 古山晶子², 奥村さやか², 柏井洋文², 星野英紀², 林 雅晴³
 都立神経病院神経小児科¹, 国立成育医療センター神経内科², 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生³
- P-187** MLC1 遺伝子 exon5 中 17 塩基欠失由来終止コドン出現に基づく
Megalencephalic leukoencephalopathy with subcortical cysts の 1 例
 ○西條晴美¹, 江添隆範¹, 武田佳子¹, 濱口 弘¹, 鈴木文晴¹, 沢石由記夫², 倉田清子¹
 都立東大和療育センター小児科¹, 秋田県小児療育センター小児科²
- P-188** 水頭症, 白質病変, 末梢神経障害を呈した 5,10-methylenetetrahydrofolate reductase 欠損症の 1 乳児例
 ○辻 恵, 渡辺好宏, 鮫島希代子, 和田敬仁, 井合瑞江, 山下純正, 小坂 仁
 神奈川県立こども医療センター神経内科
- P-189** MCT8 欠損症の Pelizaeus-Merzbacher-like disease としての再評価
 ○沢石由記夫^{1,2}, 平山 文¹, 豊野美幸², 矢野珠巨²
 秋田県小児療育センター小児科¹, 秋田大学小児科²

17:45~18:25 代謝変性疾患 6 (その他) (S419)

座長 櫻庭 均 (明治薬科大学分析化学・臨床遺伝学)
 加藤善一郎 (岐阜大学大学院小児病態学)

- P-190** 14-3-3 protein の基礎と臨床 Part 1 リン酸化によるアポトーシス調節機構の解明
 ○藤井克則, 遠藤真美子, 内川英紀, 水落弘美, 須山麻衣子, 塩浜 直, 田辺 良, 杉田克生, 河野陽一
 千葉大学大学院小児病態学
- P-191** 14-3-3 protein の基礎と臨床 Part 2 キナーゼを介したアポトーシス調節機構の解明
 ○藤井克則, 遠藤真美子, 内川英紀, 水落弘美, 須山麻衣子, 塩浜 直, 田辺 良, 杉田克生, 河野陽一
 千葉大学大学院小児病態学
- P-192** 14-3-3 protein の基礎と臨床 Part 3 臨床総論—小児神経疾患における髄液中検出の意義と病因解明—
 ○遠藤真美子¹, 藤井克則¹, 内川英紀¹, 水落弘美¹, 須山麻衣子¹, 塩浜 直¹, 田辺 良¹, 小俣 卓², 大曾根義輝³, 杉田克生¹, 河野陽一¹
 千葉大学大学院小児病態学¹, 千葉県こども病院神経科², 君津中央病院新生児科³
- P-193** 14-3-3 protein の基礎と臨床 Part 4 臨床各論—脳炎脳症/小脳/変性疾患での有用性—
 ○遠藤真美子, 藤井克則, 内川英紀, 水落弘美, 須山麻衣子, 塩浜 直, 田辺 良, 杉田克生, 河野陽一
 千葉大学大学院小児病態学
- P-194** 高アンモニア脳症で発症した遅発型 OTC 欠損症に対するステロイドパルス療法の経験
 ○小柳喬幸, 高橋 努
 済生会宇都宮病院小児科
- P-195** 脳梁の菲薄化を伴う遺伝性痙性対麻痺の姉妹例
 ○市川和志¹, 武下草生子¹, 大山宜孝¹, 亀田聡子¹, 増田由香¹, 小坂 仁²
 横浜市立大学附属市民総合医療センター小児総合医療センター¹, 神奈川県立こども医療センター神経内科²
- P-196** モリブデン補酵素欠損症の同胞例
 ○田村 彰, 木岡直美, 南 弘一, 吉川徳茂
 和歌山県立医科大学小児科
- P-197** ホモ型家族性高コレステロール血症に高血圧性脳症を合併した 1 例
 ○杉山延喜, 横山淳一, 池上真理子, 宮下好洋, 松田晋一
 東海大学小児科

16:50~17:35 急性脳炎・脳症 10 (けいれん重積・グルタミン酸受容体) (S423)

座長 富和清隆 (京都大学大学院遺伝カウンセラーコーディネータユニット)
 平林伸一 (長野県立こども病院神経科)

- P-198** 痙攣重積型急性脳症の臨床経過
 ○内野俊平^{1,2}, 水野葉子¹, 岩崎博之¹, 高橋 寛¹, 斉藤真木子², 水口 雅²
 東京大学小児科¹, 同 大学院国際生物医科学講座発達医科学²

- P-199 痙攣重積の既往をもち CPT2 遺伝子変異が判明した急性脳症の 1 女児例
○安西有紀¹, 大矢達男¹, 木戸 博²
済生会横浜市東部病院小児科¹, 徳島大学応用酵素疾患代謝研究部門²
- P-200 けいれん重積型脳症発症 1 年後に臨床的 Reye 症候群を引き起こした結節性硬化症の 1 例
○菊地正広, 石踊 巧
日立総合病院小児科
- P-201 けいれん重積型急性脳症の 2 例
○白神浩史
国立病院機構岡山医療センター小児科
- P-202 けいれん重積型急性脳症に対するシクロスポリン, デキストロメトルフアン併用療法の有効性の検討
○前田寿幸, 松尾宗明
佐賀大学小児科
- P-203 NMDA 型グルタミン酸受容体サブユニットに対する新たな自己抗体スクリーニング系の確立と患者血清を用いた検討
○高野志保¹, 高橋幸利², 森 寿¹
富山大学大学院分子神経科学¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-204 卵巣奇形腫を伴った抗グルタミン酸受容体 (GluR) 抗体陽性辺縁系脳炎の 1 例
○鳥袋陽子¹, 大府正治¹, 崎原徹裕¹, 高橋幸利²
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-205 ステロイドパルス療法が有効であった抗グルタミン酸受容体 (GluR) 抗体陽性脳炎の 1 例
○崎原徹裕^{1,2}, 大府正治¹, 鳥袋陽子¹, 高橋幸利²
沖縄県立南部医療センター・こども医療センター小児神経科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-206 抗 NMDA 受容体抗体陽性急性辺縁系脳炎の 13 歳女児例
○根岸 豊¹, 濱口貴代¹, 小林 悟², 安藤直樹², 伊藤哲哉², 戸刈 創², 高橋幸利³
岐阜県立多治見病院小児科¹, 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学², 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科³
- 17:35~18:20 急性脳炎・脳症 11, 血管障害 1…………… (S428)
座長 糸数直哉 (どんぐりこども診療所)
杉浦千登勢 (鳥取大学脳神経小児科)
- P-207 MRI にて帯状回に異常信号域を認めた非ヘルペス性辺縁系脳炎の 5 歳女児例
○松分久美子, 吉岡誠一郎, 高野知行, 竹内義博
滋賀医科大学小児科
- P-208 難治性痙攣, 意識障害を呈し, 非ヘルペス性辺縁系脳炎と診断した 1 例
○中村康子¹, 松本 浩¹, 高橋幸利²
防衛医科大学病院小児科¹, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科²
- P-209 PLEDs を呈し著明な肝障害を合併した Reye-like 症候群の 1 例
○長坂美和子, 高尾木綿子, 宮部由利, 起塚 庸, 橋本直樹, 西野昌光
愛仁会高槻病院小児科
- P-210 急性散在性脳脊髄炎における臨床経過と診断確定までの日数の検討
○小俣 卓¹, 新井ひでえ¹, 田邊雄三^{1,2}, 本島敏乃^{1,3}
千葉県こども病院神経科¹, そがこどもクリニック², 本島病院小児科³
- P-211 2 相性臨床経過を呈した急性脳症の 2 例
○福井美保¹, 島川修一¹, 田辺卓也², 野村昇平¹, 柏木 充², 玉井 浩¹
大阪医科大学小児科¹, 市立枚方市民病院小児科²
- P-212 自然寛解した特発性脊髄硬膜外血腫の 1 例
○東川幸嗣
清恵会病院小児科
- P-213 片麻痺を呈する presumed perinatal ischemic stroke の臨床像
○佐竹宏之, スビヤントケイジ, 権藤健二郎
福岡市立こども病院小児神経科

- P-214 左内頸動脈欠損と同側の先天性扁桃腫瘍を合併した乳児例
○久保田弘樹¹, 矢野珠巨¹, 豊野美幸¹, 沢石由記夫²
秋田大学大学院小児科学¹, 秋田県小児療育センター小児科²
- P-215 環状紅斑および肝機能障害で経過観察中に多発脳梗塞を発症した 2 歳男児
○酒井哲郎¹, 井熊大輔¹, 星野正也¹, 中野裕史¹, 山内秀雄¹, 大竹 明¹, 倉持 朗²
埼玉医科大学病院小児科¹, 同 皮膚科²

16:50~17:35 感染・免疫 3..... (S432)

座長 吉岡 博 (よしおかこどもクリニック)
沖永剛志 (大阪大学大学院小児科学)

- P-216 HHV6 脳症回復期の症状に対し TRH 療法が有効であった 2 例
○氏家 舞¹, 吉成 聡¹, 浜野晋一郎², 井田博幸¹
東京慈恵会医科大学小児科¹, 埼玉県立小児医療センター神経科²
- P-217 新生児ヘルペス脳炎後の脳軟化症において嚢胞が急速に拡大した 1 例
○橋本祐至¹, 藤井克則², 安斎 聡¹
千葉市立海浜病院小児科¹, 千葉大学大学院小児病態学²
- P-218 幼年期発症の難治な多発性硬化症に対し cyclophosphamide パルス療法を施行した 1 例
○池田 妙¹, 岩谷祥子¹, 北井征宏², 橋 雅弥^{1,3}, 富永康仁^{1,3}, 下野九理子^{1,4}, 沖永剛志¹, 永井利三郎⁵, 大藪恵一¹
大阪大学大学院小児科学¹, 森之宮病院小児神経科², 大阪大学子どものこころの分子統御機構研究センター³, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所⁴, 大阪大学大学院保健学⁵
- P-219 新生児期に診断した先天性サイトメガロウイルス感染症の 2 例
○板倉文子¹, 大野光洋¹, 加藤文英², 近藤章子³, 大野耕策³
鳥根県立中央病院小児科¹, 同 新生児科², 鳥取大学脳神経小児科³
- P-220 バルガンシクロビルが奏効した先天性サイトメガロウイルス感染症の 1 例
○石田 悠^{1,2}, 宮島 祐¹, 志村 優¹, 森地振一郎¹, 森島靖行¹, 五百井寛明², 小穴信吾¹, 山中 岳¹, 河島尚志¹, 星加明德¹
東京医科大学小児科¹, 同 八王子医療センター²
- P-221 保存臍帯より後方視的に診断した先天性サイトメガロウイルス感染症の臨床的検討
○沖永剛志¹, 池田 妙¹, 岩谷祥子¹, 富永康仁¹, 下野九理子^{1,2}, 宮川広実³, 永井利三郎⁴, 大藪恵一¹
大阪大学大学院小児科学¹, 大阪大学・金沢大学・浜松医科大学連合小児発達学研究所², 大阪府立公衆衛生研究所³, 大阪大学大学院生命育成看護科学⁴
- P-222 広範な大脳皮質層状壊死を合併した細菌性髄膜炎の 1 例
○豊野美幸¹, 矢野珠巨¹, 渡部泰弘¹, 沢石由記夫², 小泉ひろみ³
秋田大学大学院小児科学¹, 秋田県小児療育センター小児科², 市立秋田総合病院小児科³
- P-223 両側高度感音性難聴を合併したインフルエンザ桿菌髄膜炎の MRI 画像所見
○平野浩一¹, 鈴木輝彦¹, 遠藤雄策^{1,2}, 宮本 健^{1,3}, 大関武彦¹
浜松医科大学小児科¹, 浜松市発達医療総合センター小児科², 共立湖西総合病院小児科³
- P-224 人工内耳手術を要したインフルエンザ桿菌髄膜炎の男児例
○塚田佳子, 今高城治, 有阪 治
獨協医科大学小児科

17:35~18:20 感染・免疫 4..... (S437)

座長 権藤健二郎 (福岡市立こども病院小児神経科)
武藤順子 (東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

- P-225 内科的治療にて軽快した脳膿瘍の 1 例
○久保田一生, 寺本貴英, 青木雄介, 船戸道徳, 折居建治, 加藤善一郎, 深尾敏幸, 近藤直実
岐阜大学大学院小児病態学
- P-226 慢性 GVHD 経過中に運動障害を呈し筋膜炎・筋炎, 関節拘縮, 骨病変をきたした 1 男児例
○井原由紀子¹, 友納優子¹, 井手口博¹, 井上貴仁¹, 安元佐和¹, 稲垣二郎², 永利義久², 廣瀬伸一¹
福岡大学小児科¹, 国立病院機構九州がんセンター²
- P-227 高中性脂肪血症を認め, 急性隣炎を発症した重症心身障害児の 1 例
○横山淳史^{1,2}, 藤井裕士², 近藤章子², 前垣義弘², 大野耕策²
鳥根県立中央病院小児科¹, 鳥取大学脳神経小児科²

- P-228 対照的な経過をたどった悪性症候群の 2 例
○赤池洋人
川崎医科大学小児科
- P-229 フェノバルビタール投与中に非典型 DIHS を合併した 2 例
○志村 優¹, 山中 岳¹, 小穴信吾¹, 森地振一郎¹, 石田 悠¹, 五百井寛明², 河島尚志¹, 宮島 祐¹, 星加明德¹
東京医科大学小児科¹, 同 八王子医療センター小児科²
- P-230 中枢神経変性病変を持つランゲルハンス細胞組織球症例の臨床経過および免疫学的検討
○福山哲広¹, 西村貴文¹, 石田岳史¹, 稲葉雄二¹, 小池健一¹, 石田修一², 樋口 司³
信州大学小児医学¹, NHO まつもと医療センター中信松本病院小児科², 長野県立須坂病院小児科³
- P-231 不随意運動を主症状とした自己免疫性脳炎の 6 歳女児例
○折津友隆¹, 浜野晋一郎¹, 南谷幹之², 田中 学¹, 菊池健二郎¹, 小一原玲子¹, 井田博幸³
埼玉県立小児医療センター神経科¹, 同 保健発達部², 東京慈恵会医科大学小児科³
- P-232 両側基底核病変を呈した Mycoplasma 髄膜炎の 1 女児例
○上野大蔵¹, 平野浩一¹, 鈴木輝彦¹, 遠藤雄策^{1,2}, 宮本 健^{1,3}, 大関武彦¹
浜松医科大学小児科¹, 浜松市発達医療総合センター小児科², 共立湖西総合病院小児科³
- P-233 新規抗てんかん薬ラモトリギン使用中に発症した薬剤過敏症候群 (Drug-induced hypersensitivity syndrome : DIHS) の 1 例
○里 龍晴¹, 森内浩幸¹, 松坂哲應², 津留 陽³, 国場英雄¹
長崎大学付属病院小児科¹, 長崎県立こども医療福祉センター小児科², 国立病院機構長崎病院小児科³

16:50~17:25 奇形・染色体異常 1 (S441)

座長 柿沼宏明 (千葉市桜木園)
柳川敏彦 (和歌山県立医科大学保健看護学部)

- P-234 てんかんを合併した在宅管理中の標準型 13 トリソミーの 1 例
○石井和嘉子, 藤田之彦, 神山八弓, 木村育子, 今井由生, 遠藤あゆみ, 荒川千賀子, 小平隆太郎, 瀧上達夫, 麦島秀雄
日本大学小児科
- P-235 Atypical benign partial epilepsy 様にてんかんを呈した 8p 欠失/9p 重複の 2 例
—てんかん責任領域の検討—
○中山東城^{1,2}, 青天目信¹, 中川栄二¹, 斎藤義朗¹, 下島圭子³, 山本俊至³, 奥村恵子⁴, 藤江弘美⁵, 植松 貢², 小牧宏文¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹
国立精神・神経センター病院小児神経科¹, 東北大学大学院発生発達医学講座小児病態学², 東京女子医科大学国際統合医科学インスティテュート³, 国保松戸市立病院小児科⁴, いわき市立総合磐城共立病院小児内科⁵
- P-236 MECP2, L1CAM を含む Xq28 領域の重複を認めた重度精神遅滞の男性例
○石川重貴¹, 黒澤健司¹, 山下純正²
神奈川県立こども医療センター遺伝科¹, 同 神経内科²
- P-237 多発奇形を伴う精神発達遅滞におけるサブテロメア欠失の MLPA 法による検索—1p36 欠失症候群の 1 例—
○菊池敦生¹, 福與なおみ¹, 佐藤育子², 涌澤圭介², 廣瀬三恵子¹, 植松 貢¹, 富樫紀子³, 奈良千恵子¹, 萩野谷和裕², 呉 繁夫¹, 土屋 滋¹
東北大学大学院小児病態学¹, 宮城県拓桃医療療育センター小児科², 重症心身障害児施設エコー療育園小児科³
- P-238 顔貌異常, 肝硬変, 小脳髄を呈した剖検例
○神田祥子^{1,2}, 林 雅晴³, 渥美 聡², 田沼直之², 熊田聡子^{1,2}, 山本俊至⁴
都立神経病院神経小児科¹, 都立府中療育センター小児科², 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生³, NPO 法人染色体・遺伝コンサルジュ⁴
- P-239 小脳血管芽腫を合併した 3p-症候群の 1 例
○福與なおみ¹, 萩野谷和裕^{1,2}, 隈部俊宏³, 植松 貢¹, 土屋 滋¹
東北大学小児科¹, 宮城県拓桃医療療育センター小児神経科², 東北大学脳神経外科³

- P-240 小脳虫部白低形成と白質病変を伴った 3 番染色体長腕中間部欠失の女児例
 ○本島敏乃^{1,2}, 小俣 卓¹, 新井ひでえ¹, 田辺雄三^{1,3}, 田邊 良⁴
 千葉県こども病院神経科¹, 本島総合病院小児科², そがこどもクリニック³, 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科⁴

17:25~18:05 奇形・染色体異常 2 (S445)

座長 和田敬仁 (神奈川県立こども医療センター神経内科)
 奈良隆寛 (宮城県立こども病院)

- P-241 1q43 に微細欠失が確認された小頭症の女児例
 ○鈴木由芽, 斎藤真理, 森 雅人, 山形崇倫, 桃井真里子
 自治医科大学小児科
- P-242 脳室周囲異所性灰白質を伴う Jacobsen syndrome の 1 例
 ○平山 文¹, 沢石由記夫², 小泉ひろみ³
 秋田県太平療育園小児科¹, 秋田県小児療育センター小児科², 市立秋田総合病院小児科³
- P-243 盗血現象に伴う多彩な MRA 変化を呈した PHACE 症候群の 1 乳児例
 ○山田洋輔, 藤井克則, 市本景子, 須山麻衣子, 塩浜 直, 河野陽一
 千葉大学大学院小児病態学
- P-244 スポーツ飲料多飲を背景に高度電解質・心電図異常を呈した Costello 症候群の 1 例
 ○七字美延¹, 伊藤 進¹, 大塚素子¹, 岡本健太郎¹, 坂内優子¹, 世川 修², 大澤真木子¹
 東京女子医科大学小児科¹, 同 小児外科²
- P-245 Down 症候群剖検 1514 例における奇形の検討
 ○江原寛昭¹, 大野耕策²
 滋賀大学教育学部障害児教育講座¹, 鳥取大学脳神経小児科²
- P-246 GD アレイによる新規染色体微細構造異常検査の構築
 ○会津善紀¹, 井本逸勢², 林 深², 稲澤譲治²
 株式会社ビー・エム・エル先端技術開発本部¹, 東京医科歯科大学難治疾患研究所分子細胞遺伝²
- P-247 全前脳胞症の臨床的多様性とその基礎病
 ○清水未希, 関口和人, 前田知己, 是松聖悟, 泉 達郎
 大分大学小児科
- P-248 Sotos 症候群の神経学的長期予後と痙攣特性
 ○松塚敦子¹, 前田知己², 是松聖悟², 泉 達郎²
 別府発達医療センター小児科¹, 大分大学小児科²

18:05~18:25 遺伝 3 (S449)

座長 中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
 黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター)

- P-249 精神遅滞患者に対するクレアチニン代謝異常のスクリーニング法の開発
 ○和田敬仁, 新保裕子, 小坂 仁
 神奈川県立こども医療センター神経内科
- P-250 AlwNI と MseI の複合ヘテロ接合体変異を持ち, 非定型的な長期臨床経過を呈した A 群色素性乾皮症兄弟例
 ○富樫紀子, 一戸明子, 仁尾栄子, 千田信和
 重症心身障害児施設エコー療育園小児科
- P-251 周期性失調症 2 型の 1 家系例
 ○二階堂弘輝¹, 館 延忠², 加藤高広^{1,3}, 高山留美子^{1,4}, 土井俊明⁵, 大屋一博¹, 和田敬仁⁶
 札幌医科大学小児科¹, 同 保健医療学部², 青森県立中央病院小児科³, 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター小児科⁴, どいクリニック⁵, 神奈川県立こども医療センター神経内科⁶
- P-252 両側網膜血管腫を契機に診断された von Hippel-Lindau 病の 1 孤発例
 ○田辺 良^{1,2}, 須山麻衣子¹, 塩浜 直¹, 藤井克則¹, 石井拓磨³, 河野陽一¹
 千葉大学大学院小児病態学¹, 千葉県千葉リハビリテーションセンター小児神経科², 千葉大学附属病院遺伝子診療部³

16:50~17:30 腫瘍 1, 脳外科 (S451)

座長 二木康之 (佛教大学保健医療技術学部理学療法学科)
 稲垣隆介 (関西医科大学枚方病院脳神経外科)

- P-253 側頭部叢状神経線維腫に対してトラニラストの内服が有効であった神経線維腫症 I 型の 1 例
○稲見育大¹, 矢野珠巨³, 沢石由記夫²
平鹿総合病院小児科¹, 秋田県小児医療センター小児科², 秋田大学生殖発達医学講座小児科³
- P-254 小脳失調から発見された神経芽細胞腫の 2 例
○嶋尾綾子, 樋口嘉久
近畿大学奈良病院小児科
- P-255 頭蓋内胚細胞腫瘍の中核神経合併症に関する検討
○宮 一志, 本郷和久, 宮脇利男
富山大学小児科
- P-256 部分発作にて発症し経過中に退形成性星細胞腫から未分化神経外胚葉腫瘍へ組織像が変化した Gliomatosis Cerebri の 1 例
○高木敦子
旭中央病院小児科
- P-257 Adaptive servo-ventilation にてコントロール良好となった脳幹部腫瘍術後の睡眠時無呼吸の 1 例
○黒田文人^{1,2}, 三谷裕介^{1,2}, 新井田要³
金沢大学小児科¹, 国立病院機構医王病院², 金沢大学子どものこころの発達研究センター³
- P-258 小児頭蓋内血管奇形性病変の治療経過の検討—特に水頭症合併例について—
○松阪康弘, 坂本博昭
大阪市立総合医療センター小児脳神経外科
- P-259 VP シャントチューブ周囲の皮下に髄液貯留を認めた cystic fibrosis の 1 乳児例
○丸山慎介, 米衛ちひろ, 豊島光雄, 河野嘉文
鹿児島大学小児科
- P-260 豊橋市民病院における児童虐待に伴う神経外傷の現状
○近藤五郎¹, 小山典久²
豊橋市民病院脳神経外科¹, 同 小児科²

17:30~18:05 発達障害 15 (検査) (S455)

座長 山形崇倫 (自治医科大学小児科)
松坂哲應 (長崎県立こども医療福祉センター)

- P-261 Kiddie Continuous Performance Test によるメチルフェニデートの効果判定
○津島靖子^{1,2}, 眞田 敏², 柳原正文², 大野 繁³, 平澤利美^{1,2}, 岡 牧郎⁴, 大塚頌子⁴
兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科¹, 岡山大学大学院教育学研究科発達支援学², 大野小児科医院³, 岡山大学大学院発達神経病態学⁴
- P-262 Keio 版 Wisconsin card sorting test による PDD と AD/HD の比較検討
○加戸陽子¹, 眞田 敏², 柳原正文², 荻野竜也³, 大野 繁⁴, 中野広輔⁵, 渡邊聖子⁶, 諸岡輝子⁶, 岡 牧郎⁶, 大塚頌子⁶
関西大学文学部心理学専修¹, 岡山大学教育学研究科², 中国学園大学子ども学部子ども学科³, 大野小児科医院⁴, 松山赤十字病院小児科⁵, 岡山大学大学院発達神経病態学⁶
- P-263 DN-CAS 検査でみられた読字困難児の特徴
○中島範子¹, 山下裕史朗², 松石豊次郎², 稲垣真澄³
佐賀大学文化教育学部¹, 久留米大学小児科², 国立精神・神経センター精神保健研究所知的障害部³
- P-264 新しい眼球運動解析システムを用いた発達障害児の眼球運動評価についての試み
○伊住浩史¹, 池田卓夫², 梶本まどか¹, 石川尚子¹, 杉尾嘉嗣¹
鼓ヶ浦こども医療福祉センター小児科¹, 同 耳鼻咽喉科²
- P-265 就学前の子どもにおける筆記用具の使用スキルと把持形態について
○三見敦子, 江口亮太, 高田 哲
神戸大学大学院保健学研究科地域保健学
- P-266 小児神経外来受診児における広汎性発達障害日本自閉症協会評定尺度 (PARS) を用いた行動特性の検討
○村田絵美¹, 永井利三郎², 富永康仁³, 下野九理子⁴, 沖永剛志³, 毛利育子^{1,4}, 谷池雅子^{1,4}, 大藪恵一³
大阪大学大学院子どものこころの分子統御機構研究センター¹, 同 大学院保健学専攻², 同 大学院小児科学³, 同 連合大学院小児発達学⁴

- P-267 **fMRI を用いた、固定概念の打破に関わる脳賦活部位の検討**
 ○涌澤圭介^{1,2}, 横山浩之³, 廣瀬三恵子⁴, 奈良千恵子⁴, 土屋 滋⁴
 宮城県拓桃医療療育センター小児科¹, 東北大学加齢医学研究所脳機能開発研究分野², 山形大学看護学科臨床看護学³, 東北大学小児病態学⁴

16:50~17:20 **新生児 1, 発達 1** (S458)

- 座長 大野雅樹 (京都女子大学発達教育学部児童学科)**
早川文雄 (岡崎市民病院小児科)
- P-268 **発熱を契機にくも膜下出血と診断された新生児の 1 例**
 ○一色史枝¹, 丸山麻里子¹, 山本敬一¹, 高橋孝雄²
 伊勢原協同病院小児科¹, 慶應義塾大学病院小児科²
- P-269 **母体の外陰部ヘルペス治療後の経膈分娩で新生児ヘルペス脳炎を発症した 1 男児例**
 ○高木篤史, 熊坂 栄, 阿部正徳, 桑原健太郎, 藤野 修
 日本医科大学小児科
- P-270 **周期性嘔吐症の新生児例**
 ○荒木まり子, 満田直美, 高杉尚志, 細川卓利, 藤枝幹也, 脇口 宏
 高知大学小児思春期医学
- P-271 **早期産児の修正 2 歳までの夜間睡眠の変化**
 ○安積陽子¹, 高田 哲²
 甲南女子大学看護リハビリテーション学部¹, 神戸大学大学院保健学研究科²
- P-272 **先天性無痛無汗症の知能評価**
 ○白川公子¹, 鈴木裕子¹, 二瓶健次¹, 栗屋 豊²
 東京西徳洲会病院小児センター¹, 聖母病院小児科²
- P-273 **大阪乳児院における退所児童の発達状況一親元引き取りの実態一**
 ○三崎貴子^{1,2}, 大和謙二¹, 末廣 豊^{1,2}
 大阪府済生会中津病院小児科¹, 大阪乳児院²

17:20~17:55 **自律神経 1, 頭痛 1, 電気生理 1** (S461)

- 座長 荒木 敦 (関西医科大学附属滝井病院小児科)**
鈴木保宏 (大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科)
- P-274 **小児良性発作性めまいと起立性調節障害に共通の発症機序について**
 ○尾崎裕彦¹, 高橋孝雄²
 平塚共済病院小児科¹, 慶應義塾大学小児科²
- P-275 **脳波異常を認め、バルプロ酸ナトリウムが奏効した片麻痺型片頭痛の 1 例**
 ○山口克彦¹, 田角 勝², 板橋家頭夫²
 町田市民病院小児科¹, 昭和大学小児科²
- P-276 **小児頭痛におけるグラフ式頭痛ダイアリーの有用性について**
 ○藤田光江¹, 藤原順子²
 筑波学園病院小児科¹, つくば市立病院小児科²
- P-277 **脳波所見が診断のきっかけとなった代理ミュンヒハウゼン症候群による急性薬物中毒の 1 例**
 ○鶴澤礼実¹, 林 仁美¹, 石井敦士^{1,2}, 川谷恵里¹, 廣瀬伸一², 小川 厚¹
 福岡大学筑紫病院小児科¹, 同 小児科²
- P-278 **小児期の急性脳炎/脳症における病初期・睡眠紡錘波の検討**
 ○伊予田邦昭¹, 小川和則¹, 岡崎富男²,
 広島市立広島市民病院小児科¹, 呉共済病院看護専門学校²
- P-279 **高密度センサー脳波計によるてんかんモニタリングー多チャンネル化の有用性ー**
 ○榎日出夫^{1,2}, 横田卓也^{1,2}, 岡西 徹^{1,2}, 藤本礼尚²
 聖隷浜松病院小児神経科¹, 同 てんかんセンター²
- P-280 **閃光刺激視覚誘発電位の覚醒・睡眠時における所見の比較検討**
 ○木村直子, 後藤知英, 三山佐保子
 都立小児総合医療センター (都立清瀬小児病院) 神経内科

第 3 日目 A 会場

9:00~11:00 シンポジウム 4 (S111)

子どもの発達コホート研究の意義と課題

座長 小泉英明 (科学技術振興機構, 株式会社日立製作所)
山縣然太郎 (山梨大学大学院医学工学総合研究部)

- 1) なぜ, 今, コホート研究が重要なのか?
小泉英明 (科学技術振興機構, 株式会社日立製作所)
- 2) 子どもの発達コホート研究におけるイメージング研究の意義
定藤規弘 (自然科学研究機構生理学研究所)
- 3) コホート研究と医師観察の意義
富和清隆 (京都大学大学院遺伝カウンセラーコーディネータユニット, JST 日本の子供の発達コホート研究大阪研究グループ)
- 4) 乳児の行動から, 社会性の発達を予測する
榊原洋一, 安治陽子
(お茶の水女子大学人間発達教育研究センターチャイルドケアアンドエデュケーション講座)
- 5) コホート研究からみる発達のトラジェクトリー
小枝達也^{1,2,3}, 関あゆみ^{1,2,3}, 竹内亜理子^{2,4}
(鳥取大学地域学部地域教育学科¹, 科学技術振興機構社会技術開発研究センター², 国立病院機構鳥取医療センター臨床研究部³, 渡辺病院⁴)
- 6) すくすくコホートの成果を今後につなげるために
山縣然太郎 (山梨大学大学院医学工学総合研究部)

11:00~12:00 教育講演 4 (S94)

小児期発症の神経伝達物質疾患—瀬川病を中心に—

座長 加藤光広 (山形大学小児科)
講演 瀬川昌也 (瀬川小児神経学クリニック)

12:00~12:10 閉会式

13:00~15:20 市民公開講座 (S184)

発達障害は, 今, 増えているのか—現状の把握と未来への提言—

座長 石崎朝世 (社団法人発達協会王子クリニック)
久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学)

- 1) 発達障害の増加の実態と要因を探る—医療面の調査結果とそれに基づく提言
石崎朝世 (社団法人発達協会王子クリニック)
- 2) 発達障害の増加に関する医療面以外の調査結果のまとめと今後の課題
湯汲英史 (日本発達障害福祉連盟常務理事, 早稲田大学教育・総合科学学術院)
- 3) 地区における増加の実態またはその感触に関する追加発言
松本良一 (久留米市立久留米養護学校)
- 4) 発達障害の増加の要因—遺伝 (エピジェネティクス) の立場から—
久保田健夫 (山梨大学大学院環境遺伝医学)
- 5) 臨床神経学的見地 (前頭葉機能) からの示唆—病態を検討した上での地域療育への提言—
相原正男 (山梨大学大学院医学工学総合研究部)
- 6) 本公開講座内容に対するコメントおよび文部科学省としての対応の現状と今後
石塚謙二 (文部科学省初等中等教育局特別支援教育課特別支援教育調査官)

第 3 日目 B 会場

- 8:00~9:00 モーニングセミナー：エーザイ株式会社…………… (S140)
 小児の頭痛―片頭痛の診断と治療―
 座長 藤田光江 ((財) 筑波学園病院小児科)
 講演 安藤直樹 (名古屋市立大学大学院新生児・小児医学)
- 9:00~11:00 シンポジウム 5…………… (S118)
 急性脳症の診療・研究最前線
 座長 市山高志 (山口大学大学院小児科学)
 高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)
- 1) インフルエンザ脳症の最新情報
 水口 雅 (東京大学大学院発達医科学)
 - 2) 小児急性脳症の臨床と画像
 高梨潤一 (亀田メディカルセンター小児科)
 - 3) 急性脳症における脳波
 奥村彰久 (順天堂大学小児科・思春期科学)
 - 4) 病態解析と治療戦略
 市山高志 (山口大学大学院小児科学)
- 13:00~15:00 実践教育セミナー 2 (無料)…………… (S180)
 やってみよう 5 歳児健診：先駆者から学ぶ実践のイロハ
 座長 林 隆 (山口県立大学看護栄養学部看護学科)
 小枝達也 (鳥取大学地域学部地域教育学科)
- 1) 下関市の 5 歳児発達相談―園医・一般小児科医が行う 5 歳児発達相談の取り組み―
 金原洋治 (かねはら小児科)
 - 2) 島原市における 5 歳児健診推進モデル事業―就学へ繋げる取組
 松坂哲應 (長崎県立こども医療福祉センター)
 - 3) 京都府中丹西保健所 5 歳児モデル健診事業から京都府年中児発達サポート事業へ
 弓削マリ子 (京都府中丹東保健所)

第 3 日目 C 会場

- 8:00~9:00 モーニング教育セミナー 4…………… (S138)
 小児神経科医が知っておくべき感染免疫の最新知識
 座長 泉 達郎 (大分大学脳・神経機能統御講座小児科学)
 講演 原 寿郎 (九州大学大学院成長発達医学分野)
- 9:00~9:50 感染・免疫 5…………… (S288)
 座長 細矢光亮 (福島県立医科大学小児科)
 千代延友裕 (京都府立医科大学小児科)
- O-195 神経疾患における髄液中ヒスタミン値の検討―急性散在性脳脊髄炎と多発性硬化症について―
 ○有井潤子¹, 矢野珠巨², 神林 崇³,
 千葉労災病院小児科¹, 秋田大学精神科², 同 小児科³
- O-196 IVIG にて 2 年間寛解を維持している多発性硬化症の 5 歳女児例
 ○藤松真理子, 藤田武久
 日本医科大学武蔵小杉病院小児科
- O-197 抗カルジオリピン抗体の病態への関与が推測された急性小脳失調症の 1 例
 ○小林良行, 石川暢恒
 広島大学大学院小児科学

- O-198 溶血連鎖球菌感染症に関連する中枢神経症状を呈し、異なる臨床経過を示した 3 例の比較検討**
 ○八谷靖夫¹, 林 雅晴², 宮田理英³, 田沼直之⁴, 本郷和久⁵, 下田木の実¹, 神田祥子¹, 熊田聡子¹, 栗原栄二¹
 都立神経病院神経小児科¹, 東京都神経科学総合研究所神経発達・再生研究分野², 東京北社会保険病院小児科³, 都立府中療育センター小児科⁴, 富山大学小児科⁵

- O-199 亜急性硬化性全脳炎における麻疹抗体価検査法の標準化に向けて**
 ○松重武志¹, Banu Anlar², 井上裕文¹
 山口大学大学院小児科学¹, ハセテッペ大学小児科²

9:50~10:30 **感染・免疫 6**..... (S290)

座長 田沼直之 (都立府中療育センター小児科)
 鳥巢浩幸 (九州大学病院小児科)

- O-200 せん妄を伴わない発熱時一過性軽度意識障害の臨床的検討—熱せん妄との比較—**
 ○加藤 徹¹, 辻 健史¹, 早川文雄¹, 鈴木基正², 竹内智哉³, 夏目 淳³, 奥村彰久⁴, 渡邊一功⁵, 岡崎市民病院小児科¹, 愛知県心身障害者コロニー中央病院小児神経科², 名古屋大学小児科³, 順天堂大学小児科⁴, 愛知淑徳大学医療福祉学部⁵

- O-201 インフルエンザ桿菌髄膜炎の治療効果の検討**
 ○杉山奈都子, 長嶋雅子, 門田行史, 野崎靖之, 福田冬季子, 森 雅人, 山形崇倫, 杉江秀夫, 桃井真里子
 自治医科大学小児科

- O-202 B 型溶血性連鎖球菌髄膜炎 6 例の臨床的検討**
 ○宮内彰彦, 杉山奈都子, 長嶋雅子, 門田行史, 野崎靖之, 福田冬季子, 森 雅人, 山形崇倫, 杉江秀夫, 桃井真里子
 自治医科大学小児科

- O-203 髄膜炎菌性髄膜炎例におけるサイトカイン解析**
 ○池田尚広, 富士根明雄, 門田行史, 福田冬季子, 山形崇倫, 杉江秀夫, 桃井真里子
 自治医科大学小児科

10:30~11:10 **自律神経 2, 頭痛 2**..... (S292)

座長 岩崎信明 (茨城県立医療大学小児科)
 常石秀市 (医療福祉センターきずな)

- O-204 診断まで 2 年を要した脳脊髄液減少症の 1 例**
 ○光藤 尚¹, 山本文夫¹, 伊藤康幸¹, 橋本洋一郎¹, 前田陽夫², 古澤光浩², 辻 明德², 満瀬哲郎³, 海江田保彦⁴, 城野 匡⁴, 池田 学⁴, 荒木信夫⁵, 平野照之⁶, 内野 誠⁶
 熊本市民病院神経内科¹, 同 放射線科², 同 麻酔科³, 熊本大学精神科⁴, 埼玉医科大学神経内科⁵, 熊本大学神経内科⁶

- O-205 家族性片麻痺性片頭痛の 1 家系例**
 ○安島英裕, 立花麻梨亜, 奥村知子, 藤井栄一
 市立小野市民病院小児科

- O-206 無痛無汗症患者にみられる周期性嘔吐症状の検討—その中枢性メカニズムについて—**
 ○久保田雅也¹, 星野英紀¹, 古山晶子¹, 柏井洋文¹, 奥村さやか¹, 池田喜久子², 栗屋 豊³, 二瓶健次⁴
 国立成育医療センター神経内科¹, 千葉徳洲会病院リハビリテーション科², 聖母病院小児科³, 東京西徳洲会病院小児科⁴

- O-207 先天性無痛無汗症の死亡例の検討 (第 2 報—15 例)**
 ○栗屋 豊^{1,2}, 二瓶健次^{2,3}, 前田知己⁴, 泉 達郎⁴, 渡部功之⁵, 池田喜久子^{2,6}
 聖母会聖母病院小児科¹, NPO 無痛無汗症の会「トゥモロウ」², 東京西徳洲会病院小児科³, 大分大学小児科⁴, 獨協医科大学小児科⁵, 千葉徳洲会病院リハビリテーション科⁶

11:10~11:50 **電気生理 2, 末梢神経 2**..... (S294)

座長 久保田雅也 (国立成育医療センター神経内科)
 下野昌幸 (産業医科大学小児科)

- O-208 Duchenne 型筋ジストロフィー患者の精密握力計測装置による検討**
 ○佐竹恵理子, 竹島泰弘, 栗野宏之, 八木麻理子, 松尾雅文
 神戸大学大学院内科系講座小児科学

- O-209** リン酸オセルタミビルによる, てんかんモデル動物の聴性脳幹反応の変化 (第 2 報)
 ○川上康彦¹, 斉藤賢一², 小泉慎也³, 桑原健太郎³, 藤田武久³, 藤野 修³, 福永慶隆³
 日本医科大学多摩永山病院小児科¹, 日本獣医生命科学大学食品健康環境学², 日本医科大学小児科³
- O-210** 小児期発症 Charcot-Marie-Tooth 病の臨床病理学および遺伝学的検討
 ○山下純正¹, 渡辺好宏¹, 辻 恵¹, 鮫島希代子¹, 和田敬仁¹, 井合瑞江¹, 小坂 仁¹, 阿部暁子², 早坂 清²
 神奈川県立こども医療センター神経内科¹, 山形大学小児科²
- O-211** 日本人 Charcot-Marie-Tooth 病における遺伝子診断と臨床像について
 ○阿部暁子¹, 木島一己^{1,2}, 白幡恵美^{1,3}, 早坂 清¹
 山形大学小児科¹, 公立置賜総合病院小児科², 山形県立総合療育訓練センター小児科³

13:00~17:00 第 5 回小児重症筋無力症研究会: アステラス製薬株式会社

第 3 日目 D 会場

- 8:00~9:00** モーニング教育セミナー 5..... (S139)
 小児神経放射線診断: 臨床に役立つ MRI の key 所見
 座長 満留昭久 (国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部)
 講演 宇都宮英綱 (国際医療福祉大学大学院放射線・情報科学分野, ももち浜福岡山王病院放射線診断科)
- 9:00~10:10** 奇形・染色体異常 3..... (S296)
 座長 玉井 浩 (大阪医科大学小児科)
 梶井直文 (江別市立病院小児科)
- O-212** 腸固定不全を認めた Apert 症候群の 1 例
 ○奥村さやか^{1,2}, 熊田聡子¹, 下田木の実¹, 神田祥子¹, 星野 愛¹, 八谷靖夫¹, 栗原栄二¹
 都立神経病院神経小児科¹, 国立成育医療センター神経内科²
- O-213** Luucedysplasia, microcephaly, cerebral malformation (LMC) の 1 例
 ○杉本洋平, 短田浩一
 国立病院機構舞鶴医療センター小児科,
- O-214** Jacobsen 症候群にみられる大脳白質病変の検討
 ○石川暢恒¹, 小林良行¹, 山根希代子²
 広島大学大学院小児科学¹, 広島市西部こども療育センター小児科²
- O-215** 9q34 欠失症候群 5 例の臨床研究
 ○岡本伸彦¹, 山本俊至², 下島圭子²
 大阪府立母子保健総合医療センター遺伝診療科¹, 東京女子医科大学統合医科学研究所²
- O-216** 先天性巨大色素性母斑を持つ児における神経皮膚黒色症軽症例の診断の難しさについて—13 例の検討—
 ○下郷幸子¹, 西村 甲², 木実谷哲史³, 高橋孝雄¹
 慶應義塾大学小児科¹, 同 漢方医学², 島田療育センター³
- O-217** 自閉性障害のアレー CGH 解析と MAOA, MAOB 遺伝子欠失男児例
 ○齋藤真理, 山形崇倫, 森 雅人, 門田行史, 長嶋雅子
 自治医科大学小児科
- O-218** X 染色体不活化の常染色体への波及—発達障害を惹起するエピジェネティックなメカニズム—
 ○坂爪 悟¹, 永井敏郎¹, 久保田健夫²
 獨協医科大学越谷病院小児科¹, 山梨大学大学院環境遺伝医学²
- 10:10~11:20** 新生児 2..... (S300)
 座長 久保田哲夫 (安城更生病院小児科)
 早川昌弘 (名古屋大学附属病院周産母子センター)
- O-219** 先天性筋強直性ジストロフィーの大脳白質障害と産科医療補償制度
 ○糸数直哉^{1,2}, 澤田一美², 大矢崇志³, 高嶋幸男⁴
 どんぐりこども診療所¹, 愛泉会日南病院小児科², 久留米大学小児科³, 柳川療育センター⁴

- O-220 新生児デジタルビデオ脳波の臨床的意義**
 ○渡部功之, 栗林良多, 今高城治, 有阪 治
 獨協医科大学小児科
- O-221 新生児発作脳波の臨床的検討**
 ○平澤恭子¹, 伊藤雅子², 青柳裕之², 楠田 聡², 大澤真木子¹
 東京女子医科大学小児科¹, 同 母子総合医療センター新生児部門²
- O-222 新生児の脳温決定因子の検討**
 ○岩田幸子^{1,2}, 岩田欧介^{1,2}, 大矢崇志^{1,2}, 松石豊次郎^{1,2}
 久留米大学小児科¹, 同 高次脳疾患研究所²
- O-223 唾液中コルチゾール測定による新生児サーカディアンリズム確立時期の検討**
 ○木村典子, 岡村尚昌, 岩田幸子, 岩田欧介, 松石豊次郎
 久留米大学小児科
- O-224 NIRS を用いた脳機能・代謝カップリングの検討**
 ○大矢崇志, 岩田欧介, 岩田幸子, 澁谷郁彦, 原 宗嗣, 永光信一郎, 山下裕史朗, 松石豊次郎
 久留米大学小児科
- O-225 新生仔豚を用いた低酸素性虚血性脳症モデルでのキセノンガス吸入による脳保護の可能性**
 ○加藤文典¹, 岩田欧介^{2,3}, 岩田幸子^{2,3}, 戸荻 創⁴
 聖霊病院小児科¹, 久留米大学小児科², 同 高次脳疾患研究所³, 名古屋市立大学大学院新生児・小児医学⁴

11:20~12:00 形態・病理 2..... (S303)

- 座長 岡 明 (杏林大学小児科)
 林 雅晴 (東京都神経科学総合研究所神経発達・再生)
- O-226 周産期脳障害による高次脳機能障害のマウスモデルの開発**
 ○出口貴美子^{1,2,3}, 久保健一郎³, 仲嶋一範³, 井上 健²
 出口小児科医院¹, 国立精神・神経センター神経研究所疾研 2 部², 慶應義塾大学解剖学³
- O-227 小脳扁桃下垂 (キアリ I 型奇形) に伴う脊髄空洞症の臨床像**
 ○坂本博昭, 松阪康弘, 寺田愛子
 大阪市立総合医療センター小児医療センター小児脳神経外科
- O-228 ヒト外転神経核の形態学的発達について (第 2 報) — 組織計測学的検討 —**
 ○山口勝之^{1,2}
 獨協医科大学病理学 (形態)¹, 総合南東北病院小児科²
- O-229 ビスフェノール A の脳神経系形成過程に及ぼす影響 — 皮質遠心性ニューロンのゴルジ法による形態解析 —**
 ○中村恵子^{1,2}, 伊東恭子¹, 細井 創², 伏木信次¹
 京都府立医科大学大学院分子病態病理学¹, 同 小児発達医学²

第 3 日目 E 会場

9:00~10:00 睡眠・生体リズム..... (S305)

- 座長 友田明美 (熊本大学発達小児科)
 岡 靖哲 (愛媛大学大学院睡眠医学)
- O-230 地域幼稚園児の生体リズム形成について — 発達相談の基礎資料として —**
 ○根来民子
 岡崎女子短期大学人間福祉学科
- O-231 5 歳児の睡眠変数決定因子の検討 — 環境と生活習慣の影響 —**
 ○岩田幸子^{1,2}, 岩田欧介^{1,2}, 家村明子^{1,2}, 岩崎瑞枝^{1,2}, 松石豊次郎^{1,2}
 久留米大学小児科¹, 同 高次脳疾患研究所²
- O-232 5 歳児の睡眠変数決定因子の検討 — 固体内因子の検討 —**
 ○岩田幸子^{1,2}, 岩田欧介^{1,2}, 家村明子^{1,2}, 岩崎瑞枝^{1,2}, 松石豊次郎^{1,2}
 久留米大学小児科¹, 同 高次脳疾患研究所²
- O-233 睡眠障害の治療を契機に広汎性発達障害が診断された 3 例**
 ○松澤重行, 田島世貴, 三池輝久
 兵庫県立総合リハビリテーションセンター中央病院子どもの睡眠と発達医療センター

- O-234 睡眠の問題と行動の問題との関連—児童青年期睡眠チェックリスト (CASC) による検討—
 ○堀内史枝¹, 岡 靖哲²
 愛媛大学大学院脳とこころの医学¹, 同 睡眠医学²
- O-235 幼稚園児～高校生の睡眠の変化—児童青年期睡眠チェックリスト (CASC) による検討—
 ○岡 靖哲¹, 堀内史枝²
 愛媛大学大学院睡眠医学¹, 同 脳とこころの医学²

10:00～11:00 発達 2 (S308)

- 座長 作田亮一 (獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター)
 杉田克生 (千葉大学教育学部基礎医科学)
- O-236 母児相互作用が 10 カ月乳児の注意を促進・維持させる一視線検出器を用いた検討—
 ○中井昭夫¹, 乙部貴幸², 竹内恵子³, 高谷理恵子⁴, 森 俊之⁵, 谷出千代子⁶
 福井大学病態制御医学講座小児科¹, 仁愛女子短期大学幼児教育学科², 福井大学教育地域科学部³,
 福島大学人間発達文化学類⁴, 仁愛大学人間学部⁵, 同 人間生活学部⁶
- O-237 健常児における読字能力と作業記憶との関係
 ○岡岡輝子¹, 竹内章人¹, 岡 牧郎¹, 花房 香¹, 荻野竜也², 大塚頌子¹
 岡山大学大学院発達神経病態学¹, 中国学園大学子ども学部子ども学科²
- O-238 短期記憶における音韻戦略の発達—近赤外線分光法による研究—
 ○實藤雅文¹, 山口 結¹, 木村直子², 鳥巢浩幸¹, 吉良龍太郎¹, 石崎義人¹, 李 守永¹, 原 寿郎¹
 九州大学大学院成長発達医学¹, 都立清瀬小児病院神経内科²
- O-239 読字反応時間測定による概念とことばの認知機構の解析—教育ならびに言語環境の影響—
 ○杉田克生¹, 杉田記代子², 藤井克則³
 千葉大学教育学部基礎医科学¹, 東洋大学ライフデザイン学部², 千葉大学大学院小児病態学³
- O-240 片麻痺児の認知における経時的変化
 ○成田有里¹, 浜野晋一郎², 黒田 舞¹, 南谷幹之³, 田中 学², 菊池健二郎²
 埼玉県立小児医療センター保健発達部心理¹, 同 神経科², 同 保健発達部³
- O-241 子どもの発達の経年的変化の検討—1955, 1983, 2001 年の K 式発達検査の標準化資料の分析から—
 ○郷間英世¹, 小谷裕実², 池田友美³
 京都教育大学発達障害学科¹, 花園大学社会福祉学部臨床心理学科², 兵庫大学健康科学部³

11:00～12:00 血管障害 2, 腫瘍 2 (S311)

- 座長 大屋 滋 (旭中央病院脳神経外科)
 是松聖悟 (大分大学地域医療小児科分野)
- O-242 小児もやもや病治療後の長期予後の検討—1 施設 30 年のフォローアップより—
 ○成相 直, 武川麻紀, 百瀬俊哉, 前原健寿, 大野喜久郎
 東京医科歯科大学附属病院脳神経外科
- O-243 反復する脳梗塞発作を契機に診断された線維筋性異形成 (FMD) の女児例
 ○大西秀典¹, 折居建治¹, 森本将敬¹, 加藤善一郎¹, 近藤直実¹, 後藤芳充², 後藤雄一³, 西野一三³,
 岩田秀樹⁴
 岐阜大学大学院小児病態学¹, 名古屋第二赤十字病院腎臓病総合医療センター小児科², 国立精神・
 神経センター神経研究所³, あおぞらこどもクリニック⁴
- O-244 脳幹梗塞の発症を契機に診断した肺動静脈瘻を伴う遺伝性出血性毛細血管拡張症 (HHT) の 12 歳男児例
 ○中空真二郎¹, 荷見博樹¹, 神山八弓^{1,2}, 藤田之彦^{1,2},
 都立広尾病院¹, 日本大学附属板橋病院²
- O-245 小児期の抗リン脂質抗体およびそのヒトヘルペスウイルス 6 型感染症との関連について
 ○豊島光雄¹, 丸山慎介¹, 米衛ちひろ¹, 渡邊健二², 藤山りか², 河野嘉文¹
 鹿児島大学小児科¹, 国立病院機構南九州病院小児科²
- O-246 小児期発症脳腫瘍の臨床—WHO 分類に基づく分類と予後の解析—
 ○末延聡一, 岡成和夫, 秋吉健介, 泉 達郎
 大分大学小児科
- O-247 診断が困難で治療開始に時間を要した大脳基底核 germinoma の 1 例
 ○原田雅子¹, 中原彰彦¹, 池田俊郎¹, 金海武志²,
 宮崎大学生殖発達医学講座小児科¹, 都城市郡医師会病院小児科²

第 3 日目 F 会場

- 9:00~9:30 不随意運動・基底核 2 (S314)
 座長 木村一恵 (瀬川小児神経学クリニック)
- O-248 Tourette 症候群 (TS) の病態に関する研究—運動準備状態の SEP (第 2 報)
 ○木村一恵, 野村芳子, 長尾ゆり, 八森 啓, 瀬川昌也
 瀬川小児神経学クリニック
- O-249 GLRB 遺伝子変異を同定した驚愕病の 14 歳女児
 ○美根 潤^{1,2,3}, 岸 和子¹, 山口清次¹, 竹谷 健², 大坪修介³
 鳥根大学小児科¹, 同 付属病院輸血部², 大坪こどもクリニック³
- O-250 両側耳から他覚的耳鳴を認めた 4 歳女児例
 ○伊藤昌弘, 羽生政子, 道下崇史, 玉木久光
 都立墨東病院小児科
- 9:30~10:50 PC 動画 1 (S316)
 座長 花井敏男 (福岡市立心身障がい福祉センター小児科)
 藤井達哉 (滋賀県立小児保健医療センター)
- O-251 眼周囲の知覚刺激によると思われる自己誘発発作の見られた 2 症例
 ○高山留美子¹, 高橋幸利¹, 最上友紀子¹, 池上真理子¹, 向田壮一¹, 池田浩子¹, 今井克美¹,
 重松秀夫¹, 井上有史¹, 鈴木保宏²
 国立病院機構静岡てんかん神経医療センター小児科¹, 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科²
- O-252 ビデオ脳波同時記録とミダゾラム投与による診断的治療で判明したロタウイルス脳症による非けいれん性てんかん重積例
 ○星野 愛^{1,2}, 熊田聡子², 八谷靖夫², 神田祥子², 下田木の実², 栗原栄二², 玉川公子³
 心身障害児総合医療療育センター小児科¹, 都立神経病院小児科², 多摩北部医療センター小児科³
- O-253 当センターで経験した Benign neonatal sleep myoclonus 症例の検討
 ○鈴木保宏, 鳥邊泰久, 山田桂太郎, 柳原恵子, 二木康之, 真野利之
 大阪府立母子保健総合医療センター小児神経科
- O-254 Hypermotor seizure を認める重症心身障害者におけるビデオ記録と脈拍数記録を用いた発作検出
 ○後藤一也, 今井一秀
 国立病院機構西別府病院小児科
- O-255 小児難治てんかんの光トポグラフィを用いた発作時脳血流変化の検討
 ○石山昭彦¹, 中川栄二¹, 鋤柄小百合¹, 相崎貢一¹, 竹下絵里¹, 乾 健彦¹, 本田涼子¹, 佐久間啓¹,
 小牧宏文¹, 斎藤義朗¹, 須貝研司¹, 佐々木征行¹, 小林 巖², 大槻泰介³
 国立精神・神経センター病院小児神経科¹, 東京学芸大学教育実践研究支援センター², 国立精神・神経センター病院脳神経外科³
- O-256 後頭葉に発作焦点が認められた Eating Epilepsy の 1 女児例
 ○北 誠, 栗屋智就, 柴田 実, 加藤竹雄
 京都大学発達小児科
- O-257 てんかん性スパズムにおける発作時高周波律動の統計解析
 ○成相宏樹, 長澤哲郎, 古賀晋一郎, 福田美穂
 ミシガン小児病院ミシガン州立ウェイン大学小児科・神経内科
- O-258 てんかん発作様症状を繰り返し, GERD と診断した 1 乳児例
 ○松下浩子, 岡野創造, 早川克己
 京都市立病院小児科
- 10:50~12:00 PC 動画 2 (S320)
 座長 満留昭久 (国際医療福祉大学福岡リハビリテーション学部)
 若井周治 (中の島診療所)
- O-259 痙性片麻痺児に対する健側手指抑制とその効果
 ○花岡 繁
 都立北療育医療センター城南分園小児科

- O-260 胃食道逆流症に対する腹腔鏡下噴門形成術における周術期管理について乳児 24 例の検討**
 ○菅谷ことこ¹, 水戸野裕之¹, 浜野晋一郎²
 埼玉小児医療センター麻酔科¹, 同 神経科²
- O-261 視覚運動課題が引き起こす事象関連 γ 波律動**
 ○長澤哲郎, 成相宏樹, 古賀晋一郎, 福田美穂
 ミシガン小児病院ミシガン州立ウェイン大学小児科・神経内科
- O-262 若年型 GM2 ガングリオシドーシスの 1 男児例**
 ○平山良道¹, 杉浦千登勢¹, 藤井裕士¹, 前垣義弘¹, 大野耕策¹, 小川和則²
 鳥取大学附属病院脳神経小児科¹, 広島市立広島市民病院小児科²
- O-263 MyoD 導入初代培養皮膚線維芽細胞移植による遺伝性筋疾患再生治療**
 ○藤井 績¹, 伊藤 薫¹, 木村重美², 松倉 誠¹
 崇城大学薬学科医療薬学講座薬物治療学¹, 熊本大学大学院小児発達学²
- O-264 精神症状を主徴とし、経過中に失声症を生じた溶連菌感染に関連する脳炎 2 症例**
 ○下田木の実¹, 八谷靖夫¹, 熊田聡子¹, 神田祥子¹, 星野 愛², 栗原栄二¹, 坂東充秋³
 都立神経病院神経小児科¹, 心身障害児総合医療療育センター小児科², 都立神経病院神経内科³
- O-265 口蓋ミオクローヌスを呈した乳児型 Alexander 病の 1 例**
 ○佐々木征行, 野々田豊, 榊原崇文, 佐久間啓, 須貝研司
 国立精神・神経センター病院小児神経科